

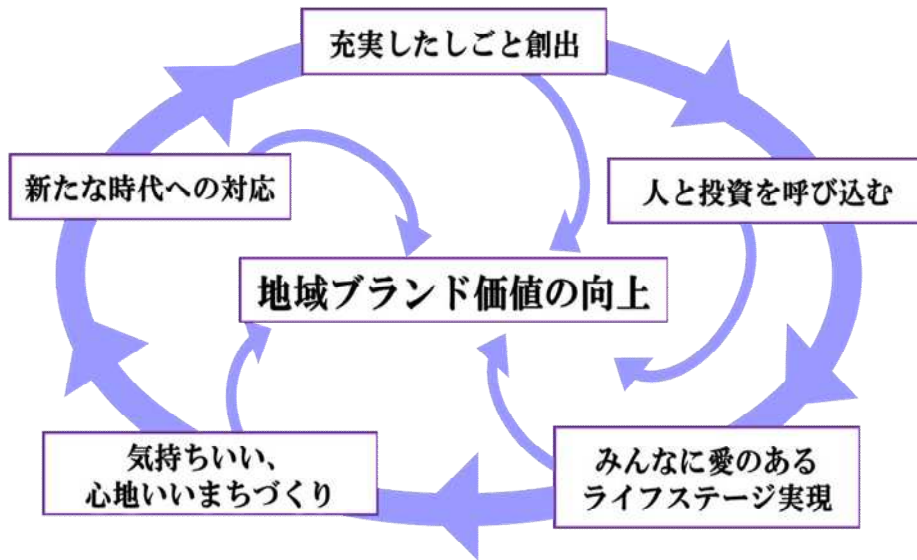
# 第六次諏訪市総合計画

## 令和4年度 効果検証

### 【目次】

- ・ 実現すべき重点目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.1
- ・ 重点指標の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.2
- ・ 重点目標効果検証・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3
- ・ 基本方針効果検証・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.17
- ・ 【参考】基本方針KPI一覧

実現すべき重点目標



No.	実現すべき重点目標		地域ブランド 価値の向上	充実した しごと創出	人と投資を 呼び込む	みんなに愛のある ライフステージ実現	気持ちいい、 心地いいまちづくり	新たな時代への 対応
	基本方針							
1	子ども・子育て						○	
2	地域福祉						○	
3	障がい者福祉						○	
4	高齢者福祉						○	
5	社会保障制度						○	
6	健康づくり						○	
7	地域医療						○	
8	学校教育						○	○
9	地域教育						○	
10	生涯学習・文化芸術						○	
11	スポーツ振興						○	
12	文化財保護・活用						○	
13	環境保全				○	○		○
14	森林保全						○	○
15	環境衛生						○	○
16	道路整備・計画					○	○	
17	都市空間			○			○	
18	上水道・下水道					○	○	
19	温泉			○			○	
20	地域公共交通					○	○	
21	工業			○	○			
22	観光			○	○			
23	商業・流通			○	○			
24	農林漁業			○			○	
25	雇用・スタートアップ支援			○	○			
26	防災・危機管理						○	○
27	安心生活					○	○	
28	まちの賑わい創出				○		○	
29	多様な市民の参画				○		○	
30	持続可能な地域					○	○	
31	健全財政						○	○
32	スマート化						○	○
33	広域連携						○	○

全ての分野の魅力向上により成り立つ目標

# 重点指標の状況

重点指標項目	令和4年度目標値	令和4年度実績値	達成率	令和5年度目標値
諏訪市の魅力度	151位	142位	101.0%	138位
市内事業所課税標準額平均	2,128千円/者	3,101千円/者	145.7%	2,149千円/者
平均社会増減数 (過去5年間)	△63.7人	△78.8人	80.8%	△55.7
合計特殊出生率	1.80	※令和5年9月頃発表	—	1.82
諏訪市への 居留意欲度	126位	282位	83.1%	119位
市民満足度調査 平均満足度	(令和5年度調査結果を以 降の目標値とする)	3.15	—	3.15

※「諏訪市の魅力度」及び「諏訪市への居留意欲度」は、「地域ブランド調査（株式会社ブランド総合研究所）」より把握。調査対象は1047地域。

◎「魅力度」に対して「居留意欲度」の順位が低く、「まちの魅力＝移住・定住」ではないことが推察できる。

◎「市内事業所課税標準額平均」は、目標値を大きく上回る結果となった。目標値が、コロナ禍の数値を基準としているため、社会情勢や経済状況など今後の動向を注視しながら、来年度以降の達成状況を分析していく必要がある。

◎「平均社会増減数」は、令和3年の社会減数が大きかったため目標値を割ったが、令和2年及び令和4年は社会増となっており、今後も人口動態を注視していく必要がある。

## 重点目標効果検証

重点目標	①	地域ブランド価値の向上
------	---	-------------

### ●各分野の現状・課題・今後の取組

福祉	<p>「諏訪市受動喫煙のない思いやりと健康のまちづくり条例」の制定や、福祉医療費給付事業のこどもの支給対象年齢拡大など、市内外の人々が諏訪市に魅力を感じ、地域ブランド価値の向上につながる取組が行われている。</p> <p>福祉分野においては人材不足が顕著化しており、既存の取組に加え情報や魅力の発信を積極的に行っていくためには、より一層関係機関や民間事業者等との連携強化を図っていかなければならない。</p>
学習	<p>急激な少子化の進行により、地域における子どもの活動が減少している現状において、子どもの地域との豊かな関わりの創出、郷土への関心の醸成が求められている。</p> <p>子どもが地域で学び、地域が子どもを育てることを促進し、地域教育を推進するために、コミュニティスクールと連携し、学校と地域の信頼関係を深め、地域教育力を高める必要がある。諏訪ならではのものづくり教育やふるさと学習を充実させることで子どもと地域との関わりを深めていく。</p>
環境	<p>環境分野においては、市民や事業者との協働が不可欠であるが、市・市民・事業者が一体となり、リサイクル促進の取組や、諏訪湖のイメージ・価値向上に向けたヒシや浮遊ごみの除去を継続して実施し、地域ブランド価値の向上に寄与している。</p> <p>また、ゼロカーボンシティ宣言に則り、2050年までに諏訪市の温室効果ガス排出量の実質ゼロを実現できるよう、市が率先して取組を進め、市民や事業者との協働を推進していく。</p> <p>森林については、個人有林の森林整備やかくい虫被害の拡大を防止するため、市が積極的な取組を実施していく。</p>
インフラ	<p>全国的に空き家・空き地が増加しており、諏訪市においては特に上諏訪地区で顕著であり、中心市街地の衰退が見られる。一方で、アーク諏訪のオープンや柳並線の延伸によりまちづくりの機運が高まっており、官民が相互に連携しながら持続可能なまちづくり活動を実践していくことで、令和5年3月策定の「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」の実現につなげ、魅力ある中心市街地を目指す。</p> <p>また、安全・安心して歩行者が移動できるまちを目指し、歩行者空間のバリアフリー化や無電柱化に取り組んでいく。</p>
産業	<p>新型コロナウイルス感染症を契機に、産業分野ではWeb等の活用が推進されてきており、効果的・効率的な情報発信手法が定着することが、今後の地域ブランド価値向上に寄与していくと考えられる。</p> <p>ゼロカーボンやSDGs等、新たな時代に対応するための課題に企業が積極的に取り組んでいくことができるよう、研究開発や人材確保などの継続課題を積極的に支援していく必要がある。</p>
防災	<p>台風や集中豪雨による災害から住民の生命・財産を守るため、河川や水路の改修工事を着実に実施してきており、低地での内水氾濫に備え内水排除ポンプの設置を検討してきている。引き続き、市内各地区との協議を重ね災害に強いまちづくりを推進していく。</p> <p>市内各地区や小中学校との協議により、グリーンベルトやカーブミラーといった交通安全施設の整備を進めてきている。また、子どもや高齢者を対象とした交通安全教室等の啓発活動により、安全意識の向上を図っている。</p> <p>これらの市民の安心・安全につながる地道な取組や情報発信・啓発活動を継続し、諏訪市のブランド価値向上につなげていく。</p>
参画協働	<p>諏訪市のブランド価値向上のためには、市民も諏訪市の魅力を再発見し、内外へ発信していけるよう、区・自治会やまちづくり団体と行政との協働した取組を進めていく必要がある。</p> <p>中心市街地については、令和5年3月策定の「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」の実現に向け、公民それぞれの特徴を活かした役割を担い、連携・協働していかなければならない。また、諏訪湖イベントひろばの整備については、民間参入による魅力的なエリアの整備を目指していく。</p>
行政経営	<p>諏訪市の魅力を向上する取組を行っていくことができるよう持続可能な財政運営を図るため、市税はもろんのこと、バナー広告、ネーミングライツ、クラウドファンディングなどによる自主財源の確保を進めていくことが重要である。</p> <p>また、諏訪圏6市町村で構成する諏訪広域公立大学事務組合による公立諏訪東京理科大学の運営については、公立化により更なる教育と研究が進み、諏訪地域のものづくり振興やブランド価値の向上に寄与しており、より一層の連携強化を図っていく。</p>

### ●重点目標の総合考察

<p>「諏訪市受動喫煙のない思いやりと健康のまちづくり条例」の制定や、ゼロカーボンシティ宣言に係る取組など、諏訪市独自の地域ブランド価値の向上に資する取組を積極的に行っている。これらを、市民や事業者等が諏訪市の魅力について改めて考える契機とし、行政と協働で内外へ魅力を発信していくことができるような体制につなげていくことが重要である。</p>
---

## 重点目標効果検証

重点目標	②	充実したしごと創出
------	---	-----------

### ●各分野の現状・課題・今後の取組

産業	<p>アフターコロナ・ウィズコロナへの転換期でもあった令和4年度、「充実したしごと創出」に関連する基本方針においては、コロナ禍からの回復の兆しが見えてきた結果となった。特に、観光においては、宿泊客や観光消費額が増え続けており、令和5年度には諏訪湖祭湖上花火大会の通常開催や誘客コンテンツ造成プロモーション事業1年目の取組の効果も期待され、観光業の業績回復や雇用促進が期待される。</p> <p>また、雇用等においては、「新入社員歓迎大会」の申込者数が回復し、ハローワーク諏訪管内では有効求人倍率1.47倍（令和5年3月）と雇用情勢は着実に改善が進んでいる。</p> <p>しかしながら、コロナ禍からの回復を迎える一方で、多くの業種で原材料・原油価格高騰の影響を受けており、特に諏訪市の主産業である製造業においては、他社との差別化を図るための新規成長産業分野への参入や、技術力及び研究開発力の向上が不可欠な状況となっている。</p> <p>また、有効求人倍率は上昇しているが、専門的・技術的職業にかかる求人数が求職者数を大きく上回る状況であり、市内の製造技術者を中心に慢性的な人手不足となっている。人手不足に関しては農業分野も同様の状況であり、高齢化や担い手の減少により、耕作放棄地や遊休農地が拡大傾向にある。</p> <p>これらの現状、課題を踏まえ、産業分野においては、これまでの取組を継続していくことに加え、市内企業が世界市場で競っていけるよう、SDGsやゼロカーボン等への企業活動の支援を拡充することや、官民連携の強化、Web等の活用などにより、魅力あるしごとの創出と優秀な人材の確保に取り組んでいく必要がある。</p>
----	---

### ●重点目標の総合考察

<p>第六次諏訪市総合計画においては、「充実したしごと創出」には産業分野の各基本方針が関連づけられているところではあるが、課題である人手不足を改善するためには、産業分野にとどまらず、子育て支援や女性参画など、様々な面から働きやすい環境づくりを推進していく必要があり、分野を越えた取組を積極的に検討しなければならない。</p>
--

重点目標	②	充実したしごと創出
------	---	-----------

※市民満足度調査結果を除く

基本方針	K P I		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
①工業	製造品出荷額等	目標値	1,010億円以上	1,020億円以上	1,030億円以上	1,040億円以上	1,050億円以上
		実績値	861億円				
	製造業の従業者数	目標値	5,100人	5,200人	5,200人	5,200人	5,200人
		実績値	5,004人				
②観光	宿泊客数	目標値	420,000人/年	480,000人/年	600,000人/年	606,000人/年	612,000人/年
		実績値	431,312人/年				
	観光消費額	目標値	1,574,000万円/年	1,771,000万円/年	1,968,000万円/年	1,987,000万円/年	2,006,000万円/年
		実績値	1,580,166万円/年				
③商業・流通	推せんみやげ品新規登録数	目標値	3件/年	3件/年	3件/年	3件/年	3件/年
		実績値	0件/年				
	商業連合会会員店舗数	目標値	235店舗	235店舗	235店舗	235店舗	235店舗
		実績値	232店舗				
④農林漁業	農業の担い手への農地集積率	目標値	39.3%	41.7%	44.7%	47.6%	50.0%
		実績値	37.3%				
	木材搬出面積	目標値	33.5 ha	34.5 ha	35.5 ha	36.5 ha	37.5 ha
		実績値	27.31ha				
⑤雇用・スタートアップ支援	新入社員歓迎大会申込者数	目標値	300人/年	400人/年	400人/年	400人/年	400人/年
		実績値	354人/年				
	諏訪市の支援を受けて実現した創業数	目標値	20件	20件	20件	20件	20件
		実績値	17件				

## 重点目標効果検証

重点目標	③	人と投資を呼び込む
------	---	-----------

### ●各分野の現状・課題・今後の取組

学習	<p>市内の多くの文化遺産が文化財に指定され、博物館等に収蔵されているなかで、資料として活用しにくい状況にある。コロナ禍を経て、歴史・文化を含んだまちがもつ魅力の重要性が今後高まることが想定されるなかで、文化遺産を歴史的背景やストーリーでつなぎ、観光面等多くの分野で広く活用するためには市民と文化遺産の価値を共有し、市民を巻き込んだ保護活動を行うことが必要である。</p>
インフラ	<p>長野県、関係市町などと連携しながら、諏訪湖スマートIC及び諏訪湖周サイクリングロードの整備が着々と進んでおり、今後の交通体系の進化が待ち望まれている。引き続き地元住民の理解を得ながら関係機関とも連携し、着実に事業を推進していく。</p> <p>また、国道20号諏訪バイパスの全線整備に向け、地元への丁寧な説明、国への地道な要望活動等により国による一部区間の事業化が決定した。今後も引き続き、住民の理解を深めていくとともに、地域への機運醸成と地元とのより一層の合意形成を図るため、地区ごとに課題の整理を行い国への要望・協議により各種調査を進め、地元への丁寧な説明を続けていく。</p>
産業	<p>重点目標「人と投資を呼び込む」の中心的分野である産業分野においては、関係人口増加のために様々な取組が行われている。観光においては、観光ブランドデザイン関連事業、KRTプロジェクト関連事業で積極的な官民連携の取組を行っている。また、雇用促進等においては、様々な面で新型コロナウイルス感染症の影響を受けているが、それを契機としてWeb等の活用を推進し、実績・効果が出始めている。</p> <p>課題として、産業分野の複数の基本方針において、人材確保や人材育成、革新を起こせる人材の発掘が挙げられている。</p> <p>人材に関わる取組はKPIなどの指標に成果が表れにくいだが、企業の新たな技術導入を支援することで魅力的な職場環境の整備を促したり、移住者の新規出店を支援したりすることで、優秀な人材、魅力的な人材を諏訪市へ呼び込んでいくことが必要である。</p>
参画協働	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による生活スタイルの変化により首都圏からの移住が増加しており、諏訪圏移住交流促進事業連絡会と連携し移住促進事業に取り組んでいる。引き続きUIJターン補助金等の移住政策について更なる効果的な情報発信をし、移住促進を図っていく。</p> <p>中心市街地については、諏訪湖イベントひろばにおいて民間参入による魅力的なエリアの整備を目指すため、民間事業者へのヒアリング等を実施しながら整備内容を固めていく。駅前交流テラスすわっチャオについては、利用者数の増加に伴い会議室等の予約が取りにくい状況があり、リーススペースの部分貸しなど利便性の向上や、より効果的なイベント情報等の発信に取り組んでいく。</p>

### ●重点目標の総合考察

<p>新型コロナウイルス感染症により様々な影響を受けた分野であるが、コロナ禍において、Web等の活用などのアフターコロナ・ウィズコロナを見据えた取組を行い、今後の成果が期待される。インフラ分野においては、コロナ禍でも着実に事業を推進しており、今後の諏訪市に「人と投資を呼び込む」ための強固な土台が築かれてきている。</p>
---

重点目標	③	人と投資を呼び込む
------	---	-----------

※市民満足度調査結果を除く

基本方針	K P I		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
⑫文化財保護・活用	講座等アンケートで「諏訪市の歴史や文化に誇りを感じる」と回答した割合	目標値	32%	34%	36%	38%	40%
		実績値	10%				
	文化遺産関連の保存活動に参加した人数	目標値	93人	96人	99人	102人	105人
		実績値	146人				
⑬都市空間	住宅の耐震診断戸数	目標値	40件/年	40件/年	40件/年	40件/年	40件/年
		実績値	23件/年				
	危険空家等の改善	目標値	4件/年	4件/年	4件/年	4件/年	4件/年
		実績値	3件/年				
⑭温泉	配湯管耐震化率	目標値	98.3%	98.4%	98.5%	98.6%	98.7%
		実績値	98.3%				
	温泉年間新規契約件数	目標値	5件	5件	5件	5件	5件
		実績値	2件				
⑮工業	製造品出荷額等	目標値	1,010億円以上	1,020億円以上	1,030億円以上	1,040億円以上	1,050億円以上
		実績値	861億円				
	製造業の従業者数	目標値	5,100人	5,200人	5,200人	5,200人	5,200人
		実績値	5,004人				
⑯観光	宿泊客数	目標値	420,000人/年	480,000人/年	600,000人/年	606,000人/年	612,000人/年
		実績値	431,312人/年				
	観光消費額	目標値	1,574,000万円/年	1,771,000万円/年	1,968,000万円/年	1,987,000万円/年	2,006,000万円/年
		実績値	1,580,166万円/年				
⑰商業・流通	推せんみやげ品新規登録数	目標値	3件/年	3件/年	3件/年	3件/年	3件/年
		実績値	0件/年				
	商業連合会会員店舗数	目標値	235店舗	235店舗	235店舗	235店舗	235店舗
		実績値	232店舗				
⑱雇用・スタートアップ支援	新入社員歓迎大会申込者数	目標値	300人/年	400人/年	400人/年	400人/年	400人/年
		実績値	354人/年				
	諏訪市の支援を受けて実現した創業数	目標値	20件	20件	20件	20件	20件
		実績値	17件				
⑲まちの賑わい創出	駅前交流テラスすわっちゃオ貸館利用件数	目標値	2,940件	3,080件	3,220件	3,360件	3,500件
		実績値	3,618件				
	コワーキングスペース登録有料会員数	目標値	21者	22者	23者	24者	24者
		実績値	26者				
	駅前駐車場利用台数（定期利用除く）	目標値	110,000台	120,000台	120,000台	120,000台	120,000台
		実績値	88,071台				
⑳多様な市民の参画	移住サポートによる移住定着率	目標値	23.0%	23.5%	24.0%	24.5%	25.0%
		実績値	20.1%				
	ふるさと寄附体験型返礼品寄附金比率	目標値	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
		実績値	13.8%				
	委員会、審議会等における女性登用率	目標値	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%
		実績値	34.8%				



## 重点目標効果検証

重点目標	④	みんなに愛のあるライフステージ実現
------	---	-------------------

### ●各分野の現状・課題・今後の取組

福祉	<p>妊娠・出産や子育て、福祉・介護、医療・健康など、どのライフステージにいても、どのような立場の人でも希望を持って暮らせるまちを目指して、取組が行われている中で、福祉分野においては各基本方針に共通して、「相談者等が抱える課題の多様化・複雑化・複合化」と「人材不足」が課題として挙げられている。</p> <p>これらの課題を克服するため、福祉分野においてはこれまでの取組に加え、より一層庁内での連携や関係機関等との連携を強化していく必要がある。</p> <p>また、人材不足が課題となる中で、必要な人に必要なサービスが行き届くよう、制度や保障などの適正利用を市民へ呼びかけたり、地域課題を市民が自分事として捉えられるよう働きかけたりしていくことが重要だと考えられる。</p>
学習	<p>様々な特性をもつ児童生徒が増加傾向にあり、家庭環境の多様化も進むなかで、すべての児童生徒が認めあい、支えあい、学びあい、自分らしく学べる学校・学級づくりに取り組む必要がある。また、就学への経済的な支援が必要な子どもに対する支援や、特別な支援を必要とする子どもへの支援を充実させることが重要であると考えられる。</p> <p>生涯学習については、多様な場で市民に学びや文化芸術に親しむ機会を提供しているが、今後の生涯学習のあり方の検討を通じて、場所や時間、人を問わず、諏訪の特色を捉えた学びを地域課題の解決にも活かし、学びを通じて人と人とがつながることができる地域を目指していく必要がある。</p> <p>また、スポーツ振興の点では、健康づくりや生きがいを求める意識が高まっており、市民の誰もがそれぞれの状況に応じてスポーツに親しみ、生涯にわたり心身ともに健康でいきいきとした生活を送れるよう取り組んでいくことが必要である。</p>
インフラ	<p>地域住民の通学・通勤・買い物等の交通手段を確保するため、地域公共交通の維持・向上は必要不可欠であり、引き続きダイヤ改正などを行いながら更なる利便性の向上を図っていく。併せて、AIオンデマンド交通の導入に向け準備を進めて行く。</p> <p>また、ハード面では、子どもから高齢者まで安心して歩いて移動できるまちを目指し、歩行者空間のバリアフリー化や無電柱化に取り組んでいく。公園遊具等については、経年劣化等により腐食・破損が見られ、令和4年度より遊具の長寿命化更新工事を行ってきた。令和6年度に遊具の更新工事を完了させ、令和7年度以降は公園施設の更新に向け計画を策定していく。</p>
防災	<p>交通事故の防止が喫緊の課題となっており、特に交通弱者である子どもや高齢者を対象とした交通安全教室等の啓発活動により、安全意識の向上を図っている。また、特殊詐欺や消費者被害の多くの被害者が高齢者であり、被害を未然に防ぐための街頭啓発やホームページ等により、引き続き情報発信・啓発活動を行い、安心して生活を送ることができる環境を目指していく。</p>
参画協働	<p>地域福祉・防災など多様化する地域課題について、身近なコミュニティ組織である自治会の重要性が増している。一方で、役員の担い手不足、負担感の増大等により地域活動の縮小が課題として挙げられている。「協働の取組の基本方針」に基づき、住民、自治会、ボランティア団体、NPO法人等と行政が協働の取組を進めることにより、地域課題の解決を図っていく。</p>

### ●重点目標の総合考察

<p>福祉、学習をはじめとして、地域課題が多様化しているなかで、それらを支援・解決していく人材不足が各分野で課題となっている。インフラや防災分野においては、行政の担う役割が大きい。行政と市民の協働はもちろんのこと、地域課題を自分事として捉え、市民同士が助け合える環境、仕組みづくりなどに取り組んでいく必要がある。</p>
--

重点目標	④	みんなに愛のあるライフステージ実現
------	---	-------------------

※市民満足度調査結果を除く

基本方針	K P I		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
①子ども・子育て	子ども・子育て支援事業の充実	目標値	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
		実績値	3.38				
	待機児童ゼロ維持（待機児童数）	目標値	0人	0人	0人	0人	0人
		実績値	0人				
②地域福祉	地域福祉計画施策評価のうち、総合評価A（そのまま継続）の割合	目標値	45%	50%	55%	60%	70%
		実績値	66%				
	ボランティア登録者率	目標値	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
		実績値	25.3%				
③障がい者福祉	福祉施設から一般就労への移行者数	目標値	6人	10人	10人	11人	12人
		実績値	6人				
	地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数	目標値	9回	10回	12回	12回	12回
		実績値	13回				
④高齢者福祉	要介護認定率	目標値	18.5%以下	18.9%以下	19.3%以下	19.6%以下	19.8%以下
		実績値	17.7%				
	認知症サポーターの養成累計	目標値	4,380人	4,620人	4,860人	5,100人	5,340人
		実績値	4,117人				
⑤社会保障制度	生活困窮者自立相談支援事業による支援決定件数	目標値	43件	43件	43件	43件	43件
		実績値	33件				
⑥健康づくり	特定保健指導の実施率	目標値	50.6%	50.6%	50.6%	60.0%	60.0%
		実績値	59.1%				
	特定健診におけるⅡ度高血圧の人の割合	目標値	4.9%以下	4.9%以下	4.9%以下	4.4%以下	4.4%以下
		実績値	10.1%				
⑦地域医療	在宅当番医の利用者数	目標値	1,500人	2,000人	2,500人	2,900人	2,900人
		実績値	2,002人				
	諏訪赤十字病院全救急患者における諏訪市民割合	目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
		実績値	49.2%				
⑧学校教育	「ものづくり教育」の必要性、重要性の認識度	目標値	76.0%	77.0%	78.0%	79.0%	80.0%
		実績値	83.2%				
	奨学金制度の新規利用者	目標値	8人	8人	8人	8人	8人
		実績値	6人				
⑨地域教育	学校支援ボランティア参加者延べ数	目標値	20,000人	20,250人	20,500人	20,750人	21,000人
		実績値	7,602人				
	地区育成会等活動支援事業参加者数	目標値	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人
		実績値	1,249人				
⑩生涯学習・文化芸術	講座等アンケートで「学んだことを活かしたい」に回答した割合	目標値	22%	24%	26%	28%	30%
		実績値	15%				
	生涯学習施設におけるボランティア活動に参加した人数	目標値	310人	320人	330人	340人	350人
		実績値	235人				
⑪スポーツ振興	スポーツ施設利用者数	目標値	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年
		実績値	212,002人/年				
	スポーツ教室初参加者中、「スポーツに親しむきっかけとなった」と回答した割合	目標値	92.6%	93.2%	93.8%	94.4%	95.0%
		実績値	91.7%				

基本方針	K P I		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
⑫文化財保護・活用	講座等アンケートで「諏訪市の歴史や文化に誇りを感じる」と回答した割合	目標値	32%	34%	36%	38%	40%
		実績値	10%				
	文化遺産関連の保存活動に参加した人数	目標値	93人	96人	99人	102人	105人
		実績値	146人				
⑬道路整備・計画	道路舗装整備延長率	目標値	3.1%	3.6%	4.1%	4.6%	5.1%
		実績値	3.1%				
	都市計画道路整備率	目標値	27.8%	28.2%	28.6%	29.0%	29.4%
		実績値	29.1%				
⑭上水道・下水道	導送水及び配水管耐震化率	目標値	29.3%	30.0%	30.7%	31.4%	32.1%
		実績値	28.9%				
	耐震化対象下水道管渠耐震化率	目標値	66.0%	75.0%	84.0%	93.0%	100.0%
		実績値	72.5%				
⑮地域公共交通	かりんちゃんバス1便当たり利用者数	目標値	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便
		実績値	6.1人/便				
	スワンバス1便当たり利用者数	目標値	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便
		実績値	12.7人/便				
⑯安心生活	交通死亡事故発生件数	目標値	0件	0件	0件	0件	0件
		実績値	1件				
	相談窓口における消費者相談のあっせん・解決率	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		実績値	100%				
⑰持続可能な地域	区・自治会への加入率	目標値	87%	87%	87%	87%	87%
		実績値	82.2%				
	外国籍市民相談窓口の年間相談件数	目標値	800件	800件	800件	800件	800件
		実績値	587件				

## 重点目標効果検証

重点目標	⑤	気持ちいい、心地いいまちづくり
------	---	-----------------

### ●各分野の現状・課題・今後の取組

福祉	<p>地域福祉や健康づくりにおいて、市民や諏訪市を訪れる人が気持ちよさ、心地よさを感じ取れるまちを目指した取組が行われている。特に、令和4年度においては、「諏訪市受動喫煙のない思いやりと健康のまちづくり条例」が制定され、令和5年4月1日より施行された。</p> <p>ソフト面の取組が進められる一方で、総合福祉センターやすわっこランドなど、人々が集う場の老朽化が課題であり、利用実態に応じたハード面の計画的な改修等を行っていく必要がある。</p>
学習	<p>高齢化による社会保障費が増加するなか、運動等による健康づくりに取り組むことで健康寿命が延伸し、社会保障費の安定化につながると考えられる。そのために、スポーツの普及活動や施設等の環境整備が必要である。</p> <p>また、市民が文化・芸術に親しみ、生涯にわたり自発的に学び続けるために、現状不足している学びや文化的技能を活用したまちづくりや地域課題解決に向けた取組を強化する必要がある。</p>
環境	<p>霧ヶ峰高原においては草原再生作業、外来植物駆除、諏訪湖においてはヒシ・浮遊ごみの除去、上川河川敷においてはアレチウリの駆除などを通して、気持ちいい、心地いいまちに向けた取組が行われている。</p> <p>霧ヶ峰・諏訪湖での作業などは参加者が楽しみながら環境保全等への意識醸成が図れるように工夫し、市民と一体となって取組を行っていくことにより、心地いいまちづくりに繋げていきたい。</p>
インフラ	<p>市民の生活環境については、沿道・水辺・公園・広場等における地域住民や各種団体による緑化活動等により、景観や生活環境の向上に大きく寄与している。地域住民の地道な活動により、それらの活動が年中行事、恒例行事として定着しているため、引き続き市がサポートしながら心地いいまちを目指していく。また、子どもから高齢者まで安心して歩いて移動できるまちを目指し、歩行者空間のバリアフリー化や無電柱化に取り組んでいく。</p> <p>市民のライフラインである水道事業などについては、「諏訪市水道事業ビジョン」、「下水道ストックマネジメント計画」、「温泉事業経営戦略」等を基に、老朽化している水道・下水道・温泉管等の更新・耐震化を図りながら、引き続き安定供給を図っていく。</p>
産業	<p>農林漁業においては、関係団体と連携し、耕作放棄地の解消や鳥獣害対策、水産資源確保への取組などを行っているが、どの業種においても、高齢化や担い手の育成が課題である。</p> <p>県や関係団体、地域の担い手との連携を強化し、次代を担う人材の育成や耕作者の意欲向上につながる取組を行っていかねばならない。</p>
防災	<p>交通事故の防止が喫緊の課題となっており、課題解決のため市内各地区や小中学校との協議により、交通安全施設の整備を進めてきている。また、子どもや高齢者を対象とした交通安全教室等の啓発活動により、安全意識の向上を図り、安心して生活を送ることができる環境を目指していく。</p> <p>台風などによる災害から住民の生命・財産を守るため、河川や水路の改修工事を着実に実施してきており、引き続き市内各地区との協議を重ねながら災害に強いまちづくりを推進していく。</p>
参画協働	<p>気持ちいい、心地いいまちづくりのためには、より住民に近い区・自治会の活動を支援することが重要であり、区・自治会と行政の協働した取組を進めていく必要がある。</p> <p>中心市街地については、公と民を繋ぐ連携体制（エリアプラットフォーム）の構築及び「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」の実現に向け、公民それぞれの特徴を活かし、連携・協働して気持ちいい、心地いいまちづくりを進めていく。</p>
行政経営	<p>諏訪広域連合が主体となり、救護施設・小児夜間急病センターの運営、介護保険、消防など15の事務を実施している。</p> <p>広域的なまちづくりを進めていく上でも広域連合の役割・重要度は年々高まっており、市町村が連携し産業や観光、公共施設等の分野についてもより一層の効率化を図っていく必要がある。</p>

### ●重点目標の総合考察

<p>「気持ちいい、心地いいまちづくり」の実現に向けては、公共施設やインフラの老朽化が各分野の課題となっている。一方で、ソフト面では、市民との協働により効果をあげている取組や、中心市街地の公民連携体制構築に向けた動きがあり、市民や事業者との協働によりソフト面の充実・効率化を図り、行政の役割であるインフラ等の改修・更新により一層積極的に取り組んでいく必要がある。</p>
---

重点目標	⑤	気持ちいい、心地いいまちづくり
------	---	-----------------

※市民満足度調査結果を除く

基本方針	K P I		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
①子ども・子育て	子ども・子育て支援事業の充実	目標値	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
		実績値	3.38				
	待機児童ゼロ維持（待機児童数）	目標値	0人	0人	0人	0人	0人
		実績値	0人				
②地域福祉	地域福祉計画施策評価のうち、総合評価A（そのまま継続）の割合	目標値	45%	50%	55%	60%	70%
		実績値	66%				
	ボランティア登録者率	目標値	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
		実績値	25.3%				
③障がい者福祉	福祉施設から一般就労への移行者数	目標値	6人	10人	10人	11人	12人
		実績値	6人				
	地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数	目標値	9回	10回	12回	12回	12回
		実績値	13回				
④高齢者福祉	要介護認定率	目標値	18.5%以下	18.9%以下	19.3%以下	19.6%以下	19.8%以下
		実績値	17.7%				
	認知症サポーターの養成累計	目標値	4,380人	4,620人	4,860人	5,100人	5,340人
		実績値	4,117人				
⑤社会保障制度	生活困窮者自立相談支援事業による支援決定件数	目標値	43件	43件	43件	43件	43件
		実績値	33件				
⑥健康づくり	特定保健指導の実施率	目標値	50.6%	50.6%	50.6%	60.0%	60.0%
		実績値	59.1%				
	特定健診におけるⅡ度高血圧の人の割合	目標値	4.9%以下	4.9%以下	4.9%以下	4.4%以下	4.4%以下
		実績値	10.1%				
⑦地域医療	在宅当番医の利用者数	目標値	1,500人	2,000人	2,500人	2,900人	2,900人
		実績値	2,002人				
	諏訪赤十字病院全救急患者における諏訪市民割合	目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
		実績値	49.2%				
⑨地域教育	学校支援ボランティア参加者延べ数	目標値	20,000人	20,250人	20,500人	20,750人	21,000人
		実績値	7,602人				
	地区育成会等活動支援事業参加者数	目標値	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人
		実績値	1,249人				
⑩生涯学習・文化芸術	講座等アンケートで「学んだことを活かしたい」に回答した割合	目標値	22%	24%	26%	28%	30%
		実績値	15%				
	生涯学習施設におけるボランティア活動に参加した人数	目標値	310人	320人	330人	340人	350人
		実績値	235人				
⑪スポーツ振興	スポーツ施設利用者数	目標値	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年
		実績値	212,002人/年				
	スポーツ教室初参加者中、「スポーツに親しむきっかけとなった」と回答した割合	目標値	92.6%	93.2%	93.8%	94.4%	95.0%
		実績値	91.7%				
⑬環境保全	再生可能エネルギーシステム等導入設置補助制度等による年間CO2削減量	目標値	4,235t	4,435t	4,635t	4,835t	5,035t
		実績値	4,424t				
	霧ヶ峰高原草原再生作業（雑木処理）実施面積累計	目標値	140ha	145ha	150ha	155ha	160ha
		実績値	137ha				

基本方針	K P I		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
⑭森林保全	森林整備面積	目標値	105.0ha	107.0ha	109.0ha	111.0ha	113.0ha
		実績値	83.97ha				
	松枯損木の伐倒処理件数	目標値	15本	15本	15本	15本	15本
		実績値	26本				
⑮環境衛生	燃やすごみ排出量	目標値	11,442t以下	11,479t以下	11,471t以下	11,531t以下	11,444t以下
		実績値	12,147t				
	ごみリサイクル率	目標値	23.1%	22.9%	22.5%	22.2%	22.0%
		実績値	18.1%				
⑯道路整備・計画	道路舗装整備延長率	目標値	3.1%	3.6%	4.1%	4.6%	5.1%
		実績値	3.1%				
	都市計画道路整備率	目標値	27.8%	28.2%	28.6%	29.0%	29.4%
		実績値	29.1%				
⑰都市空間	住宅の耐震診断戸数	目標値	40件/年	40件/年	40件/年	40件/年	40件/年
		実績値	23件/年				
	危険空家等の改善	目標値	4件/年	4件/年	4件/年	4件/年	4件/年
		実績値	3件/年				
⑱上水道・下水道	導送水及び配水管耐震化率	目標値	29.3%	30.0%	30.7%	31.4%	32.1%
		実績値	28.9%				
	耐震化対象下水道管渠耐震化率	目標値	66.0%	75.0%	84.0%	93.0%	100.0%
		実績値	72.5%				
⑲温泉	配湯管耐震化率	目標値	98.3%	98.4%	98.5%	98.6%	98.7%
		実績値	98.3%				
	温泉年間新規契約件数	目標値	5件	5件	5件	5件	5件
		実績値	2件				
⑳地域公共交通	かりんちゃんバス1便当たり利用者数	目標値	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便
		実績値	6.1人/便				
	スワンバス1便当たり利用者数	目標値	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便
		実績値	12.7人/便				
㉑農林漁業	農業の担い手への農地集積率	目標値	39.3%	41.7%	44.7%	47.6%	50.0%
		実績値	37.3%				
	木材搬出面積	目標値	33.5 ha	34.5 ha	35.5 ha	36.5 ha	37.5 ha
		実績値	27.31ha				
㉒防災・危機管理	防災メールの登録者数	目標値	9,100人	9,200人	9,300人	9,400人	9,500人
		実績値	7,927人				
	諏訪市防災気象情報システムアクセス数	目標値	80,200件	80,400件	80,600件	80,800件	81,000件
		実績値	60,348件				
㉓安心生活	交通死亡事故発生件数	目標値	0件	0件	0件	0件	0件
		実績値	1件				
	相談窓口における消費者相談のあっせん・解決率	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		実績値	100%				

基本方針	K P I		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
②まちの賑わい創出	駅前交流テラスすわっチャオ貸館利用件数	目標値	2,940件	3,080件	3,220件	3,360件	3,500件
		実績値	3,618件				
	コワーキングスペース登録有料会員数	目標値	21者	22者	23者	24者	24者
		実績値	26者				
	駅前駐車場利用台数（定期利用除く）	目標値	110,000台	120,000台	120,000台	120,000台	120,000台
		実績値	88,071台				
②多様な市民の参画	移住サポートによる移住定着率	目標値	23.0%	23.5%	24.0%	24.5%	25.0%
		実績値	20.1%				
	ふるさと寄附体験型返礼品寄附金比率	目標値	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
		実績値	13.8%				
	委員会、審議会等における女性登用率	目標値	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%
		実績値	34.8%				
③持続可能な地域	区・自治会への加入率	目標値	87%	87%	87%	87%	87%
		実績値	82.2%				
	外国籍市民相談窓口の年間相談件数	目標値	800件	800件	800件	800件	800件
		実績値	587件				
③健全財政	将来負担比率	目標値	76.0%	73.0%	70.0%	67.0%	64.0%
		実績値	56.5%				
	財政調整基金・減債基金残高	目標値	25億円以上	25億円以上	25億円以上	25億円以上	25億円以上
		実績値	31億円				
	公共施設の総延床面積における縮減率	目標値	6.0%	7.0%	8.0%	9.0%	10.0%
		実績値	7.0%				
③スマート化	市民向けオンライン手続き件数指標	目標値	150	200	300	400	500
		実績値	151				
	ICTツールの置換時間指標	目標値	200	400	600	800	1000
		実績値	310				
③広域連携	諏訪広域連合が処理する事務数	目標値	15件以上	15件以上	15件以上	15件以上	15件以上
		実績値	15件				

## 重点目標効果検証

重点目標	⑥	新たな時代への対応
------	---	-----------

### ●各分野の現状・課題・今後の取組

学習	<p>コロナ禍において、急速にタブレット端末や電子黒板等のICT機器を導入したことから、今後の学校における有効な活用と情報モラル教育が必要となっている。また、今後も時代の変化に対応した新たなデジタル要素が教育現場に導入されることが想定され、児童生徒がICTを適切に活用し、論理的思考力や情報活用能力を育むことができる教育活動を行っていかねばならない。</p>
環境	<p>ゼロカーボンシティ実現に向け、市が率先して取組を進めていく。具体的には、脱炭素の社会実装に向けたゼロカーボンアクション浸透事業、市内への再生可能エネルギー導入に向けた調査などを実施していく。また、公共施設への太陽光発電設備の導入を、初期費用がかからないPPA方式（民間事業者が設置し、当該事業者が電力使用量として設備費用等を含めた金額を支払う方式）で進めていく。</p> <p>市役所庁舎においては、実質再エネ100%電力への切り替えや省エネ機器の導入を実施し、2050年までに諏訪市の温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた取組を進めている。しかしながら、電気料が高騰している現状もあり、実質再エネ100%電力の調達については定期的に見直す必要があり、併せて更新が必要な設備・機器は速やかに省エネ化を図る必要がある。</p> <p>また、諏訪湖周2市1町のごみ処理共同化による諏訪湖周クリーンセンターの稼働に伴い、諏訪市に整備する広域最終処分場の早期稼働に向け、下流域の理解を得ていく必要がある。</p>
防災	<p>台風や集中豪雨の際、早期の避難行動等に役立てるよう、市内における気象情報を迅速に収集・解析し、住民に提供する必要がある。これまでの防災無線のほか、ICTを活用した情報管理の取組を進めていく。また、「すわそらサイト」を多くの方に利用していただくために、使い勝手や画面構成の向上・充実を図り、更なる利用者増に向け周知していく。</p>
行政経営	<p>約3年間に及ぶコロナ禍を経て、社会全体でデジタル技術の活用が急速に浸透し、行政においてもインターネット環境を用いた情報発信、各種手続き、イベント、会議等が一般的な手法となった。人的資源が縮小している中、限られた職員で安定した持続的な行政サービスを提供していくためには、こういったデジタル技術を適切に活用した「業務スマート化」の必要性が一層高まっており、特にマイナンバーカードを用いた行政手続きの効率化等を推進していくため、自治体情報システムの全国標準化に向けた国の方針に基づき利活用を検討していく。</p> <p>また、デジタル技術の活用が進む中でも、誰一人取り残さないDXの推進を念頭に、ICTツールの利活用により生み出される時間を、直接的な市民対応など人にしかできない仕事に充てられる組織体制を目指していく。</p> <p>財政についても新たな手法による自主財源の確保に努め、市ホームページへのバナー広告の導入、広報すわ・公用車への広告掲載、ネーミングライツ、クラウドファンディング等を引き続き実施していく。</p>

### ●重点目標の総合考察

<p>国の「経済財政運営と改革の基本方針2022」の「新しい資本主義に向けた改革」に掲げられたDXやGXに積極的に取り組んでいる。国の方針により急速に進んでいる部分があるが、地域課題等も踏まえ、知恵や工夫を凝らした取組を行っている。DXに限らず、「新たな時代への対応」は、子どもから高齢者まで、誰一人取り残さない対応が重要であり、知恵や工夫を生み出すことのできる職員の育成にも力を入れなければならない。</p>
---



重点目標	⑥	新たな時代への対応
------	---	-----------

※市民満足度調査結果を除く

基本方針	K P I		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
⑧学校教育	「ものづくり教育」の必要性、重要性の認識度	目標値	76.0%	77.0%	78.0%	79.0%	80.0%
		実績値	83.2%				
	奨学金制度の新規利用者	目標値	8人	8人	8人	8人	8人
		実績値	6人				
⑬環境保全	再生可能エネルギーシステム等導入設置補助制度等による年間CO2削減量	目標値	4,235t	4,435t	4,635t	4,835t	5,035t
		実績値	4,424t				
	霧ヶ峰高原草原再生作業（雑木処理）実施面積累計	目標値	140ha	145ha	150ha	155ha	160ha
		実績値	137ha				
⑭森林保全	森林整備面積	目標値	105.0ha	107.0ha	109.0ha	111.0ha	113.0ha
		実績値	83.97ha				
	松枯損木の伐倒処理件数	目標値	15本	15本	15本	15本	15本
		実績値	26本				
⑮環境衛生	燃やすごみ排出量	目標値	11,442t以下	11,479t以下	11,471t以下	11,531t以下	11,444t以下
		実績値	12,147t				
	ごみリサイクル率	目標値	23.1%	22.9%	22.5%	22.2%	22.0%
		実績値	18.1%				
⑯防災・危機管理	防災メールの登録者数	目標値	9,100人	9,200人	9,300人	9,400人	9,500人
		実績値	7,927人				
	諏訪市防災気象情報システムアクセス数	目標値	80,200件	80,400件	80,600件	80,800件	81,000件
		実績値	60,348件				
⑰健全財政	将来負担比率	目標値	76.0%	73.0%	70.0%	67.0%	64.0%
		実績値	56.5%				
	財政調整基金・減債基金残高	目標値	25億円以上	25億円以上	25億円以上	25億円以上	25億円以上
		実績値	31億円				
公共施設の総延床面積における縮減率	目標値	6.0%	7.0%	8.0%	9.0%	10.0%	
	実績値	7.0%					
⑱スマート化	市民向けオンライン手続き件数指標	目標値	150	200	300	400	500
		実績値	151				
	ICTツールの置換時間指標	目標値	200	400	600	800	1000
		実績値	310				
⑳広域連携	諏訪広域連合が処理する事務数	目標値	15件以上	15件以上	15件以上	15件以上	15件以上
		実績値	15件				

基本方針効果検証			
基本方針	① 子ども・子育て	主関連課	こども課
子育ての希望が叶い、子どもが幸せに輝く			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
子ども・子育て支援事業の充実	-	目標値	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
		実績値	3.38				
		達成率(達成度)	96.6%				
待機児童ゼロ維持(待機児童数)	人	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0				
		達成率(達成度)	100%	非常に順調			
市民満足度調査(R5年度調査比向上)	-	目標値	2.87	2.87	2.87	2.87	2.87
		実績値	2.87				
		達成率(達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

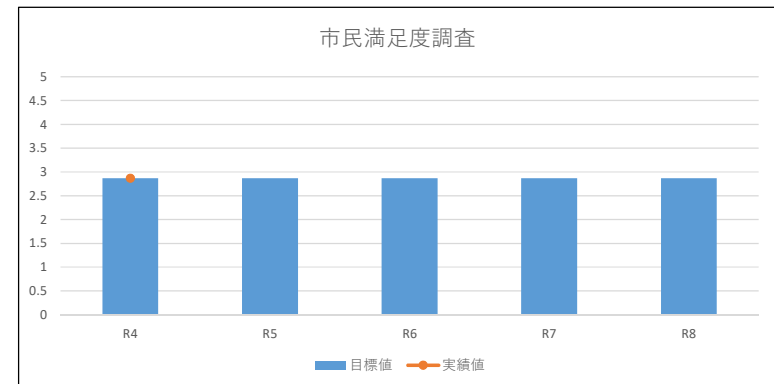
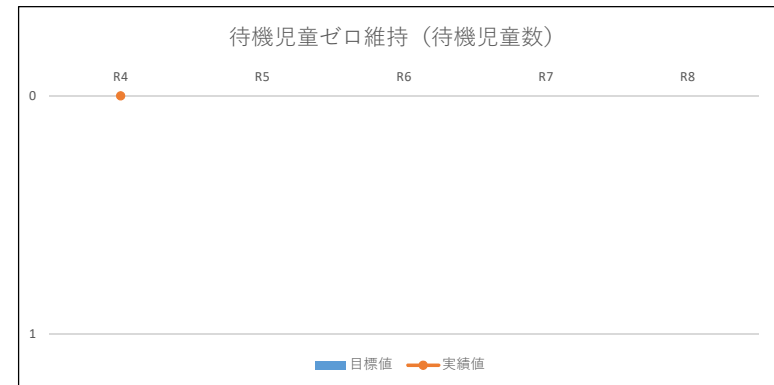
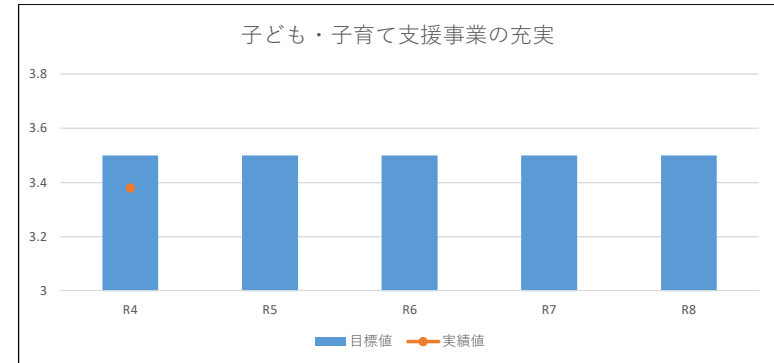
- ・妊娠期から子どもの社会的自立に至るまで切れ目なく、子どもと子育てを家庭を支援するため、「顔が見える関係」を大切にしたい寄り添い支援を基本として、「すわあゆみステーション」の連携体制や相談機能を強化し、安心して健やかに成長できる支援を行っていく。
- ・貧困や虐待、また近年ではヤングケアラーが社会的課題となっており、地域や関係機関と連携しながら、居場所づくりや養育支援、学習支援などを通じ、児童虐待等や貧困の防止に力を注ぎ、全ての子どもが健やかに成長できる支援と環境づくりが求められている。
- ・保育ニーズの多様化に対応して、未満児保育室等の整備を行い、待機児童ゼロを維持している。
- ・全出生児を対象にした家庭訪問や乳幼児健診を実施し、母子の健康や生活状況を把握しながら、相談にのり育児不安解消に努めている。

●課題

- ・子どもや子育て家庭等が抱える課題は複雑化、多様化しており、包括的かつ一体的な相談体制の構築と、関係機関の連携強化が求められている。
- ・支援が必要な子どもが増えているなか、質の高い支援を安定的に提供できる福祉人材の確保と専門的対応の強化が必要。
- ・少子化とともに保育人材不足により、保育の質を維持していくことが、今後さらに難しくなることが想定される。
- ・出生数は減少しているが、継続的に支援が必要な家庭は増えており、今後も妊娠期から子育て期にわたる、切れ目ない支援が必要となる。一方で、必要なサービスが行き届いていない可能性もあるので、情報発信の強化と、きめ細かい対応が重要。

●今後の取組の方向性

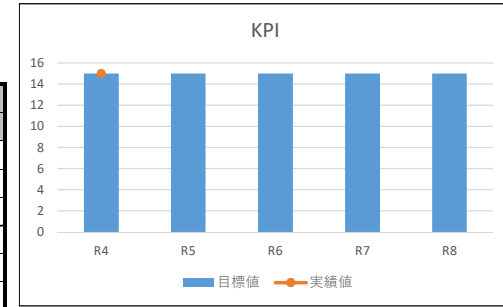
- ・全ての子ども・子育てを家庭を対象に、保護者の不安や悩みの解決をサポートする「すわあゆみステーション」を中心に、子ども・子育てに関する様々な支援策を切れ目なくつなぎ、関係機関の連携により、一体的な支援を充実させていく。
- ・専門機関や子育て・子育て支援拠点との綿密な情報共有による、連携と協働に取り組み、より質の高い専門的対応を図っていく。
- ・将来にわたり保育の質を維持していくために、保育所の適正規模・適正配置・民間活力の活用を積極的に進める。
- ・伴走型相談支援により、妊産婦や養育者のニーズや傾向を把握し、必要な支援を計画・実施する。



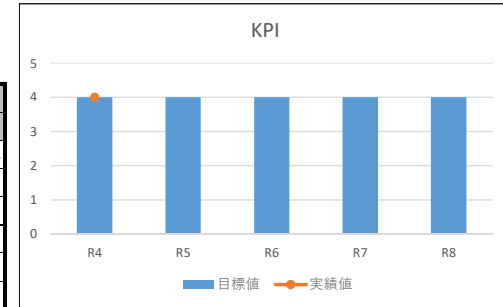
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

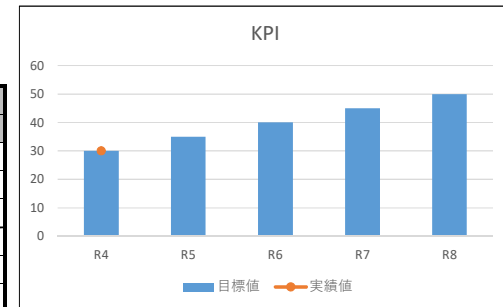
事業名	子ども家庭総合支援拠点事業	担当課・係	こども課子育て支援係					
事業概要 現状	児童福祉法に基づく「諏訪市子ども家庭総合支援拠点すわ☆あゆみステーション」の運営。こども課（子育て支援係・こども応援係）と教育総務課（学務係の一部）で共同運営し、部局・課所を越えた戦略的な連携を図る。	K P I						
		あゆステ関連情報の広報掲載回数						
課題	孤立した子育て、保護者の養育力低下、児童虐待や子どもの貧困、それらの世代間連鎖など、子どもと子育てを取り巻く環境は厳しさを増している。地域の子育てを総合的かつ継続的に支える中心的役割を市町村が担うことが求められている。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	回	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A	目標	15	15	15	15	15	
		実績	15					
今後の取組 の方向性	更に一体的支援ができるよう、子育て世代包括支援センターと共同運営となる「諏訪市子ども家庭センター」の設置に向けて体制強化を目指した組織の見直しに着手する。	達成率	100.0%					
		必要経費（千円）						
		予算額	4,692	4,692				
決算額	3,387	3,387						



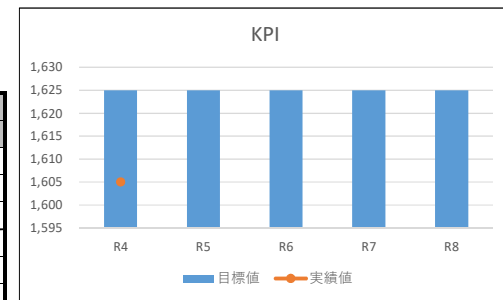
事業名	発達支援事業	担当課・係	こども課こども応援係					
事業概要 現状	0歳から社会的自立に至るまでの発達に関する相談、指導、療育、サービス調整、研修啓発などを統括することも応援係の運営費。ライフステージに沿った支援体制の強化・維持を中心的に担い、切れ目ない支援を実現する。	K P I						
		こども応援係の専門相談員職種配置数						
課題	子どもの成長過程では幅広い関係者・関係機関が支援に関わるため、支援が途切れやすい。個々の状況に対応できる多様な専門性が求められる分野であり、支援を担える人員体制を確保し、社会的自立に至るまでの支援を切れ目なくつなぐ必要がある。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A	目標	4	4	4	4	4	
		実績	4	4				
今後の取組 の方向性	子どもの発達段階に応じた支援として、療育サービスに係る業務を担うことにより、切れ目ない一体的な支援の体制強化を図り、寄り添い支援の拡充につなげる。	達成率	100.0%	100.0%				
		必要経費（千円）						
		予算額	14,663	14,663				
決算額	14,008	14,008						



事業名	母子保健一般事業・出産包括支援事業	担当課・係	健康推進課健康支援係					
事業概要 現状	妊娠期から出産・子育て期まで切れ目ない支援を行い母子の心身の健康を保持するため、妊婦健診・産婦健診、乳幼児健診・相談の実施、委託した産科医療機関・開業助産所での産後ケア事業、ヘルパー事業所による産後サポート事業の実施等により支援する。	K P I						
		産後ケアの利用率（訪問・相談型）：利用件数÷前年度の出生数×3						
課題	コロナ禍、核家族の増加等により相談相手、支援者とのつながりが減少し養育者が孤立しやすい状況にある。また情報や知識の不足が生じたり、逆にインターネット等による不正確な情報が広まりやすい。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
評価	B	目標	30.1	30.1	35	40	45	50
		実績	30.1	30.1				
今後の取組 の方向性	産後ケア・産後サポート事業での医療機関・事業所との連携を強化し、また伴走型相談支援、乳幼児健診等において養育者のニーズや不安を把握して支援するとともに適切なサービスの紹介・提供を行う。	達成率	100.0%	100.0%				
		必要経費（千円）						
		予算額	52,273	52,273				
決算額	43,284	43,284						



事業名	保育所管理運営事業	担当課・係	こども課保育係					
事業概要 現状	老朽化した施設・設備等の更新、保育の利便性を高めるための機能向上等を計画的に実施。	K P I						
		市立保育所における利用定員数						
課題	公立保育所13園の多くが築30年を経過しており、大規模な修繕・更新の時期を順次迎えていくとともに、保育人材不足等により、従前どおりのクラス編成が徐々に難しくなっている状況。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A	目標	1,625	1,625	1,625	1,625	1,625	
		実績	1,605	1,605				
今後の取組 の方向性	施設・設備等の更新や機能向上等を実施するとともに、「ゆめ保育所プラン」及び「保育所民営化ガイドライン」に基づき、保育・幼児教育環境の最適化を着実に進めていく。	達成率	98.8%	98.8%				
		必要経費（千円）						
		予算額	634,498	634,498				
決算額	607,921	607,921						



基本方針効果検証			
基本方針	② 地域福祉	主関連課	社会福祉課
みんなでの助け合い、支え合い			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
地域福祉計画施策評価のうち、総合評価A（そのまま継続）の割合	%	目標値	45	50	55	60	70
		実績値	66				
		達成率（達成度）	146.7% 非常に順調				
ボランティア登録者率	%	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
		実績値	25.3				
		達成率（達成度）	126.5% 非常に順調				
市民満足度調査（R5年度調査比向上）	-	目標値	2.96	2.96	2.96	2.96	2.96
		実績値	2.96				
		達成率（達成度）	100.0%				

●基本方針の現状

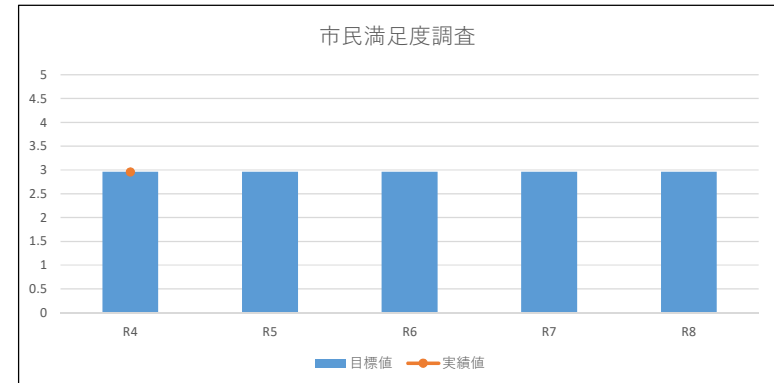
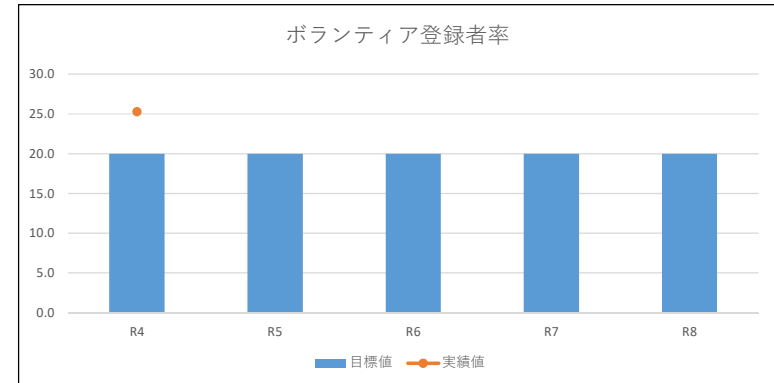
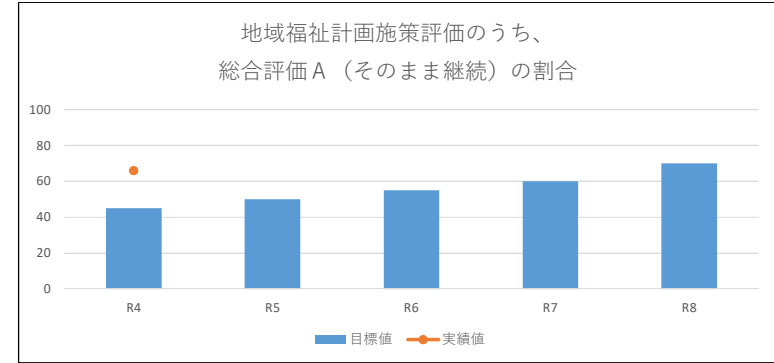
- ・住み慣れた地域社会において、高齢者、障がい者、子どもなど全ての市民が快適な環境の中で健康に生活できる福祉のまちづくりを進めている。
- ・社会福祉協議会他、地域の福祉に関わる団体の関係者と共に地域福祉計画（第5期）の策定を進めている。
- ・関係団体などの連携により、支援を必要とする人が地域で孤立することなく、安心して暮らせるまちづくりを進めるため、民生児童委員協議会、保護司会、更生保護女性会、人権擁護委員協議会と連携して事業を行っている。
- ・全ての市民がお互いの人権を尊重し、平和の尊さを重んじる心を持ち、差別や偏見のないまちづくりの活動として広報による啓発、定期的な相談会の開催を行っている。

●課題

- ・少子高齢化や核家族化等の社会情勢の変化により、地域住民の生活課題が複雑化・複合化しており、包括的相談支援体制の更なる強化が必要。
- ・人口減少・高齢化等により、民生委員や地区役員といった地域の担い手が減少している。
- ・インターネット上の人権侵害が社会的問題となっている。

●今後の取組の方向性

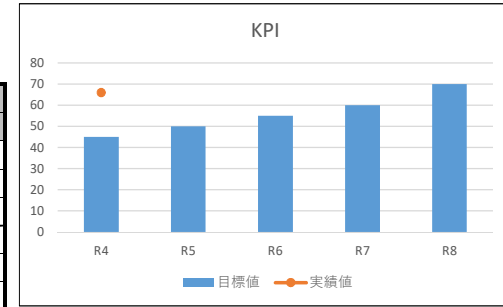
- ・諏訪市地域福祉計画の実行性を高める基盤として、市・社協・地域住民・関係組織等との更なる連携強化を図り、社協を進める「地域福祉活動計画」と一体的策定した「第4期地域福祉計画」を推進する。
- ・総合福祉センターは地域福祉推進の活動拠点として、市民の健康増進、交流が図られているが、利用者の減少、施設の老朽化が進んでいる。利用者の安全安心を図るための危機管理体制及び障害者差別解消法施行による来館者への配慮を進める。
- ・人権を認め尊重する意識の高揚を図るため、人権擁護委員と連携し啓発活動、研修会等を実施していく。



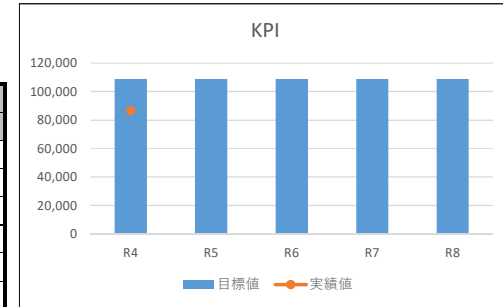
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

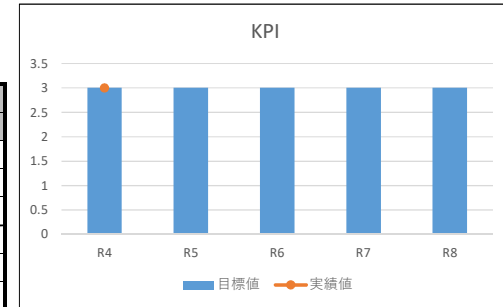
事業名	地域福祉推進事業	担当課・係	社会福祉課 社会係					
事業概要 現状	第4期諏訪市地域福祉計画（R1年度～R5年度）の推進 各地区での地域福祉活動を進めるため、外部の助言を受けながら 地域共生社会の仕組みづくりを推進する。	K P I						
		地域福祉計画施策評価の うち総合評価Aの割合						
課題	諏訪市協働をはじめ関係機関・団体との更なる連携・協力が必要。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A	目標	45	45	50	55	60	70
		実績	66	66				
今後の取組 の方向性	令和5年度に第5期地域福祉計画の策定作業を行う。 専門的な知見を持つアドバイザーの設置を検討している。	達成率	146.7%	146.7%				
		必要経費（千円）						
		予算額	71	71				
		決算額	61	61				



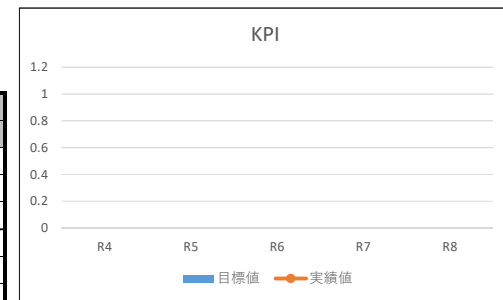
事業名	総合福祉センター管理運営事業	担当課・係	社会福祉課 社会係					
事業概要 現状	・諏訪市総合福祉センターは、障がい者から子ども、お年寄りまで多くの市民が集う交流の場として、また福祉を支える関係団体・各種ボランティア団体の活動拠点として機能している。 ・指定管理者として、諏訪市社会福祉協議会が運営している。 ・建物内には諏訪圏域障がい者総合支援センター、障がい者デイサービスセンター、健康増進施設、2階には諏訪市社会福祉協議会事務局、児童センター、3階にはボランティア・市民活動センター、会議室、交流ひろばを設けている。	K P I						
		総合福祉センター利用者 数						
課題	・建設から20年経過しており、健康増進施設などの機械設備、冷暖房空調設備、電話交換設備、床などの内装材の老朽化が進んでいる。 ・コロナ禍による他の公共施設の利用制限の影響を受け、閉鎖している当施設を利用しはじめた団体の中に、施設側の感度していない利用がある。 ・健康増進施設では設計時の想定数に達する利用者がいるが、これ以上利用が増えることで利用者の快適性が損なわれる恐れがある。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
評価	C(※)	目標	109,000	109,000	109,000	109,000	109,000	
		実績	86,606	86,606				
今後の取組 の方向性	・指定管理者と協力の上、館内電話設備の更新工事、損耗の激しい一部カーペット材の更新、交流ひろばの総帳更新など、計画的な修繕を行っていく。 ・指定管理者に対し、定期的なモニタリングを実施し、適正な運営管理が進められるよう指導を行う。 (※) 市の直営への変更や指定管理者の変更等を行うものではない。	達成率	79.5%	79.5%				
		必要経費（千円）						
		予算額	71,304	71,304				
		決算額	71,303	71,303				



事業名	地域人権啓発活動活性化事業	担当課・係	社会福祉課 社会係					
事業概要 現状	花の栽培を通じて協力・感謝・命の尊さを知ってもらうとともに 人権の意識を培うことを目的に市内小学校において地域人権啓発 活動活性化事業「人権の花」運動を実施。 R4年度は6市町村の当番市として「人権講演会」を開催。	K P I						
		「人権の花」運動による 学校訪問回数						
課題	「人権講演会」は、「人権」を前面に押し出すと集客が難しいので、広報においては工夫が必要。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	回	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A	目標	3	3	3	3	3	
		実績	3	3				
今後の取組 の方向性	諏訪市人権擁護委員協議会による基本的人権を守るための活動を 引き続き支援するとともに、関係行政機関等との連携を図り、地 域の人権啓発活動を推進していく。	達成率	100.0%	100.0%				
		必要経費（千円）						
		予算額	775	775				
		決算額	361	361				



事業名		担当課・係						
事業概要 現状		K P I						
課題		K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位		R4	R5	R6	R7	R8
評価	A	目標						
		実績						
今後の取組 の方向性		達成率						
		必要経費（千円）						
		予算額						
		決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	③ 障がい者福祉	主関連課	社会福祉課
障がいのある人もない人も共に生きる地域			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
福祉施設から一般就労への移行者数	人	目標値	6	10	10	11	12
		実績値	6				
		達成率(達成度)	100.0% 順調				
地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数	回	目標値	9	10	12	12	12
		実績値	13				
		達成率(達成度)	144.4% 非常に順調				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	2.97	2.97	2.97	2.97	2.97
		実績値	2.97				
		達成率(達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

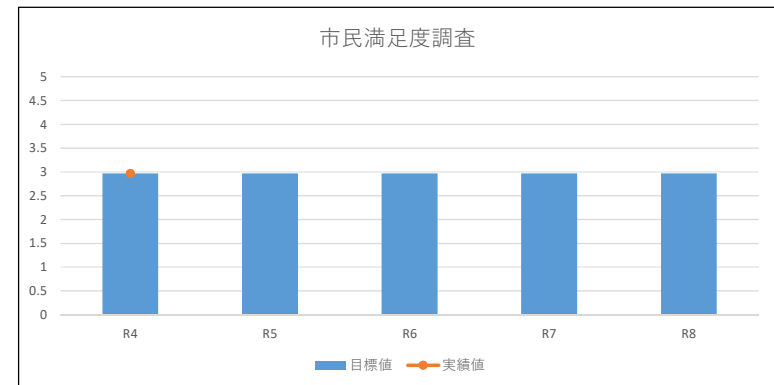
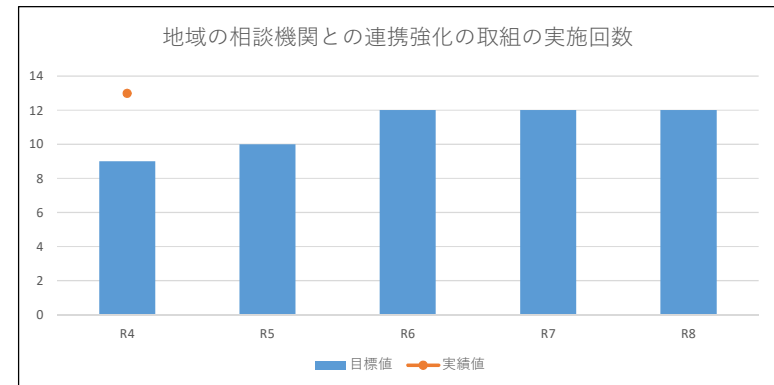
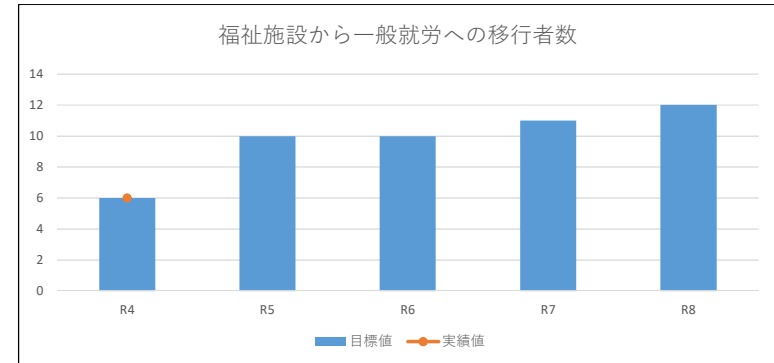
- ・諏訪地域障がい福祉自立支援協議会により、様々な問題に対する自発的な活動が行われている。
- ・障がい者支援の中核となる相談支援専門員が諏訪圏域全体で不足しており、必要な方へのサービス提供に影響が出ないよう、相互連携を図っている。
- ・障がい者が地域で暮らすための重要な選択肢である「グループホーム」について、障がいの特性により利用困難な場合があり、他圏域の施設利用を余儀なくされる事例があるため、諏訪地域障がい福祉自立支援協議会の地域生活支援拠点事業推進会議において協議している。

●課題

- ・身体障がい者は減少傾向であるが、精神障がい者が著しく増加しており、支援体制の充実が不可欠となっている。
- ・障がいに関する様々な法改正を踏まえ、就労、教育、地域等全てにおいて、合理的配慮の提供が一層必要となり、障がい者の一般就労への移行支援がより重要となっている。
- ・地域共生社会の実現に向け、高齢・障がい・貧困等の複合問題に対する重層的支援体制の構築に向けた検討が必要となってきている。

●今後の取組の方向性

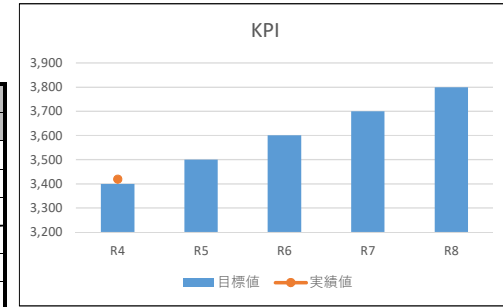
- ・基幹相談支援センターを活用し、地域の相談支援事業者に対する訪問による専門的な指導・助言の実施及び重層的支援体制の構築に向け、地域の相談機関との連携強化を図っていく。
- ・就労を希望する障がい者や家族に対して就労に関する相談支援体制の充実を図るとともに、福祉的就労の場の確保に向けた取組を継続する。
- ・子どもの発達段階に応じ、切れ目ない一体的な支援体制の強化を図る（障がい児通所支援事業等に係る業務は社会福祉課からこども課へ移管済）。
- ・要援護者登録台帳の整備、災害時要援護者リストの作成、各地区の災害時支え合いマップ作成を促進するとともに、地域住民へ働きかけ、個々の実情に応じた支援体制を構築していく。
- ・全ての市民が安全に暮らせるよう、公共施設や道路のバリアフリー化の推進に努めていく。



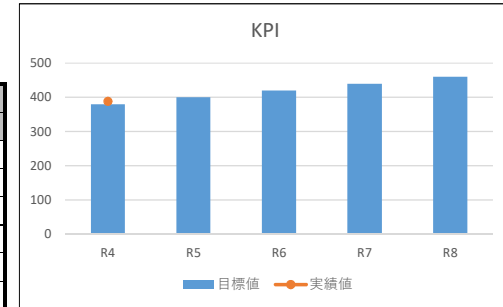
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

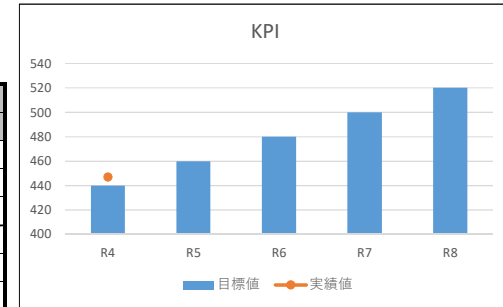
事業名	障がい者総合支援センター運営事業	担当課・係	社会福祉課障がい福祉係					
事業概要 現状	障がいのある方及びその家族や関係者の相談に応じ、福祉サービスの利用、社会資源の活用などを進め、当事者のニーズ、将来の希望等を聞いて、その人らしい暮らしが送れるように支援する。センターの運営は、指定管理者に委託。	K P I						
		相談者数						
課題	諏訪圏域における基幹相談支援センターとしての役割の一層の強化が求められている。相談内容が複雑化・多様化し、併せて困難ケースや緊急ケースが増え、職員の固定化及び専門化が求められている。職員の待遇改善が必要。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
		目標	3,400	3,400	3,500	3,600	3,700	3,800
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	3,419				
今後の取組 の方向性	諏訪圏域内の基幹相談支援センターとして障がい者支援の中核を担い、複雑化・多様化する支援ニーズに対応するため、一層の機能強化を求めていく。センターの評価は、諏訪地域障がい福祉自立支援協議会において行っている。	達成率		100.6%				
		必要経費(千円)						
		予算額	43,915	43,915				
		決算額	43,914	43,914				



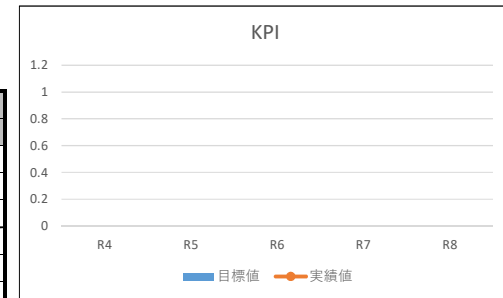
事業名	障がい者訓練等サービス給付事業	担当課・係	社会福祉課障がい福祉係					
事業概要 現状	身体的または社会的なリハビリテーションや就労につながる支援を行う、障がい福祉サービス。障がい福祉サービスを利用することによって、その方が望む暮らしが送れるように支援する。	K P I						
		利用者数						
課題	就労継続支援サービスの利用者が増加。併せてサービス等利用計画の確認とケア会議、支給決定などの事務量とケースへの対応が増加している。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
		目標	380	380	400	420	440	460
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	388				
今後の取組 の方向性	事業所の見学、体験を通して、利用者に合った事業所を選択し、長く利用できるように支援していく。圏域内に就労継続支援事業所の新設が続いているため、それに併せて利用者及び市町村給付費も増加している。	達成率		102.1%	102.1%			
		必要経費(千円)						
		予算額	487,988	487,988				
		決算額	469,760	469,760				



事業名	成年後見支援センター事業	担当課・係	社会福祉課障がい福祉係					
事業概要 現状	成年後見制度利用促進のため、地域連携ネットワークの「中核機関」として位置付けている。相談件数は、新規相談、継続相談ともに増加傾向にある。	K P I						
		相談件数						
課題	成年後見制度は、利用手続きが複雑なことや、成年後見人の受け手（弁護士、社会福祉士、司法書士及び行政書士等の専門職、被後見人の親族、社会福祉協議会（法人後見）、その他（市民後見人等））が不足している。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	件	R4	R5	R6	R7	R8
		目標	440	440	460	480	500	520
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	447				
今後の取組 の方向性	成年後見制度利用促進基本計画は、現時点では未策定であるため、今後策定する地域福祉計画に併載する方向で検討を進めている。	達成率		101.6%	101.6%			
		必要経費(千円)						
		予算額	7,079	7,079				
		決算額	7,068	7,068				



事業名		担当課・係						
事業概要 現状		K P I						
課題		K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位		R4	R5	R6	R7	R8
		目標						
評価		A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績					
今後の取組 の方向性		達成率						
		必要経費(千円)						
		予算額						
		決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	④ 高齢者福祉	主関連課	高齢者福祉課
誰もが元気に安心して暮らせるまちづくり			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●K P I

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
要介護認定率 (目標値以下)	%	目標値	18.5	18.9	19.3	19.6	19.8
		実績値	17.7				
		達成率 (達成度)	104.5% 非常に順調				
認知症サポーターの養成累計	人	目標値	4,380	4,620	4,860	5,100	5,340
		実績値	4,117				
		達成率 (達成度)	94.0% 順調				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90
		実績値	2.90				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

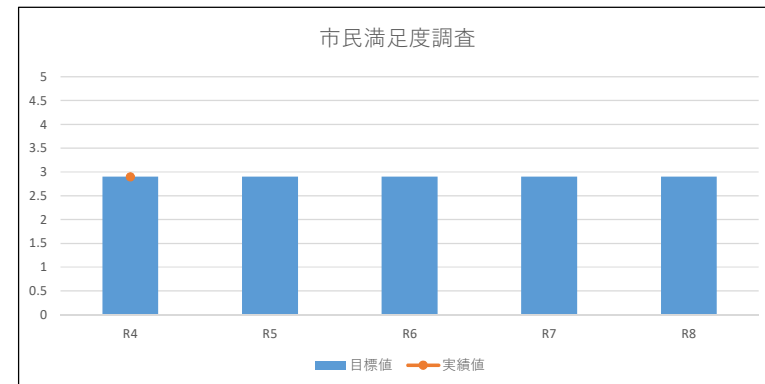
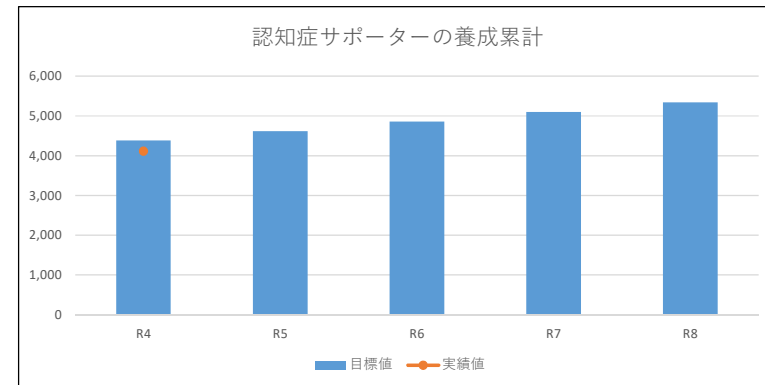
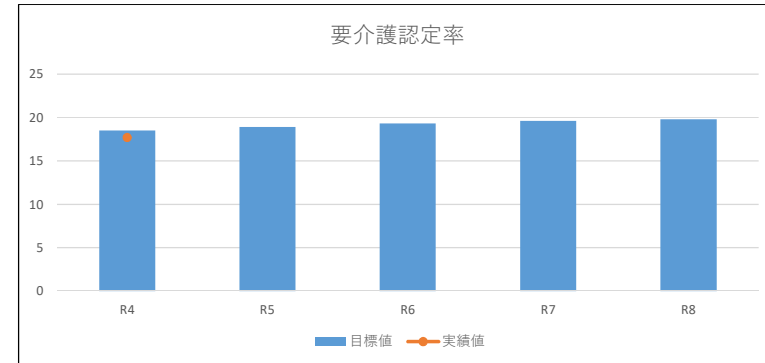
少子高齢化及び人口減少社会の進行に伴い、将来的に医療や介護を担う人材不足が懸念されるなかで、要介護状態となっても可能な限り住み慣れた地域の中で尊厳を保ちながら自立した日常生活を営むことができる「地域包括ケアシステム」の構築を目指している。具体的には、諏訪市医師会(ライフドアすわ)に「在宅医療・介護連携推進」「生活支援体制整備」「認知症総合支援」「地域ケア会議推進」の4事業を一括業務委託し、介護予防と健康づくりの取組みを強化し、高齢者が社会で役割を持って活躍できる環境の整備を進め、自立支援、重度化防止を図るとともに、地域の社会資源を活用しながら保健・医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの充実・強化を官民協働で推進している。

●課題

地域包括ケアシステムは行政だけで構築できるものではなく、医療・介護の専門職や地域住民やボランティア等の連携・協力が非常に重要である。専門職に対しては多職種連携研修を開催し、顔の見える関係づくりと同じ課題を共有することで互いの職務を把握するなかで連携強化を図り、地域住民に対しては地域課題を共有し解決に向けて共に検討を進める必要がある。そのためには地域包括ケアシステム構築の必要性について多くの市民に認識していただき、少子高齢化に伴い生じる地域課題を他人事ではなく、自分事として捉え、認識してもらうことが必要である。

●今後の取組の方向性

少子高齢化に関するテーマで各種講演会やセミナーを継続的に開催。また、専門職と高齢者の自立支援策を検討する「地域包括ケア推進会議」を開催。地域住民等と地域の課題を解決し生活支援体制整備を図る「協議体」を定期的に開催するなかで、諏訪地域の住民に少子高齢化社会及び地域包括ケアシステムについての認識を持っていただく活動を地道に継続していく。

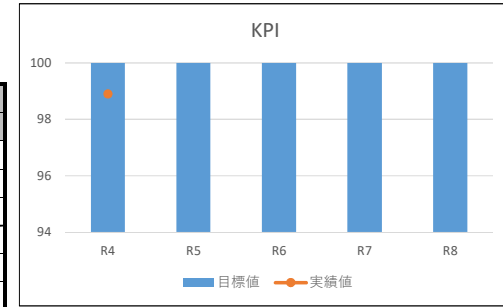




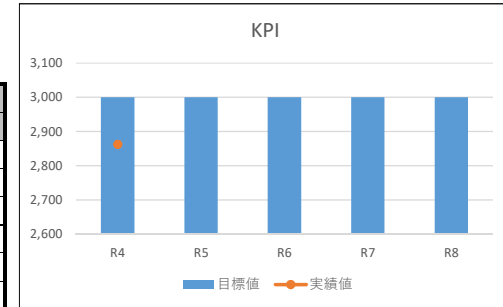
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

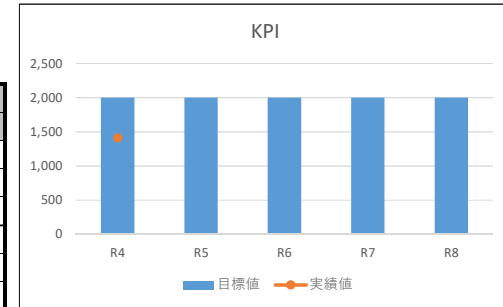
事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	担当課・係	健康推進課健康支援係				
事業概要 現状	健康寿命の延伸と医療費等の安定化を目指し、医療・保健事業と介護予防を担当する課が連携、調整を図り、情報共有をして各事業を一体的に行う。市の健康課題を把握し、より効果的・効率的な事業を計画し実施・評価していく。	K P I					
		保健指導実施率					
課題	主に後期高齢者を対象にしているが、生活習慣の改善や受診についての理解や実行が進みにくい現状がある。	K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位	%	R4	R5	R6	R7
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	100	100	100	100	100
		実績	98.9	98.9			
今後の取組 の方向性	地域の通いの場で健康教育（ポピュレーションアプローチ）を行える箇所を増やし、くり返し健康課題にもとづく健康教育を行う。ハイリスクアプローチにおいては特に未受診者や治療中断者を中心に訪問し、その後の状況を把握する。	必要経費（千円）					
		予算額	3,536	3,536			
		決算額	3,250	3,250			



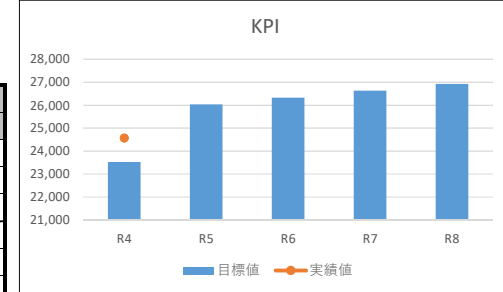
事業名	総合相談支援事業	担当課・係	高齢者福祉課高齢者福祉係				
事業概要 現状	地域に住む高齢者に関する様々な相談を受け止め、適切な保健・医療・福祉サービスや機関・制度につなぎ、継続的にフォローをしており、地域包括支援センターの全ての業務の入り口としてワンストップサービスの機能を果たしている。	K P I					
		総合相談延べ件数					
課題	核家族化による独居高齢者や高齢者のみ世帯の増加、更には8050問題や地域での孤立など、各家庭の抱える課題が複雑化している。超高齢化による多死社会を迎えるなかで、これまで以上に支援の提供が必要になっている。	K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位	件	R4	R5	R6	R7
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績	2,862	2,862			
今後の取組 の方向性	民生委員や民間事業所と連携し、課題を抱える世帯の早期発見とアウトリーチでの相談支援、サービスの提供を図る。更に複雑化した課題の解決に向け、関係機関や関係部署が連携して重層的支援を実施する。	必要経費（千円）					
		予算額	68,738	68,738			
		決算額	60,627	60,627			



事業名	介護予防普及啓発事業	担当課・係	高齢者福祉課高齢者福祉係				
事業概要 現状	要介護状態に至る前段階であるフレイル(虚弱)化を予防するためには日常的な運動による筋力維持が不可欠であり、介護予防教室を通して自宅で簡単に取り組める運動の紹介と日常的な習慣化を促進している。	K P I					
		介護予防教室参加延べ人数					
課題	介護予防教室を通して多くの高齢者が運動習慣を身に付け、フレイル化予防を意識する必要がある。しかし、各教室への参加者は女性が大半を占めておりメンバーも固定化している。	K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位	人	R4	R5	R6	R7
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績	1,413	1,413			
今後の取組 の方向性	高齢者がフレイル予防に取り組み始める契機として、まずは介護予防教室に多くの高齢者が参加してもらえるように、高齢者のニーズに合った多彩な内容の教室の企画運営に取り組む。	必要経費（千円）					
		予算額	9,359	9,359			
		決算額	8,673	8,673			



事業名	食の自立支援事業	担当課・係	高齢者福祉課高齢者福祉係				
事業概要 現状	在宅生活の高齢者が健康で自立した生活を維持するため適切な栄養摂取支援と見守りサービスを実施。対象者は市内在住の非課税世帯の独居高齢者又は高齢者のみ世帯の高齢者に対し、1食700円のお弁当を配達し、その内400円を市で補助。	K P I					
		配食数(見守りサービス利用回数)					
課題	核家族化の進展により独居高齢者又は高齢者のみ世帯が増加傾向にあり、バランスの取れた栄養化の高い配食により食生活の改善と健康増進を図っていくことが重要である。	K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位	食	R4	R5	R6	R7
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	23,530	23,530	26,030	26,330	26,630
		実績	24,563	24,563			
今後の取組 の方向性	核家族化により独居高齢者又は高齢者のみ世帯が増加傾向にあり、高齢者の自立した在宅生活を維持するため当該事業を維持・拡大していく必要がある。	必要経費（千円）					
		予算額	10,264	10,264			
		決算額	9,826	9,826			



基本方針効果検証			
基本方針	⑤ 社会保障制度	主関連課	社会福祉課
健康で文化的な生活の保障			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
生活困窮者自立相談支援事業による支援決定件数	件	目標値	43	43	43	43	43
		実績値	33				
		達成率(達成度)	130.3%				
			非常に順調				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	2.98	2.98	2.98	2.98	2.98
		実績値	2.98				
		達成率(達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

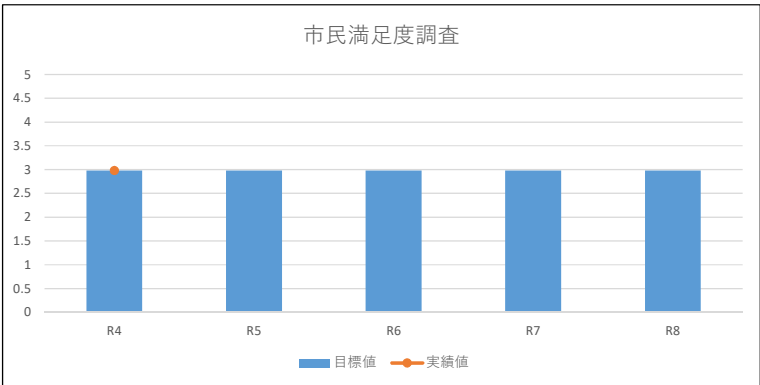
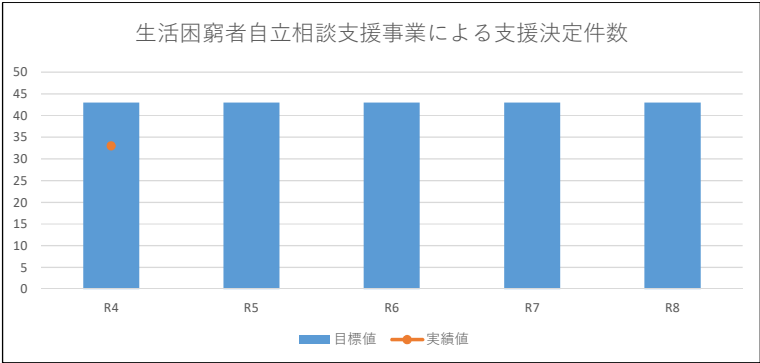
- ・生活困窮者自立支援法に基づく相談窓口「生活就労支援センターまいざほ諏訪市」の運営を令和3年4月より諏訪市社会福祉協議会へ業務委託し、専任の相談員を追加配置するなど、体制の充実・強化を図っている。
- ・生活保護受給者数は近年増加傾向にあり、現在も高止まりの状態が推移している。
- ・こども、障がい者、ひとり親等の早期適切な受療と医療費の家計への負担軽減を図るため、福祉医療費給付事業を実施している。

●課題

- ・生活困窮者の自立支援については、多様で複合的な課題を抱える相談者が増加していることから、制度の有効利用及び関係機関との連携を強化するとともに、相談員の人材確保、育成を図る必要がある。
- ・生活保護は受給世帯数・支給額ともに高止まりの状況が続いており、処遇困難なケースも増えている。
- ・福祉医療給付金制度は、令和5年度からの対象年齢及び現物給付方式対象の拡大による給付費の増加が課題である。

●今後の取組の方向性

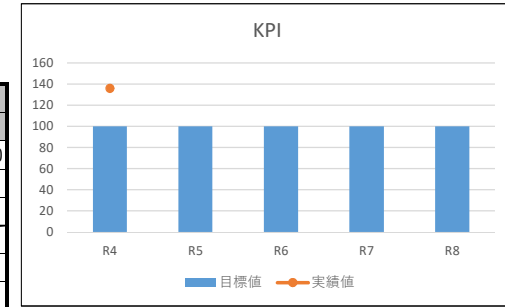
- ・まいざほ諏訪市の運営を引続き社会福祉協議会に委託し、専門知識を必要とする相談員の人材確保、サービスの向上を図る。関係機関・団体等と連携を図り、情報共有を行い幅広いネットワークによる支援を行っていく。
- ・生活保護からの自立に向けた就労支援に努めるとともに、生活困窮者自立支援制度と協調した支援体制により生活保護の適正な運用に努める。
- ・引続き、福祉医療費給付制度による支援を行うとともに、現物給付となる受給者に対し、医療機関の適切な受診に向けた啓発を行っていく。



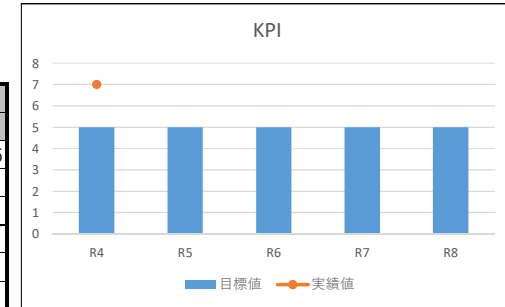
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

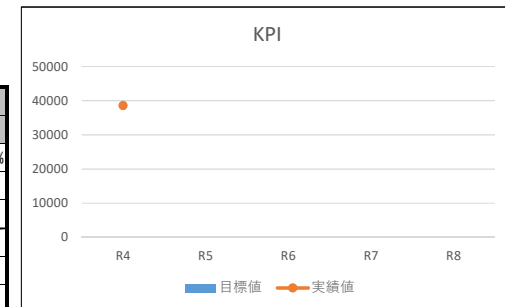
事業名	生活困窮者自立支援事業	担当課・係	社会福祉課 生活福祉係
事業概要 現状	生活保護に至る前の第2の社会保障セーフティネットとして行う、生活困窮者自立支援法（H27.4月施行）に基づく事業。諏訪市では社会福祉課隣に「まいさほ諏訪市」を相談窓口として設置し、生活困窮者の自立に向けた支援を行っている。		
課題	中高年を中心としたひきこもり等複合的な課題を抱える困難ケースが増加していることから、制度の有効利用及び関係機関との連携を強化する必要がある。		
	単位	件	
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	達成率	136.0%	136.0%
今後の取組 の方向性	多様で複合的な課題を抱える生活困窮者に対して伴走型支援を行う。また、「8050問題」「ひきこもり」など、潜在的な困窮者に対してアプローチを進めるため、関係機関・団体等との連携を強化しアプローチに努める。また令和元年度より開始した「子どもの学習・生活支援事業」を継続する等貧困の連鎖を断ち切るための支援メニューの充実を図っていく。		
	必要経費（千円）		
	予算額	51,596	51,596
	決算額	36,817	36,817



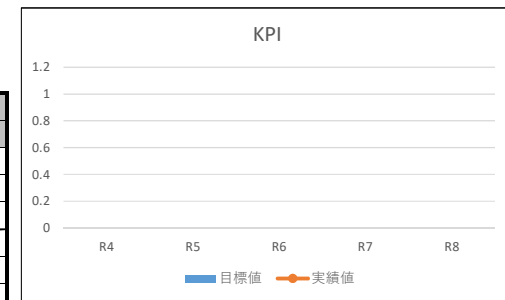
事業名	生活保護制度の運用	担当課・係	社会福祉課 生活福祉係
事業概要 現状	経済的に困窮する者に対して、健康で文化的な最低限度の生活を保障するため保護費を支給する制度		
課題	受給者数が高止まりの状況であるため、今後も要保護者の自立促進を図り、保護費の抑制に努める。		
	単位	件	
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	達成率	140.0%	140.0%
今後の取組 の方向性	生活保護制度は、経済的困窮者に対して最低限度の生活を保障するものであるが、その前提として能力や資産の活用、扶養親族等の援助を優先しつつ自立に向けた援助を継続して行う。また、平成27年度から実施されている「生活困窮者自立支援事業」とも連携しながら、経済的自立・社会的自立等に目じた支援を実行する。		
	必要経費（千円）		
	予算額	491,674	491,674
	決算額	449,006	449,006



事業名	福祉医療費給付事業	担当課・係	市民課 国保医療係
事業概要 現状	こども、障がい者、ひとり親等の早期適切な受療と医療費の家計への負担軽減を図るため、受給者負担金（500円/1レセプト当たり）を超える医療費について給付を行うもの。15歳以下の者については現物給付方式、それ以外の者については自動給付方式を採用。給付費の一部については、県補助金を充当。		
課題	国全体の一人当たり医療費の増加並びに令和5年度からの対象年齢及び現物給付方式対象の拡大による給付費の増加が課題。		
	単位	円	
評価	C A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	達成率	100.0%	100.0%
今後の取組 の方向性	令和5年度よりこどもの支給対象年齢及び現物給付方式の適用年齢を18歳まで拡大。KPI指標の動向を踏まえつつ、医療機関の適正受診の啓蒙等を引き続き行っていく。また、本事業に関する他自治体の動向及び県補助金の動向等を注視し、必要に応じて本事業の在り方について検討を加える。		
	必要経費（千円）		
	予算額	350,433	350,433
	決算額	321,973	321,973



事業名		担当課・係	
事業概要 現状	KPI		
課題	KPI - 必要経費 経年比較		
	単位		
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	達成率		
今後の取組 の方向性	必要経費（千円）		
	予算額		
	決算額		



基本方針効果検証			
基本方針	⑥ 健康づくり	主関連課	健康推進課
健康でいきいきとした暮らし			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現   気持ちいい、心地いいまちづくり		

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
特定保健指導の実施率	%	目標値	50.6	50.6	50.6	60.0	60.0
		実績値	59.1				
		達成率 (達成度)	116.8% 非常に順調				
特定健診におけるⅡ度 高血圧の人の割合 (目標値以下)	%	目標値	4.9	4.9	4.9	4.4	4.4
		実績値	10.1				
		達成率 (達成度)	48.5% 効果なし				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.46	3.46	3.46	3.46	3.46
		実績値	3.46				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

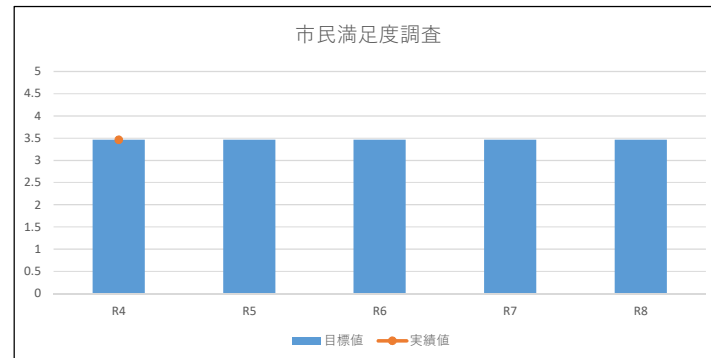
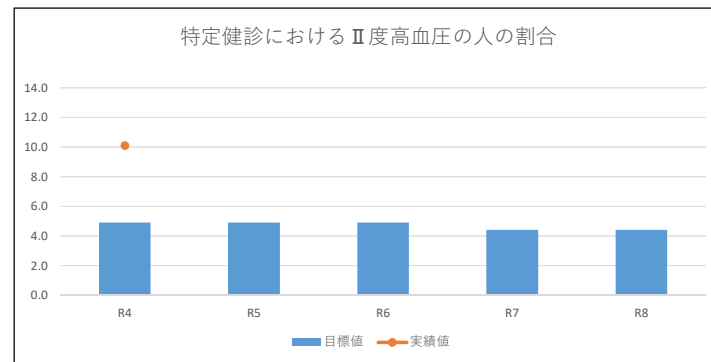
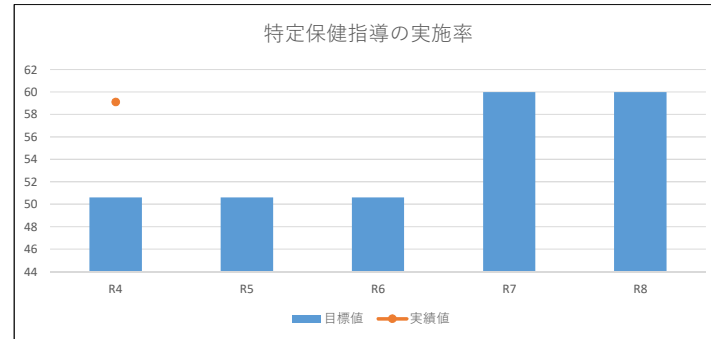
・諏訪市の高齢化率は31%を超え、後期高齢者の増加により医療費、介護費等の社会保障費が増加している。  
 ・特定健診は諏訪市医師会の協力の下、個別健診を主体として実施。受診率は県内でも高い状況だが、高血圧や糖尿病があっても未治療の人がいる。また、40～60代男性の肥満者（BMI25以上）の割合が増えている。  
 ・令和5年4月1日より「諏訪市受動喫煙のない思いやりと健康のまちづくり条例」を施行。同日、諏訪市湖畔公園の一部を受動喫煙防止重点区域に指定し、受動喫煙防止対策を推進している。  
 ・全国、県と比較して自殺率が高い年代がある。

●課題

・国民健康保険の健全な経営維持のためには、医療費適正化は喫緊の課題であり、その足掛かりとなる特定健診の受診、特定保健指導の実施を増やす必要がある。  
 ・平成17年開館のすわかランドは、経年劣化に伴う施設の不具合箇所が目立ち、コロナ禍における入館者の減少、電力等価格高騰の影響による市および指定管理者の財政負担が増加している中で、利用者の受益者負担とのバランスについて検討する必要がある。  
 ・令和2年度後期高齢者1人当たり医療費は県内19市中1位、またコロナ禍を経て高齢者の生活が不活発な状況と考えられ、生活習慣病やフレイルが進行している可能性がある。  
 ・コロナ禍での20歳～30歳代の自殺死亡者の増加

●今後の取組の方向性

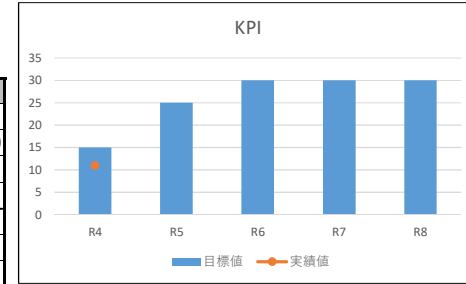
・若年期からの運動習慣の定着、健診受診、生活習慣病予防等の健康づくりを推進するため、健診体制の拡充（休日・集団健診等）、健診結果を生かした保健指導・受診勧奨、その後のフォローを一貫して実施する。  
 ・後期高齢者の生活習慣病重症化や要介護状態を予防して自立期間をより延伸するために、関連部署が連携して高齢期の市民が参加できる教室の開催、通いの場での健康教育等を展開する。  
 ・第1期自殺対策計画期間における現状分析と評価を行い、若年層への対応を踏まえた第2期自殺対策計画を策定する。



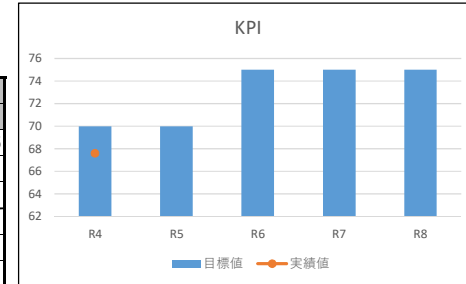
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

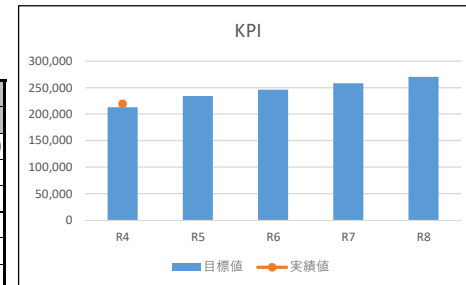
事業名	受動喫煙防止に向けた取組	担当課・係	健康推進課・健康予防係/健康支援係				
事業概要 現状	令和5年4月1日より「諏訪市受動喫煙のない思いやりと健康のまちづくり条例」を施行し、市民への受動喫煙による健康影響を防止するための情報提供・普及啓発を実施。また、たばこをやめたい人への禁煙支援を行っている。						
課題	家庭における受動喫煙防止の実態が把握しづらく、禁煙や受動喫煙を防止するメリットが十分に浸透していない可能性がある。						
	評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了					
今後の取組 の方向性	受動喫煙防止や重点区域指定の意義、禁煙することのメリット等を広く啓発・啓発するため定期的に広報する。また、直接市民と面談する場面で禁煙チャレンジの紹介やたばこの影響について個別に働きかける。						
	KPI						
	禁煙チャレンジ申請者数						
	KPI・必要経費 経年比較						
	単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	15	15	25	30	30	30
	実績	11	11				
	達成率	73.3%	73.3%				
	必要経費(千円)						
	予算額	1,000	1,000				
	決算額	693	693				



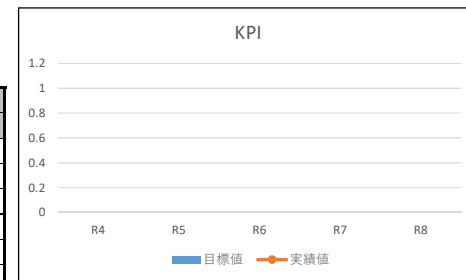
事業名	医療費適正化事業	担当課・係	健康推進課・健康支援係				
事業概要 現状	医療資源(医療費等)を効果的・効率的に使うため、KDBデータ等を活用して健康課題を分析し、より効果的な保健事業等を実施することを旨とする。若年者対象の健診、新規透析導入患者数が減少するようハイリスク者への早期介入等の保健事業を実施する。						
課題	早期(症状が出る前)の生活改善の必要性がなかなか浸透せず、健診後保健指導や、血液検査で重症化が疑われても保健指導や医療機関受診勧奨の受け入れが良くない場合が多い。						
	評価	B:現状のまま継続 C:大幅に見直し D:事業終了					
今後の取組 の方向性	医療機関への受診勧奨の目安や、患者の保健センターへの保健指導紹介基準等を決めて、医療と連携した体制を構築する。						
	KPI						
	保健指導実施率(ハイリスク者)						
	KPI・必要経費 経年比較						
	単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	70	70	70	75	75	75
	実績	67.6	67.6				
	達成率	96.6%	96.6%				
	必要経費(千円)						
	予算額	5,491	5,491				
	決算額	4,293	4,293				



事業名	すわかランド管理運営事業	担当課・係	健康推進課・健康予防係				
事業概要 現状	厚生労働大臣認定健康増進施設であり、子どもからお年寄りまで市民の健康増進を目的として運営。令和4年度から第3期指定管理期間として新たな指定管理者のもと、民間の発想を取り入れたサービス構築が図られている。						
課題	施設の経年劣化により不具合箇所の増、コロナ禍での入館者減、電力等価格高騰の影響等により市の財政負担が増している。						
	評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了					
今後の取組 の方向性	個別施設計画に基づく中規模改修を見据えた施設修繕の実施。指定管理者による市民サービスの向上、コスト削減の取組を行う。						
	KPI						
	入館者数						
	KPI・必要経費 経年比較						
	単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	213,000	213,000	234,000	246,000	258,000	270,000
	実績	219,320	219,320				
	達成率	103.0%	103.0%				
	必要経費(千円)						
	予算額	128,582	128,582				
	決算額	128,582	128,582				



事業名		担当課・係					
事業概要 現状							
課題							
	評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了					
今後の取組 の方向性							
	KPI						
	KPI・必要経費 経年比較						
	単位		R4	R5	R6	R7	R8
	目標						
	実績						
	達成率						
	必要経費(千円)						
	予算額						
	決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	⑦ 地域医療	主関連課	健康推進課
住み慣れた地域での医療及び包括ケアの充実			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●K P I

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
在宅当番医の利用者数	人	目標値	1,500	2,000	2,500	2,900	2,900
		実績値	2,002				
		達成率 (達成度)	133.5%				
諏訪赤十字病院全救急患者における諏訪市民割合	%	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	49.2				
		達成率 (達成度)	98.4%	順調			
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.56	3.56	3.56	3.56	3.56
		実績値	3.56				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

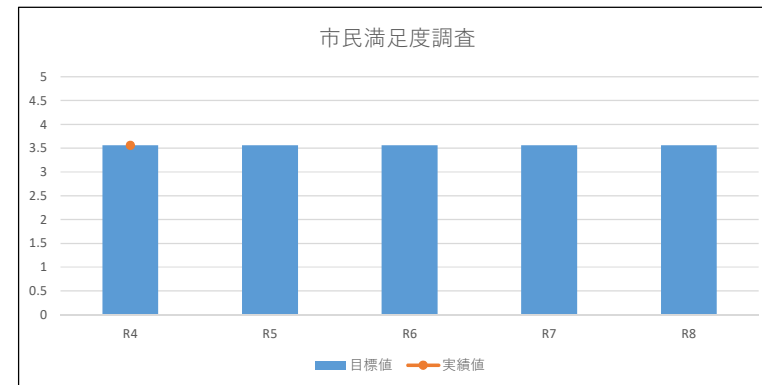
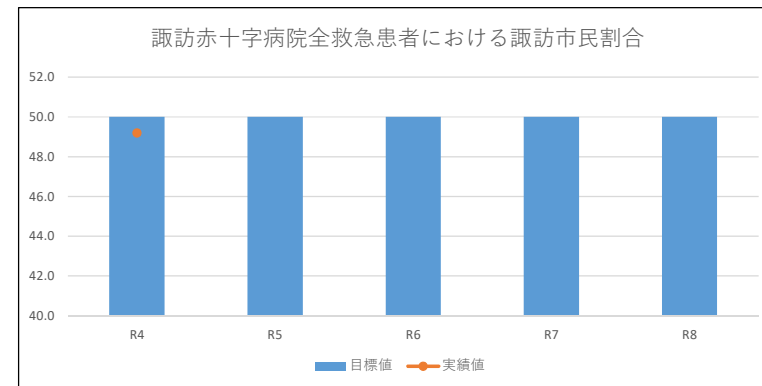
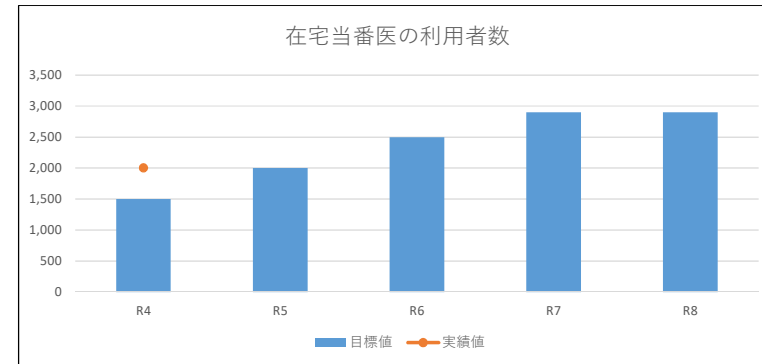
- ・基幹病院である諏訪赤十字病院や諏訪市医師会との連携により、医療資源の保護や活用を検討し、地域医療の充実に取り組んでいる。
- ・諏訪市医師会へ休日当番医制を委託し、諏訪赤十字病院ほかの輪番病院、広域消防との連携により救急医療体制の整備をおこなっている。
- ・地域包括ケアシステム構築に向けて、地域医療・介護連携推進センター「ライフドアすわ」と連携し取り組んでいる。

●課題

- ・新型コロナウイルス感染症拡大を機に、これまでの医療提供体制を維持しながら、急を要する特殊な対応ができる医療体制も求められている。
- ・地域医療体制について、2025年、2040年問題として、本市においても一般診療所における医師の高齢化や後継者不足、諏訪赤十字病院においても医療人材の不足が考えられる。
- ・地域包括ケアの充実のため、各種専門職や地域住民の協力と意識の醸成が必要。地域住民が様々な課題を他人事ではなく自分事としてとらえていく取組が必要。

●今後の取組の方向性

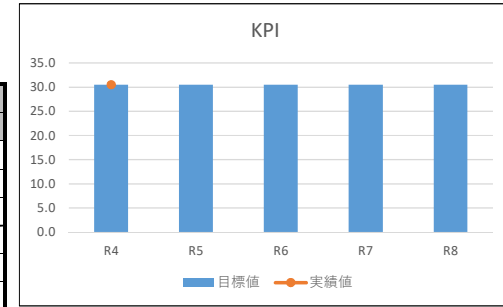
- ・諏訪市医師会、諏訪赤十字病院との連携体制を維持するため、定期的な協議等を継続していく。
- ・将来の地域医療体制については、長野県による諏訪医療圏地域医療構想を注視し、市として必要な対応に取り組む。
- ・専門職種による高齢者の自立支援を検討する「地域包括ケア推進会議」の継続開催、地域住民等により地域課題を検討する「協議体」において、包括ケア体制の構築を推進する。



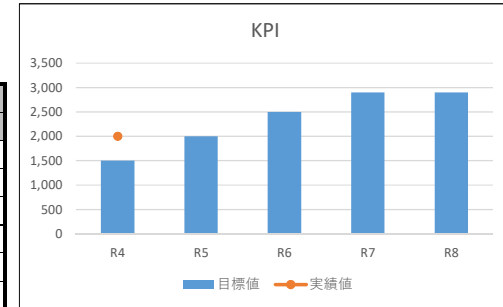
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

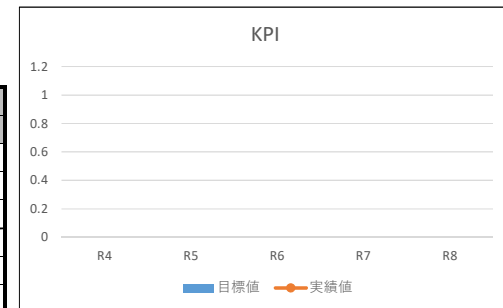
事業名	諏訪赤十字病院移転新築事業補助金	担当課・係	健康推進課・健康予防係
事業概要 現状	諏訪赤十字病院移転新築に要する経費のうち、事業者の事業資金である50億円以内の借入金の元金及び年4%以内の利子相当額について、長期に亘り財政支援を行うもの。		
課題	公立病院を有さない当市の市民病院的役割を持ち、救急医療を含めた高度医療を提供する諏訪赤十字病院の体制を維持するためにも、長期にわたる財政支援を継続する。		
	単位	%	KPI
	目標	30.5	30.5
実績	30.5	30.5	30.5
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率
今後の取組 の方向性	2025年、2040年問題を抱える地域医療体制における高度・専門医療および周産期医療等特定診療を担う諏訪赤十字病院とは、定期的に協議を実施し、必要な支援や連携を検討する。		
	必要経費(千円)		
	予算額	167,390	167,390
	決算額	167,390	167,390



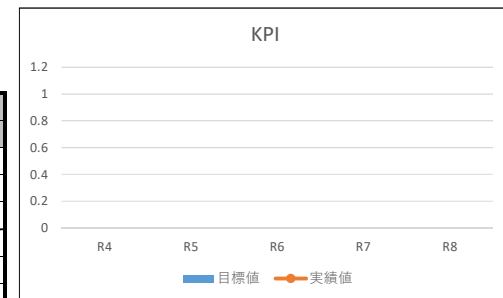
事業名	休日在宅当番医制運営事業	担当課・係	健康推進課・健康予防係
事業概要 現状	休日・夜間等に発生した突発的の傷病について、市民が医療の提供を受けることができるよう、諏訪市医師会に対し、在宅当番医制の運営を委託、初期救急医療の整備を図る。		
課題	コンビニ受診やコロナ禍におけるいきなり受診などによる医療機関の負担が増加しており、市民への受診マナーの徹底の周知啓発が必要。		
	単位	人	KPI
	目標	1,500	1,500
実績	2,002	2,002	2,002
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率
今後の取組 の方向性	市民は必要に応じ、休日等であっても適切な医療を安心して受けられるよう、諏訪市医師会と連携し、初期救急医療体制を維持していく。		
	必要経費(千円)		
	予算額	11,080	11,080
	決算額	11,058	11,058



事業名		担当課・係	
事業概要 現状	KPI		
課題	KPI・必要経費 経年比較		
	単位		R4
	目標		R5
実績		R6	R7
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	R8
今後の取組 の方向性	必要経費(千円)		
	予算額		
	決算額		



事業名		担当課・係	
事業概要 現状	KPI		
課題	KPI・必要経費 経年比較		
	単位		R4
	目標		R5
実績		R6	R7
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	R8
今後の取組 の方向性	必要経費(千円)		
	予算額		
	決算額		



基本方針効果検証			
基本方針	⑧ 学校教育	主関連課	教育総務課
自らを拓き、未来を生きる子どもを育てる			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	新たな時代への対応	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
「ものづくり教育」の必要性、重要性の認識度	%	目標値	76.0	77.0	78.0	79.0	80.0
		実績値	83.2				
		達成率(達成度)	109.5%				
奨学金制度の新規利用者	人	目標値	8	8	8	8	8
		実績値	6				
		達成率(達成度)	75.0%				
市民満足度調査(R5年度調査比向上)	-	目標値	2.98	2.98	2.98	2.98	2.98
		実績値	2.98				
		達成率(達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

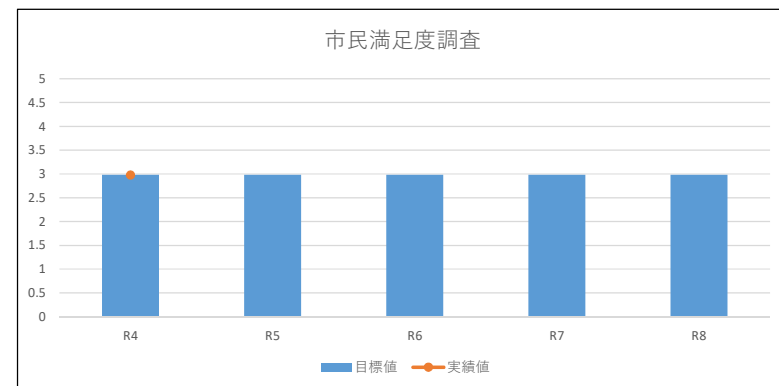
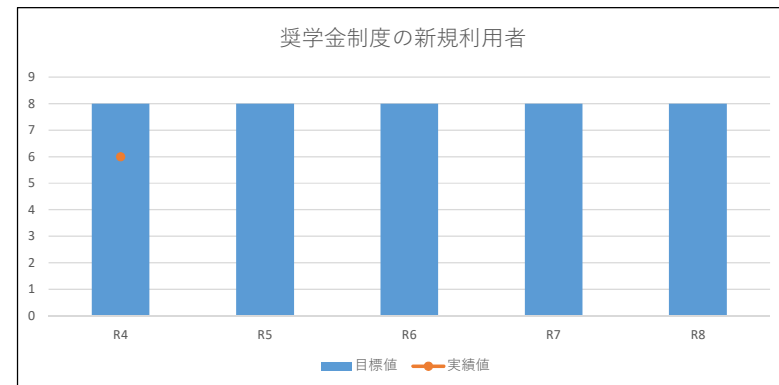
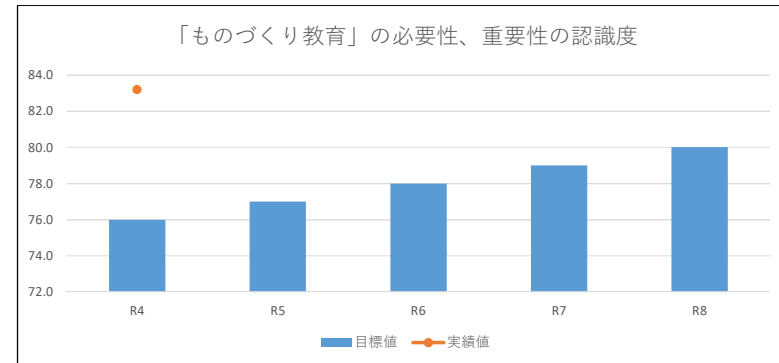
- ・基礎的な学力の定着を基盤に、情報活用力・判断力・表現力・問題解決力等の「生きる力」を育てる教育の重要性が大きくなっている。
- ・相手意識に立つものづくり科という諏訪市独自の教育は、子供たちの体験の幅の増大や表現力や課題解決力という生きる力の育成に繋がっている。
- ・奨学金制度については、国等の動向を見定めたくうえで、より柔軟な対応が求められている。
- ・ICT環境整備が行われ、学校における更なる活用と、情報モラル教育が必要となっている。
- ・老朽化や学校環境の多様化に対応した施設整備や改修等、安全安心な学習環境づくりが必要。
- ・子どもたちを取り巻く社会環境、情報環境が複雑化し、個別の事情等に応じた支援が必要。

●課題

- ・様々な特性をもつ児童生徒が増加傾向にあり、特別支援教育の更なる充実が必要。
- ・多様化する家庭環境により、就学への経済的支援について、より柔軟な対応が必要。
- ・GIGAスクール構想実現のため端末の整備を実施したが、今後も時代の変化に応じ、教育現場へ新たな要素の導入が想定される。
- ・地域の実情や特性を踏まえつつ、市内小中学校の適正規模・配置をすることが必要。
- ・いじめや不登校の要因・背景によっては、様々な機関が連携して対応する必要があり、問題解決や社会的自立に向けた協力体制や受け皿の確保が必要。

●今後の取組の方向性

- ・年度ごと作成する学校教育の具体的な計画「未来創造『あい』プラン」に基づき、全ての児童生徒が認めあい、支えあい、学びあい、自分らしく学べる学校づくり、学級づくりに取り組む。
- ・諏訪版キャリア教育としてのものづくり教育を更に深め充実させる。
- ・特別な支援を必要とする子どもが安心して学校生活が送れるように、支援を充実させる。
- ・就学への経済的支援を継続して行う。
- ・いじめ問題や不登校など児童生徒の悩みや課題に対し、チームで寄り添い支援する。
- ・ICT教育を更に推進する。
- ・未来創造ゆめスクールプランに掲げた小中一貫教育学校の設置に向け、着実に推進する。
- ・計画的な学校施設の改修・修繕を進める。

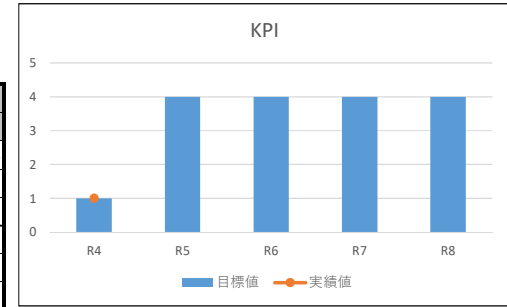




●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

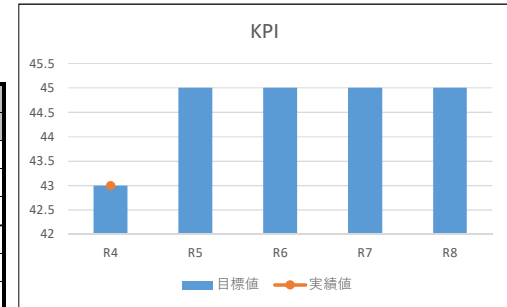
事業名	未来創造ゆめスクールプラン事業	担当課・係	教育総務課・教育企画係
事業概要 現状	「未来創造ゆめスクールプラン」基本計画に基づき、市内小中学校の小中一貫教育を進め、施設分離型においても実践可能な教育課程の研究、南部地区の再編に向けた検討を進めている。		
課題	少子化に伴う児童生徒の減少と学校の教育環境の小規模化、学校施設の老朽化（主に小学校）に伴い、施設整備が喫緊の課題となっている。	K P I	
		小中一貫教育（併設型・分離型）	
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	K P I ・ 必要経費 経年比較	
		単位	中学校区
今後の取組 の方向性	施設分離型においても実践可能な小中一貫教育の教育課程の研究を進める。併せて、南部地区の再編に向け、施設整備、通学区、検討組織など課題を整理し、再編の手法や設置時期などを検討していく。	目標	1
		実績	1
		達成率	100.0%
		必要経費（千円）	
	予算額	8,251	8,251
	決算額	8,036	8,036



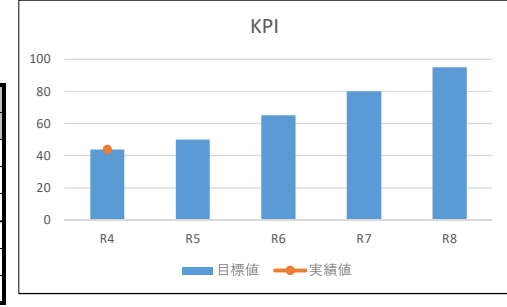
事業名	ICT教育推進事業	担当課・係	教育総務課・教育企画係
事業概要 現状	1人1台端末を配備し、タブレットを活用した授業を実践するとともに全小中学校に導入した電子黒板を活用し双方向型の授業等ICT教育を効果的に実施している。「諏訪市ICT教育推進計画」を策定し、それに基づき全小中学校にICT支援員を配置し、ICT機器の操作支援、授業支援等教員の負担軽減を図りつつ、情報ポータルサイトを立ち上げ研修情報を集約、教職員や管理職向けの各種研修を実施した。		
課題	まずは、ツールとしてのICT機器を授業や交流の場面で使用することに慣れていくこと、そのために必要な環境整備や各種研修を継続して実施する必要がある。加えて、教職員のICT活用指導力の向上や、児童生徒の論理的思考力、情報活用能力を育成する授業展開が求められる。	K P I	
		端末利活用状況等実態調査（週1回以上の端末利活用状況）	
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	K P I ・ 必要経費 経年比較	
		単位	校
今後の取組 の方向性	令和4年度の進捗や全国的な動向を踏まえ、「諏訪市ICT教育推進計画」を一部改訂し、引き続き当計画に基づく取組を進めるとともに、小中一貫教育の推進を見据え、多様な考えと出会い学びを深めることや異年齢集団で交流すること、プレゼンテーションの場を広げることなど、タブレットや電子黒板などICT機器を活用した双方向授業や遠隔授業にもICTを活用していく。特に南部地区小中学校を先進的実践研究校とし、ICTを活用した小中一貫した教科指導に取り組む。	目標	10
		実績	8
		達成率	80.0%
		必要経費（千円）	
	予算額	175,908	175,908
	決算額	173,695	173,695



事業名	児童・生徒学習支援事業	担当課・係	教育総務課・学務係
事業概要 現状	学習支援員を小中学校に配置し、授業中の学習支援を行うとともに、自立生活支援員を小中学校に配置し、肢体不自由等の障がいや様々な特性を抱える児童生徒等に対し、自律した生活習慣の定着や安全な学校生活を送るための支援を行う。		
課題	支援が必要な児童生徒の増加、合理的配慮の提供要員としての支援員等、学校現場や保護者からの支援員の配置要望も年々高まっている。一方、支援員の人材確保が課題となる。	K P I	
		学習支援員・自立生活支援員数	
評価	B:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	K P I ・ 必要経費 経年比較	
		単位	人
今後の取組 の方向性	児童生徒が安心して校内生活を送れ、また合理的配慮の提供の下、学校生活の中で自己肯定感を高めていくことができるように、適正数の支援員を配置していく。	目標	43
		実績	43
		達成率	100.0%
		必要経費（千円）	
	予算額	35,048	35,048
	決算額	34,520	34,520



事業名	学校施設整備事業	担当課・係	教育総務課・教育総務係
事業概要 現状	建築年数が長期間経過し老朽化している校舎を中心に、学校施設維持のための施設整備を行う。		
課題	・未来創造ゆめスクールプランとも連携し、学校施設のより実効的な長寿命化計画の策定及び計画的な修繕等。 ・トイレ洋式化率の向上、エアコン未設置教室への対応。	K P I	
		学校トイレ洋式化率	
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	K P I ・ 必要経費 経年比較	
		単位	%
今後の取組 の方向性	学校施設の計画的な修繕等を行うことで、子どもたちが安全かつ安心して学習等ができる環境整備に寄与する。	目標	43.9
		実績	43.9
		達成率	100.0%
		必要経費（千円）	
	予算額	30,004	30,004
	決算額	29,991	29,991



基本方針効果検証			
基本方針	◎ 地域教育	主関連課	教育総務課
地域に学び、地域に生きる子どもを育てる			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
学校支援ボランティア参加者延べ数	人	目標値	20,000	20,250	20,500	20,750	21,000
		実績値	7,602				
		達成率(達成度)	38.0%				
			努力が必要				
地区育成会等活動支援事業参加者数	人	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		実績値	1,249				
		達成率(達成度)	78.1%				
			努力が必要				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.13	3.13	3.13	3.13	3.13
		実績値	3.13				
		達成率(達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

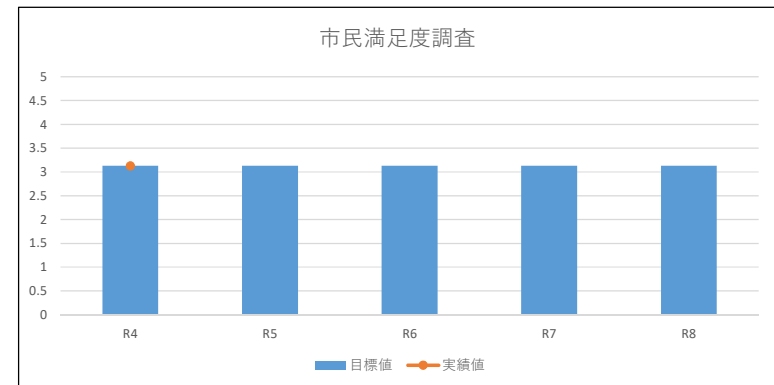
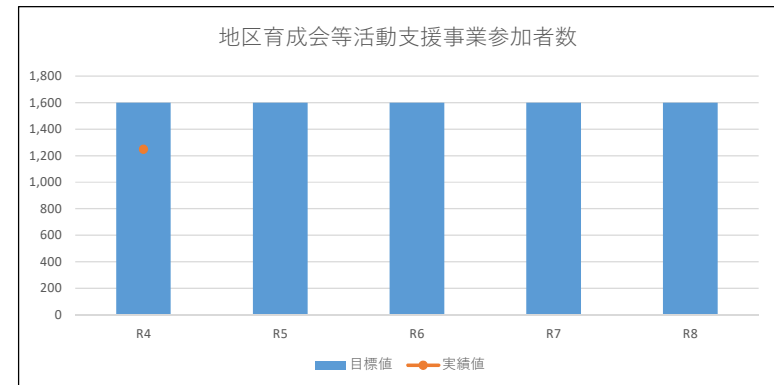
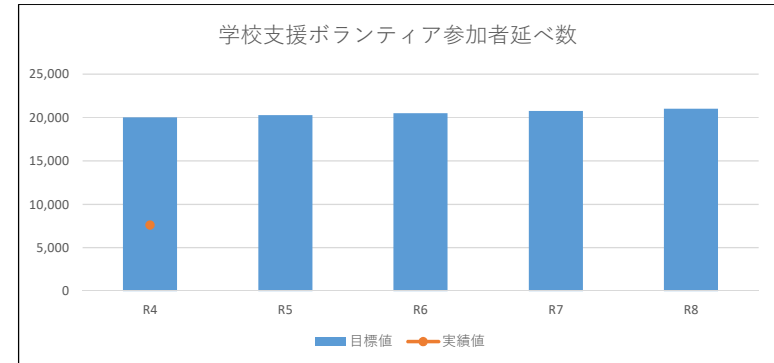
・少子化が急激に進み、地域における子どもの活動が減少していく中で、子どもたちの地域との豊かな関わりの創出・郷土への関心が求められている。  
 ・子どもが地域で学ぶ、地域が子どもを育てることを促進するには、コミュニティスクールとの連携が必須である。  
 ・地域教育を促進するには、地域社会で子どもを見守る土壌をつくり、地域活動への子どもたちの積極的な参画を促す方策の検討が必要。  
 ・情報機器の急速な普及等により、青少年がネット上のトラブルに巻き込まれる可能性が高まっている。

●課題

・少子高齢化が進むことで、地域行事の減少や活動に参画する人材の確保が困難になることが考えられる。  
 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大により、地域活動の制限がされることで、地域と子どもの関わりが弱くなってしまいう可能性がある。

●今後の取組の方向性

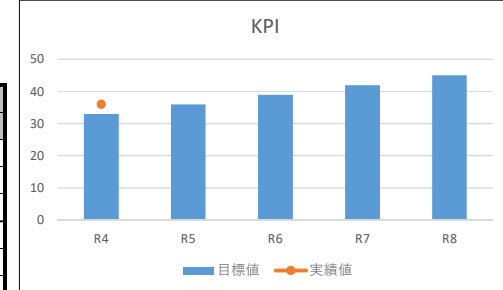
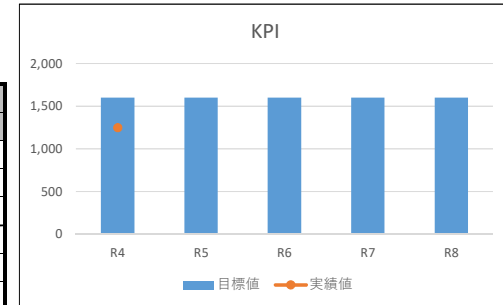
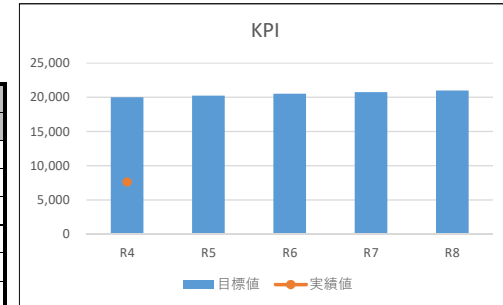
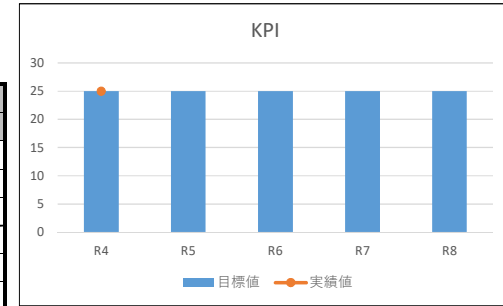
・コミュニティスクールを通じて学校運営に参画することで、学校と地域の信頼関係を深め、地域教育力を高める。  
 ・諏訪版キャリア教育としてのものづくり教育に、地域ぐるみで取り組む。  
 ・郷土諏訪の「ひと・もの・こと」を題材にした「ふるさと学習」の充実を図る。また、生涯学習施設と連携し地域の歴史文化や芸術を学ぶ機会を増やす。  
 ・子どもたちが地域活動に積極的に参加できる機会を得るため、地域の育成会が実施する育成事業、伝統文化事業への支援をする。  
 ・少年愛護委員による定期的な街頭巡視活動を行いながら、地域の中で子どもたちをとりまく環境を見守り、地域の安心・安全につながるよう委員活動の充実を図る。



●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

事業名	ものづくり教育推進事業	担当課・係	教育総務課・教育企画係							
事業概要 現状	諏訪のものづくりの精神を児童生徒に伝えるため、企業・行政・教育の3者による「地域密着型ものづくり講座」を実施。「相手意識に立つものづくり科」授業では子供たちが使うのことを考えて作品を製作し、思いやりや助け合いの心を身につける。	K P I								
		相手意識に立つものづくり科 年間授業時間(各学年あたり)								
課題	地域の特性(ひと・もの・こと)を指導に活かし、地元の人材や地元企業との連携を持ち、地域素材を活用した学習活動を展開していく必要がある。	K P I ・ 必要経費 経年比較								
		単位	時間	R4	R5	R6	R7	R8		
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		目標	25	25	25	25	25	
		実績	25							
今後の取組 の方向性	諏訪地域の「ものづくり精神」を生かした「相手意識に立つものづくり科」を実施し、諏訪版キャリア教育としての「ものづくり教育」を更に深く充実させる。	達成率		100.0%						
		必要経費(千円)		予算額	6,620	6,620				
		決算額		5,820	5,820					
事業名	コミュニティスクール事業	担当課・係	教育総務課・学務係							
事業概要 現状	新型コロナウイルス感染症の影響で直接交流の中止などがあり、地域と学校の意思疎通が図りにくくなった現状を捉え、地域が学校運営に参画する仕組みである学校運営協議会を令和5年度から立ち上げることとした。	K P I								
		学校支援ボランティア参加者延べ数								
課題	学校、地域、双方の当事者意識を高め、持続可能な仕組みとしていくため、コミュニティスクールについての共通理解を図っていく必要がある。	K P I ・ 必要経費 経年比較								
		単位	人	R4	R5	R6	R7	R8		
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		目標	20,000	20,000	20,250	20,500	20,750	21,000
		実績	7,602	7,602						
今後の取組 の方向性	年間スケジュールや小中一貫校としての学校運営協議会のあり方などを整理しながら、より一層、地域との連携強化を図り、学校づくりと地域づくりの好循環を生み出せるよう支援していく。	達成率		38.0%	38.0%					
		必要経費(千円)		予算額	4,252	4,252				
		決算額		3,619	3,619					
事業名	青少年健全育成事業	担当課・係	教育総務課・青少年係							
事業概要 現状	諏訪市子ども育成会連合会・各地区の育成団体などと連携しながら、子どもたちの健全育成を図る活動を推進・支援する。	K P I								
		地区育成会等活動支援事業参加者数								
課題	3年間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、イベント中止を余儀なくされたため、その間のジュニアリーダーを育成していく必要がある。	K P I ・ 必要経費 経年比較								
		単位	人	R4	R5	R6	R7	R8		
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		目標	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	
		実績	1,249	1,249						
今後の取組 の方向性	徐々にイベント等を増やし、交流体験の機会や活動を行い、地域で活躍できるジュニアリーダーの育成を図る。	達成率		78.1%	78.1%					
		必要経費(千円)		予算額	2,060	2,060				
		決算額		857	857					
事業名	ふるさと学習事業	担当課・係	教育総務課・学務係							
事業概要 現状	諏訪市の自然・歴史・文化などを教材として、探究的な学習や体験的な学習などを組み合わせる学習活動を推進し、豊かな感性と総合的な生きる力を育てる。	K P I								
		生涯学習施設実施の体験学習・出前講座の学校での開催回数								
課題	地域素材を活用するとともに生涯学習施設やコミュニティスクールの活動と連携して様々な学習形態を展開していき、子ども自ら問いを立て探究的な学びができるように支援する必要がある。	K P I ・ 必要経費 経年比較								
		単位	回	R4	R5	R6	R7	R8		
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		目標	33	33	36	39	42	45
		実績	36	36						
今後の取組 の方向性	生涯学習施設と連携し地域の歴史文化や芸術を学ぶ機会を増やすとともに小中9年間の系統性を持たせて「ふるさと学習」のカリキュラムを実施していく。	達成率		109.1%	109.1%					
		必要経費(千円)		予算額	3,458	3,458				
		決算額		3,085	3,085					



基本方針効果検証			
基本方針	⑩ 生涯学習・文化芸術	主関連課	生涯学習課
学びや文化芸術に、親しみ、活かし、つなぐ			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
講座等アンケートで「学んだことを活かしたい」に回答した割合	%	目標値	22	24	26	28	30
		実績値	15				
		達成率(達成度)	68.2%				
			努力が必要				
生涯学習施設におけるボランティア活動に参加した人数	人	目標値	310	320	330	340	350
		実績値	235				
		達成率(達成度)	75.8%				
			努力が必要				
市民満足度調査(R5年度調査比向上)	-	目標値	3.22	3.22	3.22	3.22	3.22
		実績値	3.22				
		達成率(達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

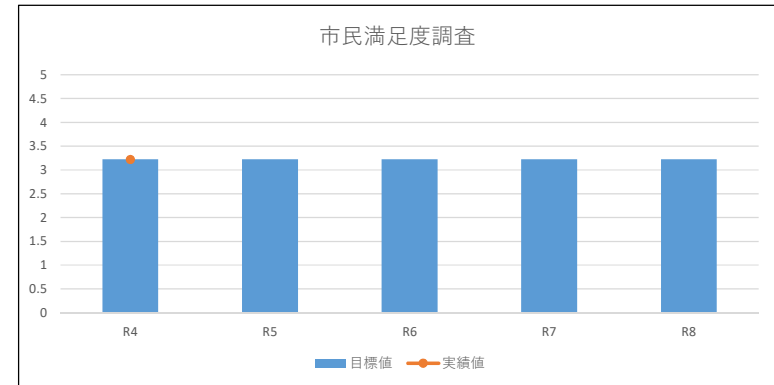
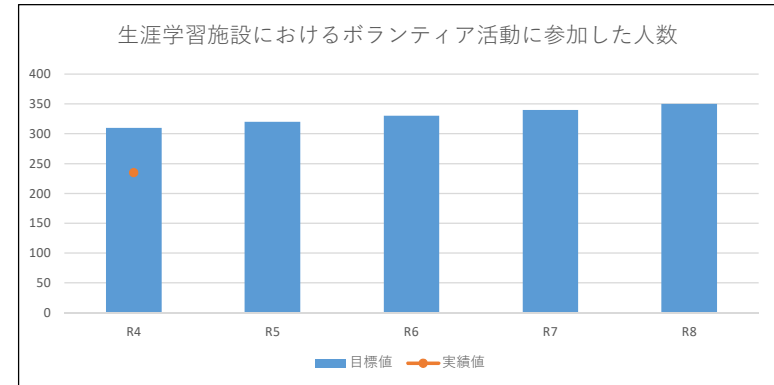
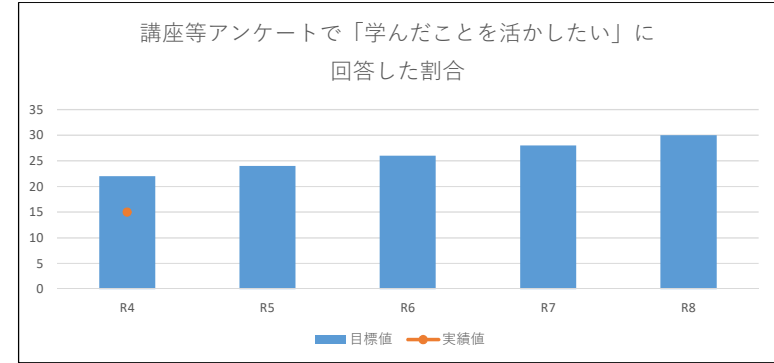
- ・行政機関・民間機関等多様な場で、子どもから大人までを対象とした多くの学びや文化芸術に親む機会が提供されている。
- ・学びや習熟した文化的技能を活用し、人から人へつなげ、まちづくり等の社会貢献や地域課題解決に結びつけたり、多様性を認め、世代を超えた交流から、まちづくりの人材発掘、地域力の向上につなげる取組が不足している。
- ・読書は、自ら考える力や生きる力を育むものとして重要であり、読書習慣の定着とともに学びにつなげる主体性や本を活用する力の育成に向けた取組を進めている。
- ・生涯学習施設は老朽化しており、あり方の検討や、場にこだわらない事業展開が求められている。

●課題

- ・人口減少や高齢化に伴い、学びや文化芸術に親む機会が減少、あるいは固定化することが考えられる。
- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大等に起因した人のつながりの希薄化により、支え合い共存する力、ひいては地域力の低下が想定される。
- ・情報社会において技術革新が進んでおり、生涯学習・文化芸術分野も情報発信に留まらない通信ツールを活用し、学びやつながりを深める必要が出てくる。
- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大を契機に読書が見直されているが、今後長期にわたり親しんでもらうための取組が必要となる。

●今後の取組の方向性

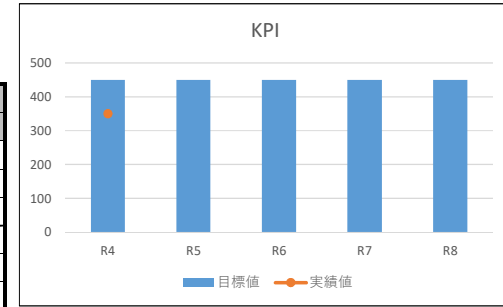
- ・市民一人ひとりが文化や芸術に親しみ、生涯にわたり自発的に学び続けることは、社会の一員として自立した個人を育むために、また、豊かな人生を歩むために大切なことである。
- ・私たちは、多くの人とつながりながらこの地域で生活している。個人やグループが学んだ成果を活かし、生涯学習活動や地域活動を支えることは、諏訪の地域力向上にもつながり、学びや文化芸術活動の定着にもつながる。
- ・諏訪の特色を捉えた学びがいつでもどこでも誰でもできること、地域課題の解決に活かせること、学びを通じて仲間を広げ、人と人とがつながることができる諏訪市を目指す。



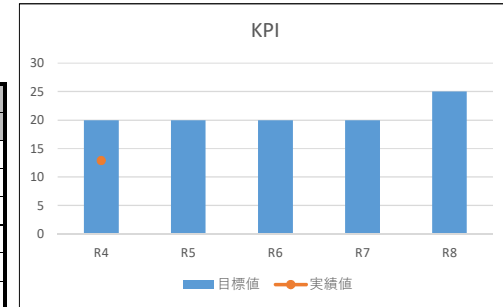
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

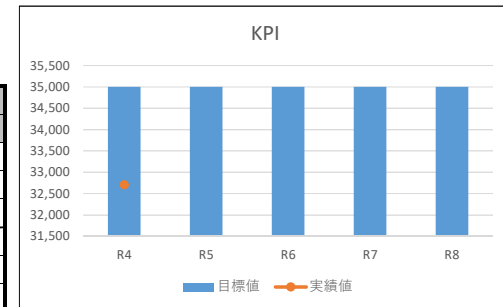
事業名	芸術祭開催事業	担当課・係	生涯学習課・生涯学習係										
事業概要 現状	伝統芸能や音楽など優れた文化芸術に触れる機会を提供するため、諏訪市芸術祭を実施している。(令和4年度は「津軽三味線あべや」350人参加※コロナ感染症対策に配慮した定員による)												
課題	人口減少や高齢化に伴い、学びや文化芸術に親しむ機会が減少、あるいは固定化することが考えられる。	K P I											
		参加人数											
		K P I ・ 必要経費 経年比較											
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位	人										
今後の取組 の方向性	引き続き、公演内容の充実を図りながら、子どもから大人までを対象とした文化芸術に親しむ機会を提供する。	目標	450	R4	450	R5	450	R6	450	R7	450	R8	450
		実績	350										
		達成率	77.8%	77.8%									
		必要経費(千円)											
予算額	2,000	2,000											
決算額	2,000	2,000											



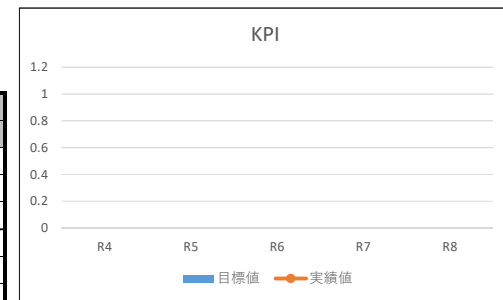
事業名	種まくブック事業	担当課・係	生涯学習課・図書館										
事業概要 現状	18歳新成人へのお祝いに、岩波新書またはジュニア新書を贈る。対象は諏訪市在住または出身の今年度18歳になる市民で、申込はながの電子申請で行う。(令和4年度は制度の変わり目のため18・19・20歳が対象)												
課題	対象者には案内を送付しているが、申込が伸びない。原因としては、PRが足りない、本を選ぶのが面倒、忘れる、そもそも関心がない、などが考えられる。	K P I											
		対象者に対する申込件数の割合											
		K P I ・ 必要経費 経年比較											
評価	B:現状のまま継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位	%										
今後の取組 の方向性	定期的な情報発信で注意を喚起する。また、高校に協力を求め、事業の周知とともに新書への興味を抱かせるような取り組みを行うことを依頼する。	目標	20	R4	20	R5	20	R6	20	R7	20	R8	25
		実績	12.9	12.9									
		達成率	64.5%	64.5%									
		必要経費(千円)											
予算額	1,741	1,741											
決算額	629	629											



事業名	公民館四館施設整備事業	担当課・係	生涯学習課・公民館										
事業概要 現状	諏訪市公民館の四館は、築30年以上が経過し、建物の経年劣化、設備の老朽化が進んでいるため、計画的かつ効率的に施設整備を行っている。												
課題	大規模改修工事は一旦終了したが、引き続き経年劣化や地盤沈下の影響による施設の不具合が生じており、突発的な修繕等が必要となっている。	K P I											
		年間利用者数											
		K P I ・ 必要経費 経年比較											
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位	人										
今後の取組 の方向性	生涯学習活動の拠点であり、地域防災の一次避難所でもあるため、突発的な修繕に対応しつつ、計画性をもって維持管理を行っていく。	目標	35,000	R4	35,000	R5	35,000	R6	35,000	R7	35,000	R8	35,000
		実績	32,710	32,710									
		達成率	93.5%	93.5%									
		必要経費(千円)											
予算額	28,989	28,989											
決算額	28,230	28,230											



事業名		担当課・係											
事業概要 現状													
課題		K P I											
		K P I ・ 必要経費 経年比較											
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位											
今後の取組 の方向性		目標		R4		R5		R6		R7		R8	
		実績											
		達成率											
		必要経費(千円)											
予算額													
決算額													



基本方針効果検証			
基本方針	① スポーツ振興	主関連課	スポーツ課
誰もが気軽に楽しく親しめるスポーツ			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
スポーツ施設利用者数	人	目標値	190,000	190,000	190,000	190,000	190,000
		実績値	212,002				
		達成率 (達成度)	111.6%	非常に順調			
スポーツ教室初参加者中、「スポーツに親しむきっかけとなった」と回答した割合	%	目標値	92.6	93.2	93.8	94.4	95.0
		実績値	91.7				
		達成率 (達成度)	99.0%	順調			
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.20	3.20	3.20	3.20	3.20
		実績値	3.20				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

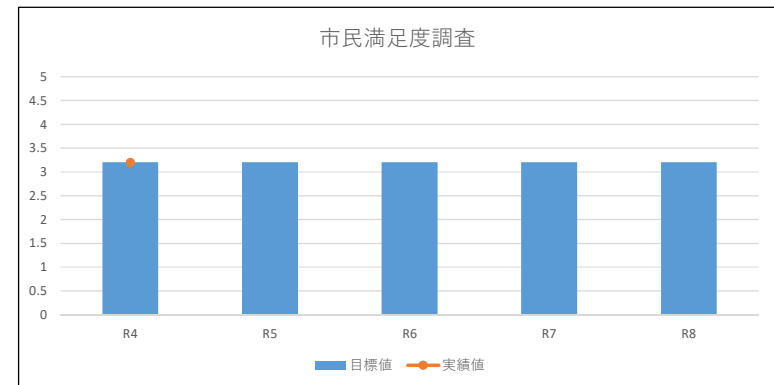
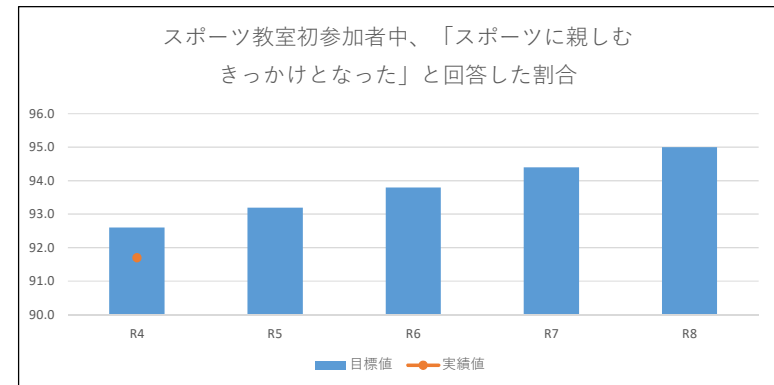
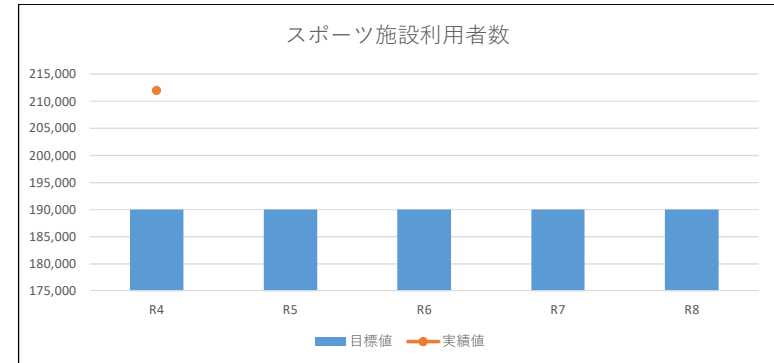
- ・市スポーツ協会や市スポーツ少年団は会員の減少が続き、年少人口を中心にスポーツ人口は減少している。
- ・スポーツの振興・活性化を図るため、指導者やリーダーの確保・養成が必要となっている。
- ・幼児期から無理なく楽しく身体を動かすきっかけづくりとして実施している、保育園での「運動あそび教室」を、さらに小学校入学後や家庭での取り組みへとつなげる方策が必要となっている。
- ・市内スポーツ施設は全体的に老朽化が進んでいる。定期的な点検・整備、計画的な改修が必要である。

●課題

- ・少子化の進行により、子どもたちが希望するスポーツをできる機会が減少する可能性がある。
- ・スポーツ施設を維持していくため、機能の集約や廃止の検討を進めていく必要性が高くなることが想定される。
- ・高齢化による社会保障費の増加が課題であるが、医療費の安定化やいきいきとした生活を実現するため、今以上に健康寿命の重要度が高くなることが想定される。

●今後の取組の方向性

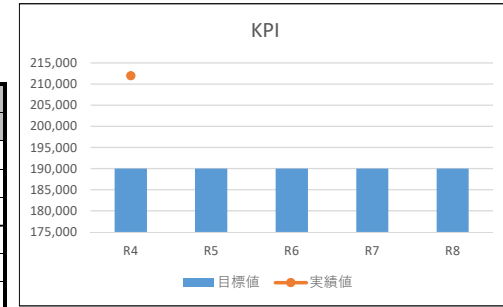
- ・健康づくりや生きがいを求める意識が高まる中、日常生活における運動やスポーツの役割はますます大きくなっている。
- ・文字通り健康づくりに取り組むことで健康寿命は延伸し、社会保障費の安定化にもつながる。これを実現するため、普及活動や施設等の環境整備が必要不可欠となる。
- ・スポーツに対する関心を高め、より身近に感じてもらうことで、市民の誰もが、それぞれの年齢、体力、目的や興味等に応じてスポーツに親しむことができるようになり、生活の一部として楽しく気軽に取り組んでいける。そうした取り組みから、生涯にわたり心身ともに健康でいきいきとした生活を送ることができるまちを目指す。



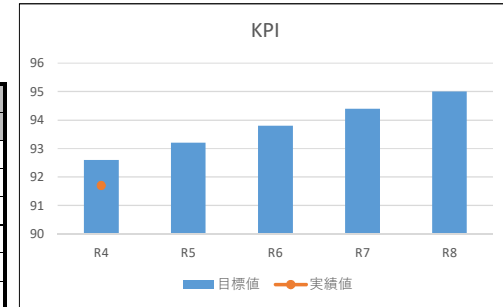
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

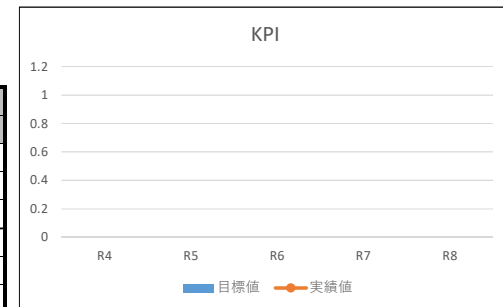
事業名	施設整備事業	担当課・係	スポーツ課施設管理係						
事業概要 現状	各スポーツ施設の適切な管理・整備等を行ない、施設の利用者が安全、快適にスポーツのできる環境を提供する。		KPI						
			スポーツ施設利用者数						
課題	各施設それぞれ老朽化が進んでいることから、施設の安全性・快適性を保持しながらも維持管理コストを抑え、長寿化していくことが課題となっている。		単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
			目標	190,000	190,000	190,000	190,000	190,000	190,000
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	212,002	212,002				
今後の取組 の方向性	・老朽化する施設の修繕を早期かつ計画的に実施することで、長期的なコスト縮減を進めながら延命措置を図る。 ・公共施設等総合管理計画の個別施設計画に沿って、施設の機能移管や機能統合等に取り組んでいく。		達成率	111.6%					
			必要経費(千円)						
			予算額	259,717	259,717				
			決算額	257,354	257,354				



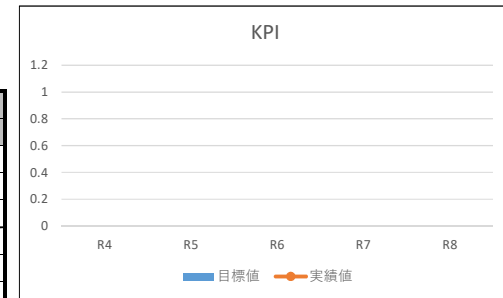
事業名	スポーツ振興事業	担当課・係	スポーツ課スポーツ振興係						
事業概要 現状	全ての市民が、それぞれの年齢や体力、目的や興味等に応じてスポーツに親しむことができるよう、各種スポーツ教室等を検討・企画し、生涯にわたり気軽に楽しくスポーツに親しむための機会を提供する。		KPI						
			スポーツ教室初参加者中、「スポーツに親しむきっかけとなった」と回答した割合						
課題	・スポーツ協会やスポーツ少年団の会員減少が続いており、年少人口を中心にスポーツ人口が減少している。 ・スポーツ振興や活性化を図るため、指導者やリーダーの確保や養成が必要である。		単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
			目標	92.6	92.6	93.2	93.8	94.4	95.0
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	91.7	91.7				
今後の取組 の方向性	・各スポーツ団体と連携を図り、大会や教室の開催といった活動を支援し活動の活性化を図るとともに、指導者やリーダーの育成を支援していく。 ・保育園での運動教室の実施や小学校低学年を対象とする親子教室の開催等、幼少期から日常生活の中で運動が定着することを旨とする。		達成率	99.0%	99.0%				
			必要経費(千円)						
			予算額	11,724	11,724				
			決算額	10,282	10,282				



事業名		担当課・係							
事業概要 現状			KPI						
課題			単位		R4	R5	R6	R7	R8
			目標						
評価		A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績						
今後の取組 の方向性			達成率						
			必要経費(千円)						
			予算額						
			決算額						



事業名		担当課・係							
事業概要 現状			KPI						
課題			単位		R4	R5	R6	R7	R8
			目標						
評価		A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績						
今後の取組 の方向性			達成率						
			必要経費(千円)						
			予算額						
			決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	⑫ 文化財保護・活用	主関連課	生涯学習課
諏訪の特色である文化遺産を守り、活かす			
関連する重点目標	人と投資を呼び込む	みんなに愛のあるライフステージ実現	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
講座等アンケートで「諏訪市の歴史や文化に誇りを感じる」と回答した割合	%	目標値	32	34	36	38	40
		実績値	10				
		達成率(達成度)	31.3%				
			効果なし				
文化遺産関連の保存活動に参加した人数	人	目標値	93	96	99	102	105
		実績値	146				
		達成率(達成度)	157.0%				
			非常に順調				
市民満足度調査(R5年度調査比向上)	-	目標値	3.28	3.28	3.28	3.28	3.28
		実績値	3.28				
		達成率(達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

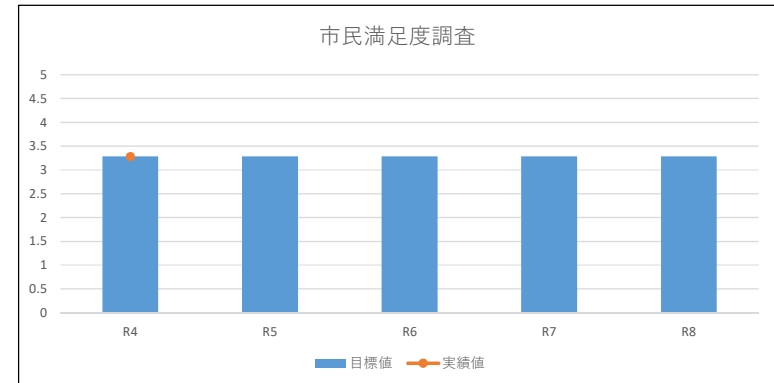
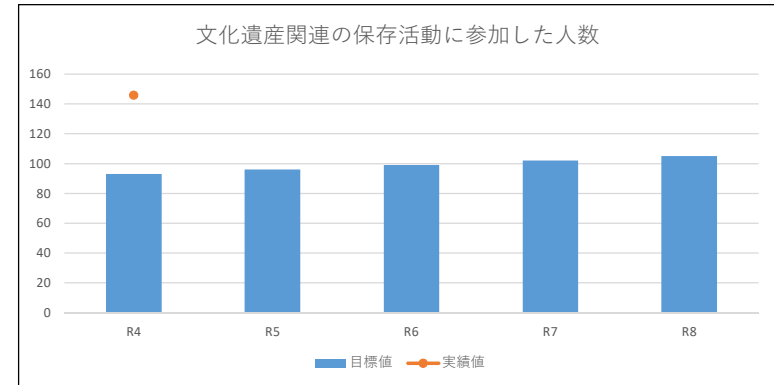
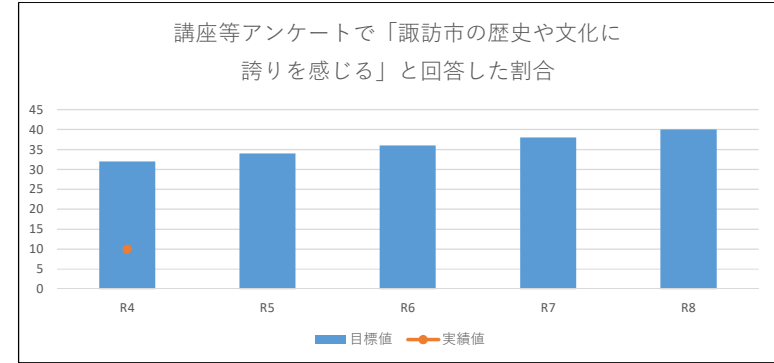
- ・多くの文化遺産が保護を図るべきものとして文化財に指定され、また博物館や美術館等に収蔵され保護されている。
- ・各館収蔵庫が手狭になっており、資料等が活用しにくい状況であるとともに、館外収蔵施設についても老朽化が進行している。
- ・文化遺産の意義について多くの人に理解を得る必要があるが、わかりやすい説明が不足している。また、文化遺産を歴史的背景、ストーリー等でつなぎ、観光面等多くの分野で広く活用することが検討されている。
- ・文化遺産を守り伝えることは労力や財力を必要とするため、所有者や行政の負担が増している。

●課題

- ・生活様式や価値観、世界情勢等の変化に伴い、歴史資料や近代建築、美術作品等の文化遺産が失われることがある。
- ・価値観の多様化が進む中で文化遺産の保存・継承を継続するためには、その意義を市民と共有し、市民を巻き込んだ保護活動を行うことが必要となっていく。
- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大を機に地方が見直され、歴史・文化を含むまちが持つ魅力の重要性が今後更に高まる可能性がある。

●今後の取組の方向性

- ・市民一人ひとりが文化や芸術に親しみ、生涯にわたり自発的に学び続けることは、社会の一員として自立した個人を育むために、また、豊かな人生を歩むために大切なことである。
- ・私たちは、多くの人とつながりながらこの地域で生活している。個人やグループが学んだ成果を活かし、生涯学習活動や地域活動を支えることは、諏訪の地域力向上にもつながり、学びや文化芸術活動の定着にもつながる。
- ・諏訪の特色を捉えた学びがいつでもどこでも誰でもできること、地域課題の解決に活かせること、学びを通じて仲間を広げ、人と人とがつながることができる諏訪市を目指す。

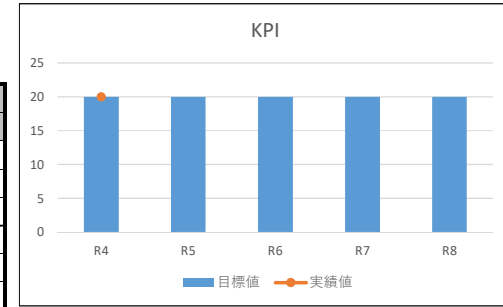




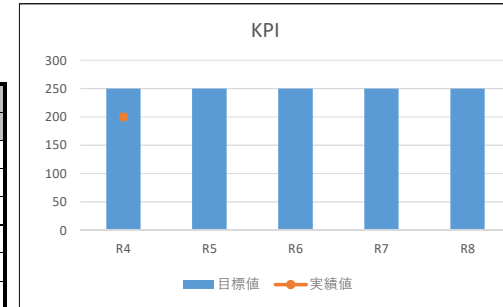
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

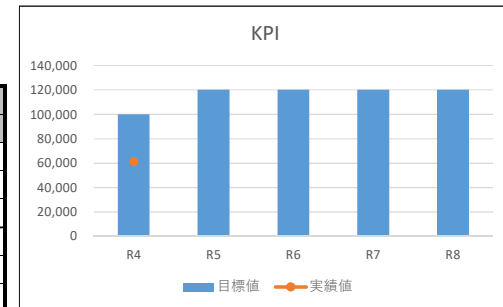
事業名	市内出土遺物保存処理事業	担当課・係	生涯学習課・文化財係
事業概要 現状	遺跡から出土する資料（特に金属製品）には、劣化が進行し保存が困難になるものがあり、保存処理を施す必要がある。現在は小丸山古墳出土品について、劣化防止と将来の保存活用のため保存処理を進めている。		
課題	保存処理には高度な技術を要するため時間や費用がかかる事業であるが、処理が必要な点数は極めて多く、計画的かつ速やかな処置が必要である。		
	単位	点	KPI
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	目標	20	達成率
今後の取組 の方向性	保存処理の優先順位について専門家の意見を交えて検討し、より効果的な処理事業を進める。また処理後の活用を積極的に行って事業の意義について理解を得るとともに、価値の再評価を行い、地域への関心を高める。		
	必要経費（千円）		
	予算額	2,436	達成率
	決算額	2,100	達成率



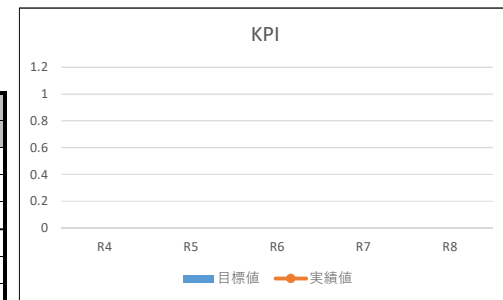
事業名	史跡整備等事業	担当課・係	生涯学習課・文化財係
事業概要 現状	市が管理する高島藩主諏訪家墓所（国史跡）、旧大祝邸などの保存活用のため、現地の維持管理に努めている。現在、諏訪家墓所において、保存活用計画の最終調整を行いながら、整備基本計画策定に向けた準備を進めている。		
課題	管理対象の規模が大きいため良好な見学環境の維持が難しくなっている。支障木の伐採や遺構の修復・復元等で多額の費用が予想され、財源確保が必要となる。また案内要員が常駐ではないため、当該文化財への理解関心を高める取り組みが必要である。		
	単位	部	KPI
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	目標	250	達成率
今後の取組 の方向性	定期的な管理作業による環境維持に努めるとともに、文化財の価値を損なうことなく魅力を増大させる整備を実施して観覧者を増やす。また市の歴史名所としての位置付けを行い、観光スポットとしても積極的に内外にアピールする。		
	必要経費（千円）		
	予算額	2,395	達成率
	決算額	1,668	達成率



事業名	文化センター保存活用事業	担当課・係	生涯学習課・文化センター
事業概要 現状	文化センターは、建設から60年経過しており、施設及び設備の老朽化が進んでいる一方、国の登録有形文化財に登録されている施設である。今後も文化財としての価値を維持しつつ利用していくために改修を行い、利用者の安全の確保と利便性の向上を図る必要がある。		
課題	耐震、設備更新等安全に使用するための改修が必要な一方、利用者の利便性の向上を図る改修も必要である。また、文化財として保存計画に沿った改修をしなければならず、改修内容、規模、財源等についての検討が必要である。		
	単位	人	KPI
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	目標	100,000	達成率
今後の取組 の方向性	駅周辺一帯の整備と情報共有をしつつ、大規模改修工事の内容、規模、財源等の検討をし、設計、改修工事へと進める。また、敷地内施設の再編も含め敷地内の外構工事の検討も進める。		
	必要経費（千円）		
	予算額	70,071	達成率
	決算額	35,795	達成率



事業名		担当課・係	
事業概要 現状	KPI		
課題	KPI・必要経費 経年比較		
	単位		R4 R5 R6 R7 R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	目標		達成率
今後の取組 の方向性	必要経費（千円）		
	予算額		達成率
	決算額		達成率



基本方針効果検証			
基本方針	⑬ 環境保全	主関連課	環境課
緑豊かな自然環境の保全			
関連する重点目標	気持ちいい、心地いいまちづくり	新たな時代への対応	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
再生可能エネルギーシステム等導入設置補助制度等による年間CO <sub>2</sub> 削減量	t	目標値	4,235	4,435	4,635	4,835	5,035
		実績値	4,424				
		達成率(達成度)	104.5%	非常に順調			
霧ヶ峰高原草原再生作業(雑木処理)実施面積累計	ha	目標値	140	145	150	155	160
		実績値	137				
		達成率(達成度)	97.9%	順調			
市民満足度調査(R5年度調査比向上)	-	目標値	3.32	3.32	3.32	3.32	3.32
		実績値	3.32				
		達成率(達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

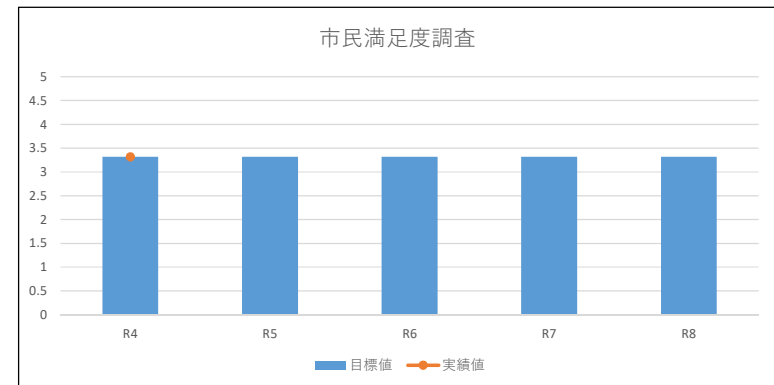
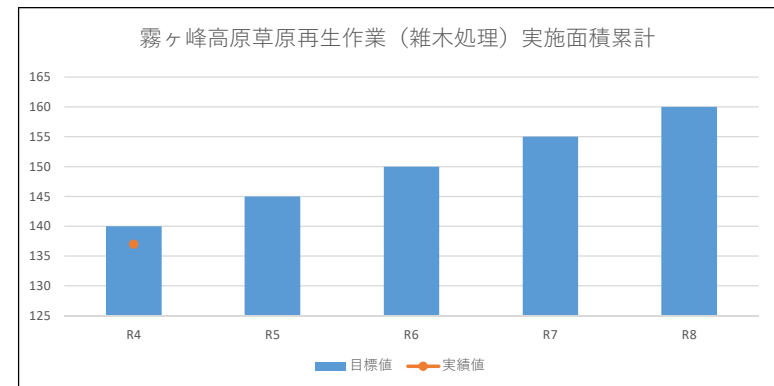
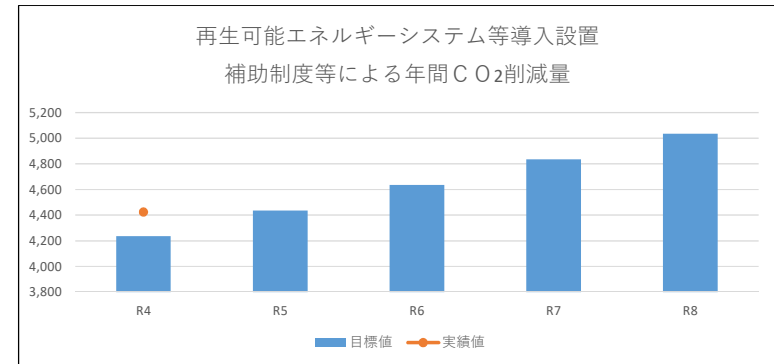
- ・令和4年3月に第三次諏訪市環境基本計画を策定し、計画に基づき各種施策を実施している。
- ・霧ヶ峰高原の豊かな自然環境を守るため、雑木処理やスキ刈取り等の草原再生作業やオオハシソウ等の外来植物駆除作業等を継続して実施している。
- ・県が主体で作成している諏訪湖創生ビジョンに基づく作業として、ヒシ除去作業や浮遊ごみ除去作業等を継続して実施している。
- ・令和4年3月にゼロカーボンシティ宣言を行い、2050年までに諏訪市の温室効果ガス排出量を実質ゼロにする強い決意を表明しており、実現に向けた第一歩として意識醸成を中心とした各種施策を実施している。市役所庁舎でも、実質再エネ100%電力への切替や省エネ機器の導入を実施し、市役所が率先して取り組む姿勢を見せている。

●課題

- ・霧ヶ峰や諏訪湖で行っている作業はすべて手作業であるため、作業そのものの実績(除去量、作業面積等)面においての大きな効果は期待できない。一般ボランティアに参加していただくことによる、自然環境保全への意識醸成に重点を置いた作業として考えていく必要がある。
- ・諏訪市の二酸化炭素排出量のうち、家庭部門からの排出量が基準年度比で増加しており、効果的なアプローチ手法を考える必要がある。
- ・電気が高騰している現状において、市役所庁舎における実質再エネ100%電力の調達についても定期的な見直しをするとともに、更新が必要な設備は速やかに省エネ化を図る必要がある。

●今後の取組の方向性

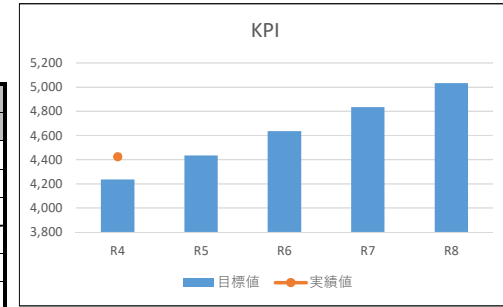
- ・霧ヶ峰や諏訪湖の作業は現状通り実施する中で、参加者が楽しみながら参加でき、自然環境保全への意識醸成に重点を置いた作業イベントとなるよう工夫していく。
- ・ゼロカーボンシティ実現に向けては、土台となる意識醸成のための施策は継続しつつ、その先にある、脱炭素の社会実装に向けた施策(ゼロカーボンアクション浸透事業等)や市内への再生可能エネルギー導入に向けた調査を行う。また、公共施設への太陽光発電設備導入を初期費用がかからないPPA方式(民間事業者が設置し、当該事業者が電力使用料として設置費用等も含めた金額を支払っていく方式)を基本に進めていく。



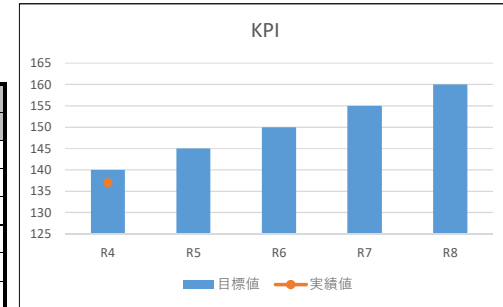
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

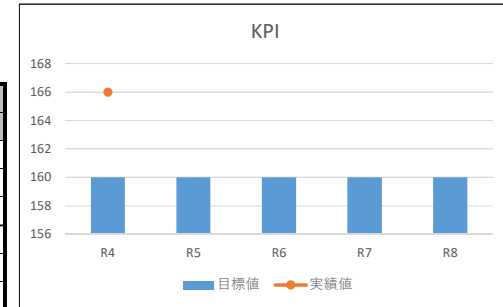
事業名	ゼロカーボンシティ推進事業	担当課・係	環境課環境保全係			
事業概要 現状	令和4年3月にゼロカーボンシティ宣言並びに第三次諏訪市環境基本計画策定を行い、2050年までに諏訪市の温室効果ガス排出量を実質ゼロにする目標を掲げている。令和4年度は、脱炭素に向けた意識醸成を中心とした取組を実施した。					
課題	諏訪市のCO <sub>2</sub> 排出量のうち、家庭部門からの排出量が基準年度比で増加している。 諏訪市のCO <sub>2</sub> 排出量の現状把握について、より実状に即した把握方法の検討が必要である。					
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了				
今後の取組 の方向性	意識醸成の取組は継続しつつ、その先の社会実装や再生可能エネルギーの導入に向けた各種施策を実施する。					
K P I						
再生可能エネルギーシステム等導入設置補助制度等による年間CO <sub>2</sub> 削減量						
K P I ・ 必要経費 経年比較						
単位	t	R4	R5	R6	R7	R8
目標	4,235	4,235	4,435	4,635	4,835	5,035
実績	4,424	4,424				
達成率	104.5%	104.5%				
必要経費(千円)						
予算額	14,004	14,004				
決算額	3,249	3,249				



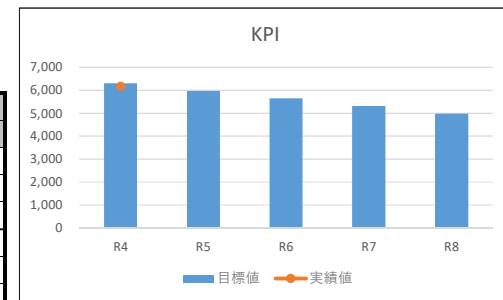
事業名	霧ヶ峰草原再生事業	担当課・係	環境課環境保全係			
事業概要 現状	霧ヶ峰高原の草原再生作業(雑木処理、スキ刈取り等)、オオハングソウ等の外来植物駆除作業、環境保全活動等を、関係機関と協力しながら継続実施している。					
課題	現在行っている作業はすべて手作業であり、実施には限界があるが、他に方法はないため、地道に継続していくしかない。					
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了				
今後の取組 の方向性	草原再生作業や外来植物駆除作業については、地道に継続していくことで少しずつでも効果が表れてくるため、継続して実施していく。諏訪湖の作業と同様に、楽しみながら参加できる作業を考えていく。					
K P I						
霧ヶ峰高原草原再生作業(雑木処理)実施面積累計						
K P I ・ 必要経費 経年比較						
単位	ha	R4	R5	R6	R7	R8
目標	140	140	145	150	155	160
実績	137	137				
達成率	97.9%	97.9%				
必要経費(千円)						
予算額	477	477				
決算額	257	257				



事業名	諏訪湖環境保全事業	担当課・係	環境課環境保全係			
事業概要 現状	諏訪湖のヒシ除去作業、諏訪湖の浮遊ごみ除去作業、上川河川敷のアレチウリ駆除作業を継続実施している。「作業」に別の要素を付加し、楽しみながら参加できる作業を目指している。					
課題	各作業についてはすべて手作業で行っているため、除去量という面においては大幅な増加は望めず、諏訪湖全体の課題としてある、ヒシの大量繁茂等の課題解決にはあまり寄与できていない現状はある。					
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了				
今後の取組 の方向性	ヒシ除去作業の「トヨタソーシャルフェス」としての実施、カヤックに乗船しての浮遊ごみ除去作業の実施はともに参加者から好評であり、また諏訪湖環境保全の意識醸成の面で効果的であるため、今後も継続していく。					
K P I						
ヒシ除去、浮遊ごみ除去、アレチウリ駆除作業参加者数						
K P I ・ 必要経費 経年比較						
単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
目標	160	160	160	160	160	160
実績	166	166				
達成率	103.8%	103.8%				
必要経費(千円)						
予算額	552	552				
決算額	275	275				



事業名	庁舎管理事業	担当課・係	総務課庁舎車両管理係			
事業概要 現状	令和5年3月に地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を改定し、市役所全体で令和12年度までの温室効果ガス排出量の削減目標(平成25年度比)を40%から60%に引き上げた。これを実現するため、再生可能電力の調達及び省エネ機器の導入等を実施している。					
課題	再生可能電力の調達に関する契約は、可能な限り低コストとなるよう定期的な見直しが必要である。また、本庁舎は建設から50年以上経過し、建替えも視野に入るが、更新が必要な設備は速やかに導入し、省エネ化を図っていく必要がある。					
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了				
今後の取組 の方向性	電力調達については公共施設のレジリエンス強化を考慮し、公共施設敷地内へ事業者が発電設備を設置し、市は事業者から電力購入を行う手法の導入を検討していく。また、設備等の更新は、将来的な建替えを見据えながら、必要に応じて導入する。					
K P I						
市役所全体の温室効果ガス排出量						
K P I ・ 必要経費 経年比較						
単位	t	R4	R5	R6	R7	R8
目標	6,304	6,304	5,972	5,640	5,308	4,976
実績	6,172	6,172				
達成率	102.1%	102.1%				
必要経費(千円)						
予算額	252,713	252,713				
決算額	250,297	250,297				



基本方針効果検証			
基本方針	⑭ 森林保全	主関連課	農林課
貴重な森林を守り育てる			
関連する重点目標	気持ちいい、心地いいまちづくり	新たな時代への対応	

●K P I

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
森林整備面積	ha	目標値	105.0	107.0	109.0	111.0	113.0
		実績値	83.97				
		達成率 (達成度)	80.0% 順調				
松枯損木の伐倒処理件数	本	目標値	15	15	15	15	15
		実績値	26				
		達成率 (達成度)	173.3% 非常に順調				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30
		実績値	3.30				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

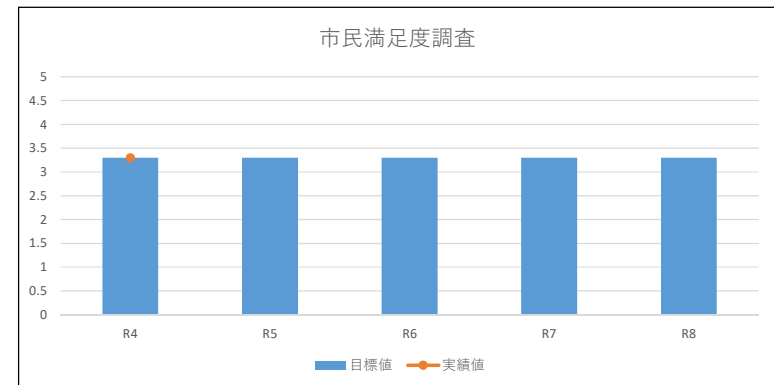
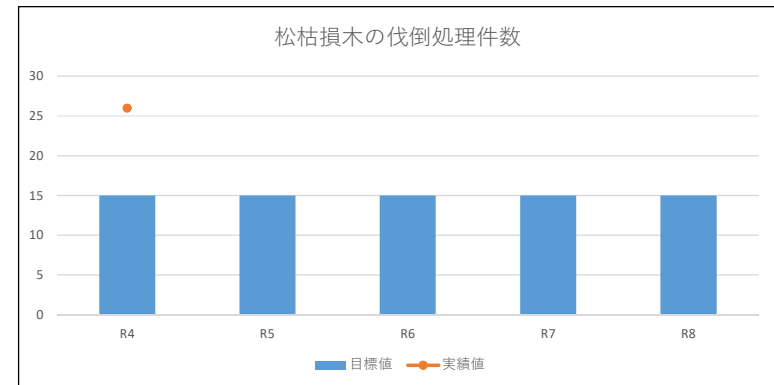
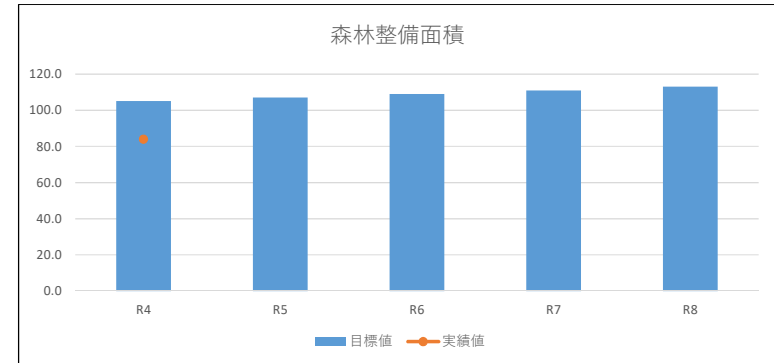
- ・森林が持つ公益的機能を維持するための間伐等の森林整備を推進している。
- ・主伐期を迎えた森林について、森林の公益的機能の発揮に支障が及ばないよう留意しつつ、適切な主伐を進めて、原木の供給を確保するとともに、売却収入による利益の確保に努めている。
- ・松くい虫被害防止のため、松林巡視員2名による松林巡視と枯れた松の伐採処理を行っている。

●課題

- ・森林の持つ山地災害防止、水源涵養、景観保全などの公益的・多面的機能が十分に発揮でき、活用の適期を迎えた立木を有効に利用できる森林整備が必要。
- ・山林関係団体が経営的に安定しながら間伐等の森林整備を積極的に実施できるようにする必要がある。
- ・個人有林について、必要な手入れが十分に行われていない森林が多いため、森林整備を推進していく必要がある。
- ・松くい虫被害の拡大を防止するため、松枯損木の早期発見と早期伐採が必要。

●今後の取組の方向性

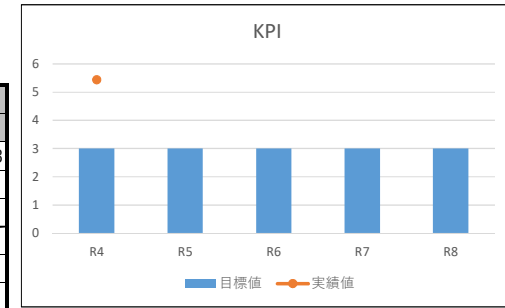
- ・諏訪市森林整備計画に従い、間伐・間伐材の搬出・植栽等の一連の森林整備を計画的に推進する。
- ・山林関係団体が経営的に安定しながら間伐等の森林整備を積極的に実施できるよう、国・県の補助金に加えて市についても嵩上げ補助を行っている。
- ・森林環境譲与税を活用し、必要な手入れが十分に行われていない個人有林の森林整備や松くい虫被害の拡大防止を行っていく。



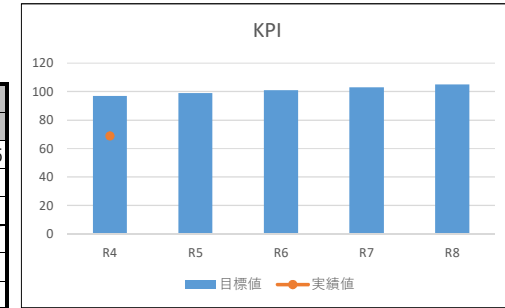
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

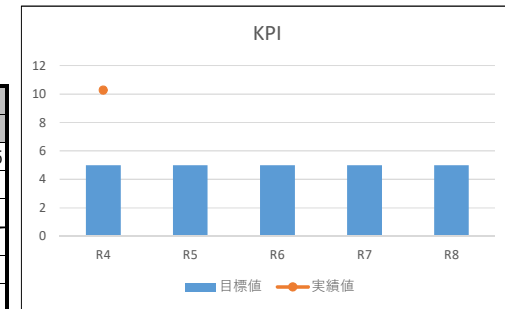
事業名	森林経営管理等推進事業	担当課・係	農林課・耕地林務係				
事業概要 現状	・令和元年度から譲与が開始された森林環境譲与税を財源として、森林経営管理制度に基づき個人有林等の間伐等の森林整備を主に進め、合わせて松くい虫による被害の拡大防止のための巡視と被害の恐れがある樹木の伐採処理等の森林管理と整備を実施している。	K P I					
		森林整備面積（個人有林分等）					
課題	・諏訪市内に存在する個人有林については、長期的な林業の低迷や世代交代等により、森林に対する関心が薄れて管理が適切に行われていない実情があり、災害防止や地球温暖化防止等の森林が有する公益的機能の損失につながる恐れがある。また周辺地域で急遽な広がりを見せる松くい虫被害について、私営生産地である諏訪市においてはその被害の発生・拡大について特に大きな懸念を抱いている。	K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位	ha	R4	R5	R6	R7
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	3	3	3	3	3
		実績	5.44	5.44			
今後の取組 の方向性	・適切な整備を進めて森林の有する公益的機能を高めることで、伐採→利用→植栽という循環利用のサイクルを生み出し人工林の再造林及び木材利用の拡大につながり、脱炭素社会の実現及び山地災害の防止に有効な取り組みとなる。また松林の巡視を行うことは松枯れ被害の早期発見・対策となり、諏訪市の重要な資源である松茸生産の保護につながる。	必要経費（千円）					
		予算額	22,085	22,085			
		決算額	21,904	21,904			



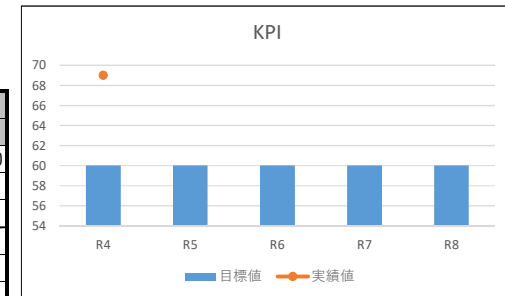
事業名	森林づくり事業（団体有林等）	担当課・係	農林課・耕地林務係					
事業概要 現状	・間伐等の森林整備を各山林関係団体が積極的かつ積極的に安心して実施できるよう、事業内容に応じて森林環境保全整備事業補助金または合板・製材生産性強化対策交付金事業補助金として国・県の補助金に加えて市も嵩上げ補助を行っている。また、整備が遅れている集落周辺の里山においても間伐等の森林整備を実施できるように、みんなで変える里山整備事業補助金として国・県の補助金に加えて市も嵩上げ補助を行う。さらに、路網ネットワーク構築に向け作業道改修についても嵩上げ補助を行っている。	K P I						
		森林整備面積（団体有林分等）						
課題	・各山林関係団体においては間伐等による伐採木材の売却の他、国・県からの補助金を主な収入源として事業を実施しているが、近年は木材価格の変動や事業経費の高騰により支出の割合が大きくなり、国・県からの補助金のみでは適正な森林経営が困難となっている。それに伴い適切な整備がされず荒廃した山林は防災上のリスクが高くなり、災害時における大きな被害の発生につながる恐れがある。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	ha	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	97	97	99	101	103	105
		実績	68.83	68.83				
今後の取組 の方向性	・嵩上げ補助は各団体の意欲的な事業の実施に寄与し、持続可能な森林経営につながる。また適切な森林整備は昨今の頻発する大雨等による災害の予防にも効果も期待できるとともに、適切な路網整備を行うことは間伐→主伐→植栽という森林整備における適切なサイクルを生み出し、人工林の再造林及び木材利用の拡大による脱炭素社会の実現に向けた有効な取り組みとなる。	必要経費（千円）						
		予算額	7,860	7,860				
		決算額	7,520	7,520				



事業名	森林づくり事業（市有林）	担当課・係	農林課・耕地林務係				
事業概要 現状	諏訪市森林経営計画に基づき、市有林の整備を行っている。世界的なウッドショックの影響によりカラマツの合板材としての需要は大幅に増加し、販売価格が高騰していることから、現在の計画（第3期諏訪市森林経営計画）にて科の木地区（上諏訪地籍）における複層林上層木のカラマツの伐採及び木材の搬出をより積極的に行っている。	K P I					
		森林整備面積（市有林分）					
課題	・現在、市有林の多くは伐採適齢期（約50年～70年）を迎えている。成長しすぎた木材は合板に適さず価値・需要とも大きく下がるため、適齢期に伐採及び搬出を行う必要がある。また適切な整備がされず荒廃した山林は防災上のリスクが高くなり、災害時における大きな被害の発生につながる恐れがある。	K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位	ha	R4	R5	R6	R7
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	5	5	5	5	5
		実績	10.28	10.28			
今後の取組 の方向性	・伐採適齢期を迎えた立木の搬出間伐を計画的に行うことで安定的な収入となるとともに森林内環境の保全にもつながり、昨今の頻発する大雨等による災害の予防にも効果も期待できる。さらに森林整備の積極的な実施は、伐採→利用→植栽という循環利用のサイクルによって人工林の再造林及び木材利用の拡大につながり、脱炭素社会の実現に向けた有効な取り組みとなる。	必要経費（千円）					
		予算額	5,000	5,000			
		決算額	4,995	4,995			



事業名	林道整備事業	担当課・係	農林課・耕地林務係				
事業概要 現状	・各地区や各山林関係団体からの要望等に基づき、市内各林道施設の継続的な活用のための改良事業を実施している。	K P I					
		改良林道延長					
課題	・木材を有効活用するためには、きちんと整備された林道が必要である。・施設の老朽化が進んでおり、また、近年ゲリラ豪雨等の影響による路面の洗掘や法面の崩落等が小規模ながらも度々発生しているため、定期的な林道整備が必要。	K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位	m	R4	R5	R6	R7
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	60	60	60	60	60
		実績	69	69			
今後の取組 の方向性	・森林整備や木材の搬出を進めるために、継続的な林道の改良工事を進める。	必要経費（千円）					
		予算額	3,498	3,498			
		決算額	3,487	3,487			



基本方針効果検証			
基本方針	⑮ 環境衛生	主関連課	環境課
快適な生活環境を住民に			
関連する重点目標	気持ちいい、心地いいまちづくり	新たな時代への対応	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
燃やすごみ排出量 (目標値以下)	t	目標値	11,442	11,479	11,471	11,531	11,444
		実績値	12,147				
		達成率 (達成度)	93.8% 順調				
ごみリサイクル率	%	目標値	23.1	22.9	22.5	22.2	22.0
		実績値	18.1				
		達成率 (達成度)	78.4% 努力が必要				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.43	3.43	3.43	3.43	3.43
		実績値	3.43				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

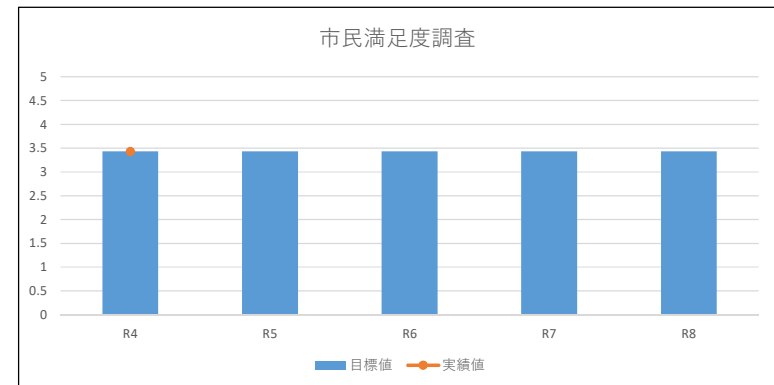
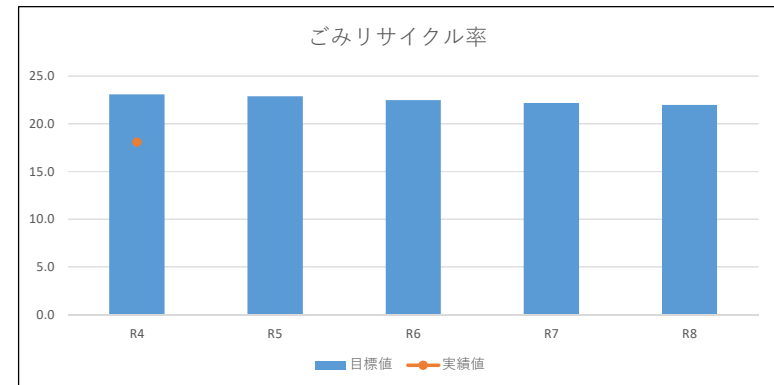
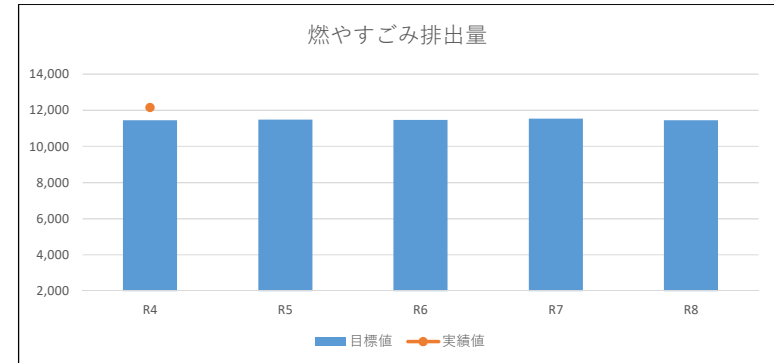
- ・諏訪湖周2市1町のごみ処理共同化による諏訪湖周クリーンセンターの稼働に伴い、諏訪市に設置する広域最終処分場の早期稼働に向けて、下流域の理解を得るべく、意見交換を継続していく。
- ・家庭系燃やすごみの有料化に伴う燃やすごみ旧指定袋（黄色・白色）の証紙シールの販売を令和5年度末で終了する。
- ・循環型社会の実現に向けて、リサイクルの促進、草類の堆肥化、生ごみの堆肥化の推進等の継続実施と、市民や事業者が一体となって取り組むために、積極的な情報提供や意識啓発を引き続き進めていく。

●課題

- ・ごみ処理基本計画により想定した目標を、残り4年で達成するための取組強化と、ウィズコロナ・アフターコロナにおいて、イベントの再開や経済活動が活性化することによる、事業系燃やすごみの増加が課題である。
- ・プラスチック資源循環促進法に対応するため、プラスチック類の分別収集区分の統一化を図る必要がある。
- ・大規模災害が発生した場合、災害廃棄物の仮置場の確保等の対策や広域処理の体制が必要となることが想定される。

●今後の取組の方向性

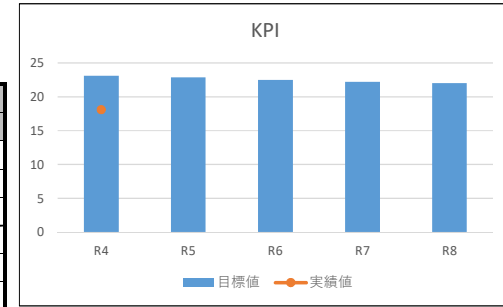
- ・事業系ごみ減量化対策として、多量排出事業者届出制度を活用した指導のほか、事業者に対し廃棄物減量化の呼びかけと啓発を行う。
- ・令和7年度より軟質プラスチックも一括回収できるよう、業者との調整や準備を進める。
- ・ポスター、チラシ、SNS等を通じて証紙シールの販売終了の周知を行い、旧指定袋の在庫分のシールを確保するよう呼びかける。
- ・災害廃棄物処理研修会への積極的な参加や、庁内や湖周2市1町との情報交換を行いながら、災害時の対応に備える。



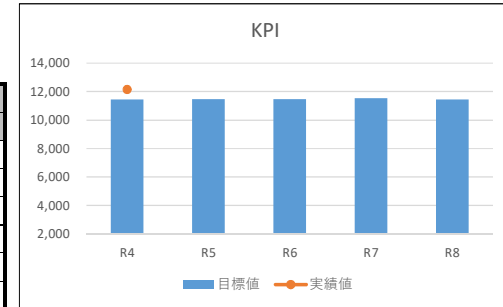
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

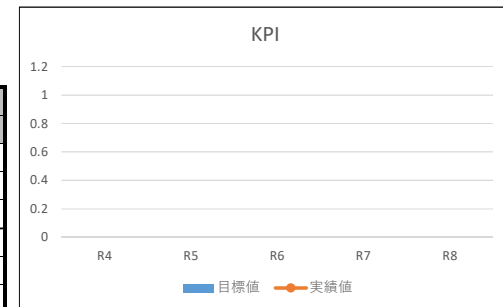
事業名	資源物処理事業	担当課・係	環境課 環境衛生係						
事業概要 現状	循環型社会の実現に向けて、リサイクルの促進、草類の堆肥化を、市民と一体となって進めている。		K P I						
課題	・プラスチック資源循環促進法に対応するため、プラスチック類の分別収集区分の統一化を図る必要がある。 ・4Rを更に促進するため、更なる資源物の分別の促進が必要である。		単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
			目標	23.1	23.1	22.9	22.5	22.2	22.0
評価	B		実績	18.1					
			達成率	78.4%	78.4%				
今後の取組 の方向性	・令和7年度を目標に、軟質プラスチックも一括回収できるよう、業者との調整や準備を進める。 ・市ホームページや広報誌、SNSを活用し、継続して分かりやすい啓発活動を推進する。		必要経費（千円）						
			予算額	198,639	198,639				
			決算額	203,069	203,069				



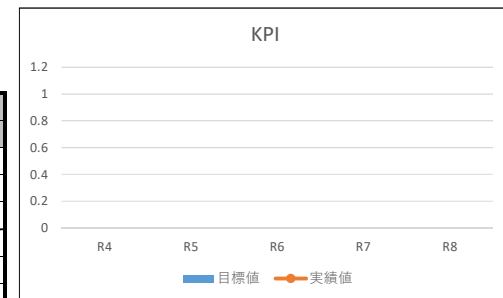
事業名	ごみ減量化推進事業	担当課・係	環境課 環境衛生係						
事業概要 現状	市民のごみ減量についての理解と協力により、家庭系燃やすごみの排出量は減少傾向であるが、事業系燃やすごみの排出量は昨年度より2.9%増加した。		K P I						
課題	ごみ処理基本計画により想定した目標を、残り4年で達成するための取組強化と、ウィズコロナ・アフターコロナにおいて、イベントの再開や経済活動が活性化することによる事業系燃やすごみの増加が課題である。		単位	t	R4	R5	R6	R7	R8
			目標	11,442	11,442	11,479	11,471	11,531	11,444
評価	A		実績	12,147	12,147				
			達成率	93.8%	93.8%				
今後の取組 の方向性	家庭系ごみ減量対策として、資源物(特に紙類とプラスチック類)の分別徹底と、生ごみ減量を広く周知するほか、事業所には、多量排出事業者届出制度を活用した指導、廃棄物減量化の呼びかけと啓発を行う。		必要経費（千円）						
			予算額	20,542	20,542				
			決算額	16,821	16,821				



事業名		担当課・係							
事業概要 現状			K P I						
課題			単位		R4	R5	R6	R7	R8
			目標						
評価	A		実績						
			達成率						
今後の取組 の方向性			必要経費（千円）						
			予算額						
			決算額						



事業名		担当課・係							
事業概要 現状			K P I						
課題			単位		R4	R5	R6	R7	R8
			目標						
評価	A		実績						
			達成率						
今後の取組 の方向性			必要経費（千円）						
			予算額						
			決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	⑩ 道路整備・計画	主関連課	建設課
道路環境整備と広域交通ネットワーク			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
道路舗装整備延長率	%	目標値	3.1	3.6	4.1	4.6	5.1
		実績値	3.1				
		達成率 (達成度)	100.0%				
			順調				
都市計画道路整備率	%	目標値	27.8	28.2	28.6	29.0	29.4
		実績値	29.1				
		達成率 (達成度)	104.7%				
			非常に順調				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.28	3.28	3.28	3.28	3.28
		実績値	3.28				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

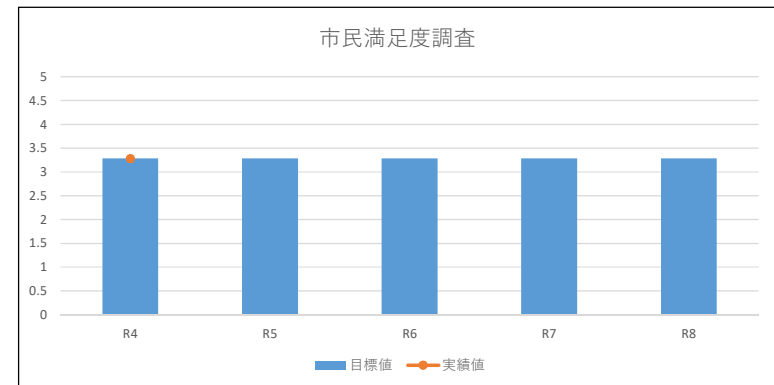
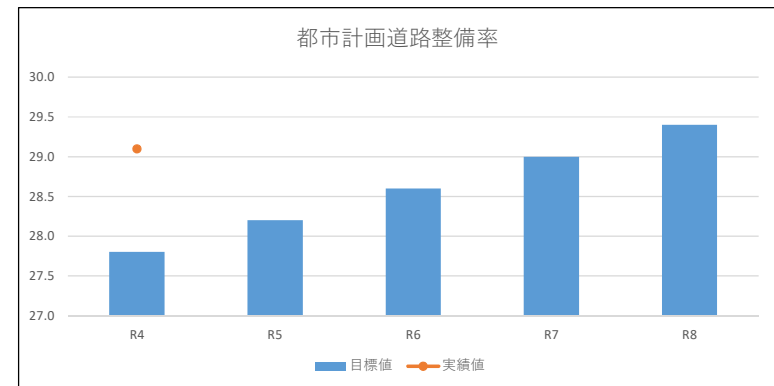
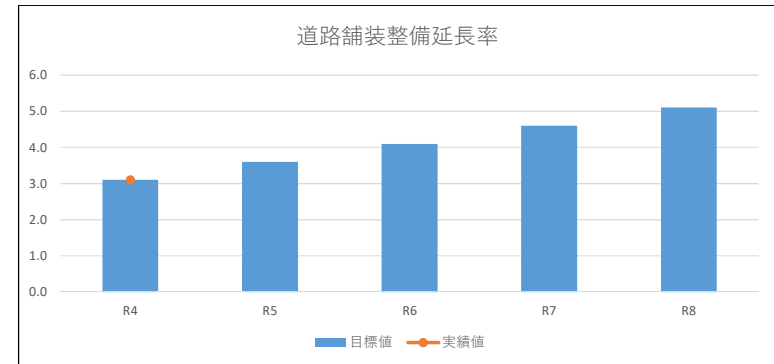
- 国の補助制度を活用し計画的に道路整備を進めているが、道路整備に関する市民満足度は低い状況である。
- 国道20号諏訪バイパスは一部区間が国により事業着手されており、全線整備に向けた協議、要望活動を行っている。
- 諏訪市は地盤が軟弱であることや、寒冷地であることが影響し、道路の舗装が傷みやすい地域である。
- 諏訪湖スマートICや諏訪湖周サイクリングロード整備が進んでおり、交通体系の進化が待ち望まれている。

●課題

- 今後、今までに例のない大規模な豪雨災害が発生した場合、水害や土砂崩れ等による交通障害が発生する可能性がある。
- 今後も市民生活の利便性や安全性の向上、地域の経済活動を支えるためには、機能的な都市計画道路の整備が必要となる。
- 大規模橋梁が老朽化し修繕が必要となるが、規模が大きく財源の確保が課題となる。
- 限られた財源の中で、道路インフラを安全に維持するためには、財源の確保と事業実施における優先順位の検討が必要となる。
- 国道20号諏訪バイパス整備に対する各地区の課題、要望に寄り添った対応が必要となる。

●今後の取組の方向性

- 諏訪市舗装長寿命化修繕計画に基づき舗装修繕を進める。
- 諏訪市橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁の修繕や架替えを進める。
- 諏訪湖周サイクリングロードについて、関係機関と連携し計画的に整備を進める。
- 大雪による市民生活への影響を最小限に抑えるため、行政と市民・区が協働して除雪を行い幹線道路の通行確保を行う。
- 社会情勢や交通需要の変化に応じて、優先度の高い都市計画道路の整備を進める。
- 丁寧な説明を通じて地域との合意形成を図り、国道20号諏訪バイパス全線の整備促進に努める。
- 地元住民の理解を得ながら諏訪湖スマートICの整備を推進し、地域交通の利便性向上や地域産業活性化、リニア中央新幹線の中間駅へのアクセス向上等を目指す。
- 安全・安心して暮らすことができる社会を目指し、歩行者空間のバリアフリー化や無電柱化に努める。

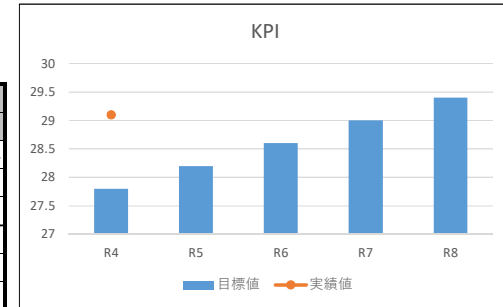
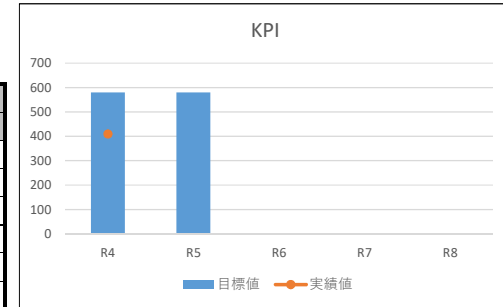
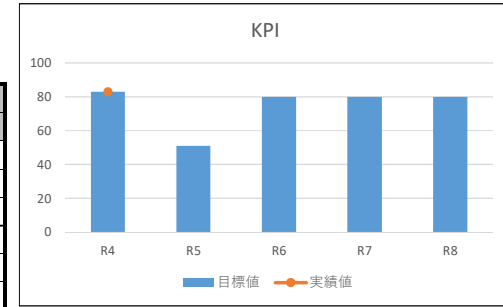




●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

事業名	担当課・係	建設課 工事係						
事業概要 現状	5年ごとの橋梁法定点検に基に、老朽化の進行状況を的確に把握する。橋梁長寿命化修繕計画の見直しを含め修繕や更新を順次行っていく。	KPI 橋梁点検数						
課題	建設から半世紀以上の年月が経過して修理等に多額の費用がかかることが想定されるため、修繕計画の早急な検討と、それに基づく事業費を確保が必要である。	KPI・必要経費 経年比較						
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位 箇所						
今後の取組 の方向性	橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、損傷が著しく路線の重要度が高い橋から防災・安全交付金や有利な起債を活用した大規模な修繕及び更新や架替を実施する。	目標	83	83	51	80	80	80
		実績	83	83				
		達成率	100.0%	100.0%				
		必要経費(千円)						
予算額	86,000	86,000						
決算額	44,690	44,690						
事業概要 現状	アプローチ道路(諏訪市施工)及び新設県道(県施工のアクセス道路)の築造工事 工事進捗率(諏訪市施工分)71% (4事業者)61%	KPI 道路築造工事整備延長						
課題	引き続き道路築造工事となるが、大規模事業となるため財源の確保が必要となる。 新設県道(県施工のアクセス道路)の施工完了時期が不明瞭であるため、現在供用開始時期を調整中である。	KPI・必要経費 経年比較						
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位 m						
今後の取組 の方向性	諏訪湖SAへのスマートIC設置に向け、岡谷市、中日本高速道路(株)、長野県と連携し、地元区民の理解を得ながら着実に事業を推進する。	目標	580	580	580	0	0	0
		実績	410	410				
		達成率	70.7%	70.7%				
		必要経費(千円)						
予算額	603,900	603,900						
決算額	103,183	103,183						
事業概要 現状	都市の骨格を形成する主要な道路のため優先的に整備し、社会情勢の変化に柔軟に対応するため、必要に応じて見直しを実施しながら計画的な整備に努める。	KPI 都市計画道路整備率						
課題	都市の再構築の取組を勧奨しながら、未整備の路線を中心に、必要性や構造の適格性等を検証・見直しをしていく必要がある。	KPI・必要経費 経年比較						
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位 %						
今後の取組 の方向性	整備に際しては、円滑な自動車交通の確保と、誰もが歩きやすい歩行者空間の確保及び既存歩道の改修、個性的で魅力的なアメニティ空間としての道路の整備を目指す。	目標	27.8	27.8	28.2	28.6	29	29.4
		実績	29.1	29.1				
		達成率	104.7%	104.7%				
		必要経費(千円)						
予算額	0	0						
決算額	0	0						
事業概要 現状	国道20号諏訪バイパスの早期建設に向けて、「国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会」等と連携し、国や県との協議、要望活動を実施している。	KPI 国及び県の関連機関に対する要望・協議回数						
課題	一部区間の事業化により事業化区間と未事業化区間で課題が異なってくる。今後の事業の進め方や事業化の見直し等について、各地区に対応した国による適切な説明会、協議会の開催が必要となる。	KPI・必要経費 経年比較						
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位 回						
今後の取組 の方向性	住民の理解を深め、地域の機運醸成と地元との合意形成を図るため、関係地区委員を通じて地区ごとの課題の集約を行い、国や県への要望や協議により必要な調査と丁寧な説明を求めていく。	目標	14	14	14	14	14	
		実績	21	21				
		達成率	150.0%	150.0%				
		必要経費(千円)						
予算額	2,587	2,587						
決算額	1,103	1,103						



基本方針効果検証			
基本方針	⑩ 都市空間	主関連課	都市計画課
地域特性を活かした快適な住環境整備			
関連する重点目標	人と投資を呼び込む		気持ちいい、心地いいまちづくり

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
住宅の耐震診断件数	件	目標値	40	40	40	40	40
		実績値	23				
		達成率 (達成度)	57.5% 努力が必要				
危険空家等の改善件数	件	目標値	4	4	4	4	4
		実績値	3				
		達成率 (達成度)	75.0% 順調				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.10	3.10	3.10	3.10	3.10
		実績値	3.10				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

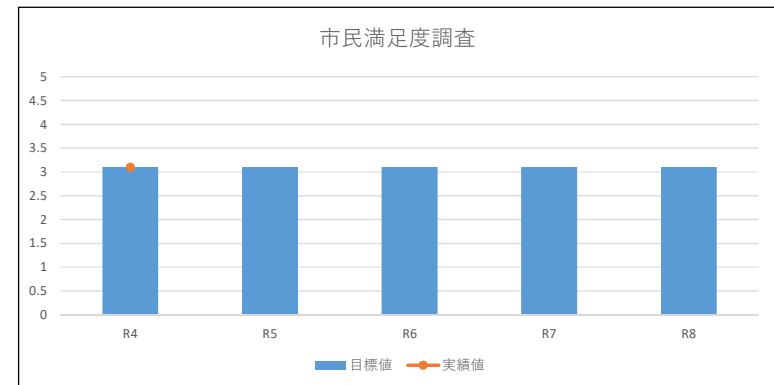
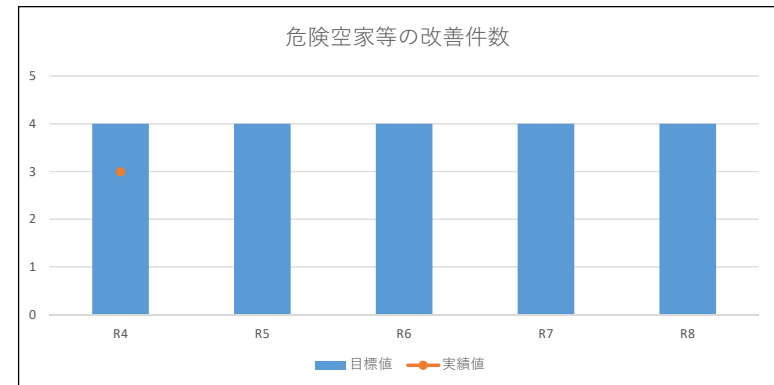
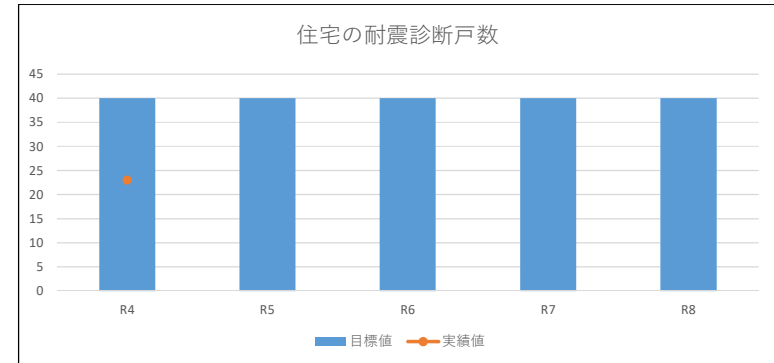
- 公園施設については、経年により遊具に破損や腐食が見られ、健全度判定の結果も悪化している状況である。そのため国費の補助などの交付を受け、令和4年度より長寿命化遊具更新工事を行っている。
- 令和5年3月に策定した「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」を実現するため、官民が相互に連携しながら持続的なまちづくり活動を実践していく。
- 全国的に空き家が増加傾向にあり、諏訪市においても同様である。特に上諏訪地区は顕著である。
- 良好な景観形成の推進のため、民間で活動する景観形成に係る、沿道・水辺・広場等の緑化活動などの経費の一部を補助しているが、作業も地域住民が協力し合い実施しており、地区の年中行事や団体の恒例行事の一環として定着している。

●課題

- 公園について、設置される状況や特徴により交付対象にならず、更新の予定が立たない遊具の今後の対応等がある。
- 上諏訪駅周辺地区は、空き家や空き地が増えるなど、中心市街地の衰退が見られているが、アーク諏訪のオープンや柳並線の開通などにより、まちづくりの機運が高まっている。
- 近年、管理不全空家の苦情が増加しており、相続放棄等により今後の改善が見込めないケースも増加傾向にある。利活用については、官民連携による取り組みについて検討する必要がある。
- 景観形成を目的とした活動団体が固定化されてきている現状から、新たな団体等の組織作りから活動までのサポートを検討する必要がある。

●今後の取組の方向性

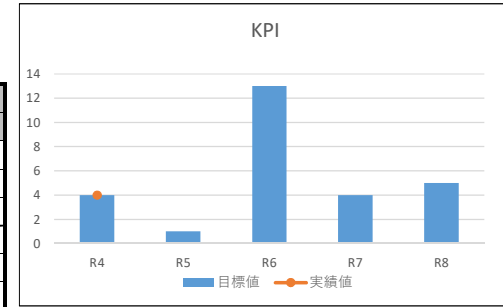
- 令和6年度で公園の遊具更新工事を完了させ、令和7年度以降、公園施設の更新を計画していく。
- 未来ビジョンの実現のため、公と民をつなぐ連携体制（エリアプラットフォーム）を構築し、各プロジェクトの検討や試行を進める。
- 「諏訪市空家等対策計画（第2期）R5.6～」に基づき、3つの方針である「空家等の適正管理の推進」、「空家等の利活用の促進」、「特定空家等の問題解決の実施」に沿った各種取り組みを実施する。
- 景観形成について活動している団体は、営利を目的とせず自らの活動により、沿道や水辺、公園、広場などにおける緑化活動等を行い、地域の景観・生活環境の向上に大きく寄与しているため、今後も継続していく。



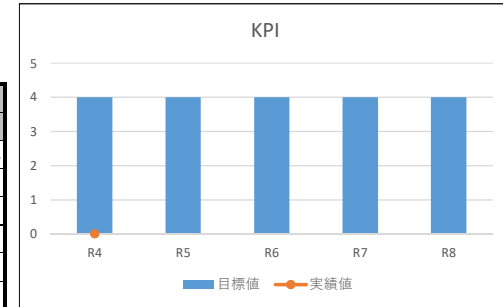
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

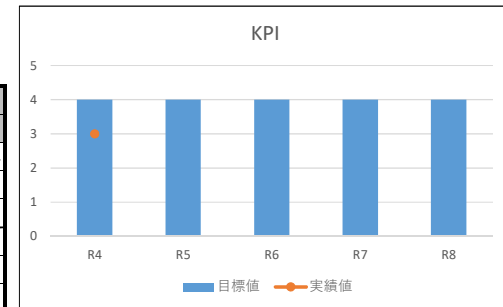
事業名	都市公園整備事業	担当課・係	都市計画課公園緑地係					
事業概要 現状	経年により遊具に破損や腐食が見られ、健全度判定の結果も悪化している状況である。そのため国費の補助などの交付を受け、令和4年度より長寿命化遊具更新工事を行っている。							
課題	国庫補助の対象にできない公園の遊具について更新を計画していく。	KPI						
		更新対象公園数						
評価	A	KPI・必要経費 経年比較						
		単位	箇所	R4	R5	R6	R7	R8
今後の取組 の方向性	令和6年度で遊具更新工事を完了させ、その後、令和7年度以降、公園施設の更新を計画していく。	目標	4	4	1	13	4	5
		実績	4	4				
		達成率	100.0%	100.0%				
		必要経費(千円)						
		予算額	33,000	33,000				
		決算額	32,197	32,197				



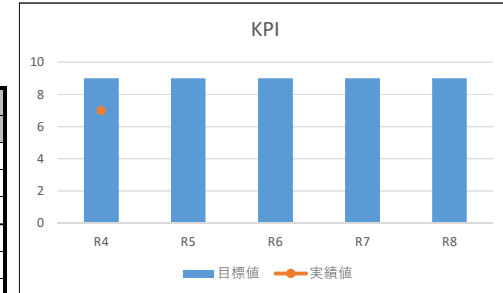
事業名	上諏訪駅周辺まちなか再生推進事業	担当課・係	都市計画課街路区画整理係					
事業概要 現状	令和5年3月に策定した「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」を実現するため、官民が相互に連携しながら持続的なまちづくり活動を実践していく。							
課題	上諏訪駅周辺地区は、空き家や空き地が増えるなど、中心市街地の衰退が見られているが、アーク諏訪のオープンや柳並線の開通などにより、まちづくりの機運が高まっている。	KPI						
		未来ビジョンで掲げたプロジェクトの着手件数						
評価	A	KPI・必要経費 経年比較						
		単位	件	R4	R5	R6	R7	R8
今後の取組 の方向性	未来ビジョンの実現のため、公と民をつなぐ連携体制(エリアプラットフォーム)を構築し、各プロジェクトの検討や試行を進める。	目標	4	4	4	4	4	
		実績	0	0				
		達成率	0.0%	0.0%				
		必要経費(千円)						
		予算額	2,717	2,717				
		決算額	2,208	2,208				



事業名	空家等対策推進事業	担当課・係	都市計画課建築住宅係					
事業概要 現状	全国的に空き家が増加傾向にあり、諏訪市においても同様である。特に上諏訪地区は顕著である。							
課題	近年、管理不全空家の苦情が増加している。また、相続放棄等により今後の改善が見込めないケースも増加傾向にある。利活用については、官民連携による取り組みについて検討する必要がある。	KPI						
		危険空家等の改善件数						
評価	A	KPI・必要経費 経年比較						
		単位	件	R4	R5	R6	R7	R8
今後の取組 の方向性	「諏訪市空家等対策計画(第2期)R5.6～」に基づき、3つの方針である「空家等の適正管理の推進」、「空家等の利活用の促進」、「特定空家等の問題解決の実施」に沿った各種取り組みを実施する。	目標	4	4	4	4	4	
		実績	3	3				
		達成率	75.0%	75.0%				
		必要経費(千円)						
		予算額	1,766	1,766				
		決算額	1,429	1,429				



事業名	まちなみ景観推進事業	担当課・係	都市計画課計画係					
事業概要 現状	沿道・水辺・広場等の緑化活動(樹木・花等の植栽、プランターの設置及び管理)など、景観形成に係る経費の補助を行う。作業も地域住民が協力し合い実施しており、地区の年中行事や団体の恒例行事の一環として定着している。							
課題	活動している団体が固定化されてきている現状から、新たな団体等の組織作りから活動までのサポートを検討する必要がある。	KPI						
		活動団体数						
評価	A	KPI・必要経費 経年比較						
		単位	団体	R4	R5	R6	R7	R8
今後の取組 の方向性	営利を目的とせず自らの活動により、沿道や水辺、公園、広場などにおける緑化活動等を行い、地域の景観・生活環境の向上に大きく寄与しているため、今後も継続していく。	目標	9	9	9	9	9	
		実績	7	7				
		達成率	77.8%	77.8%				
		必要経費(千円)						
		予算額	450	450				
		決算額	320	320				



基本方針効果検証			
基本方針	⑩ 上水道・下水道	主関連課	営業課・施設課
上水道、下水道の安心利用			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●K P I

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
導送水及び配水管耐震化率	%	目標値	29.3	30.0	30.7	31.4	32.1
		実績値	28.9				
		達成率 (達成度)	98.6% 順調				
耐震化対象下水道管渠耐震化率	%	目標値	66.0	75.0	84.0	93.0	100.0
		実績値	72.5				
		達成率 (達成度)	109.8% 非常に順調				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.77	3.77	3.77	3.77	3.77
		実績値	3.77				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

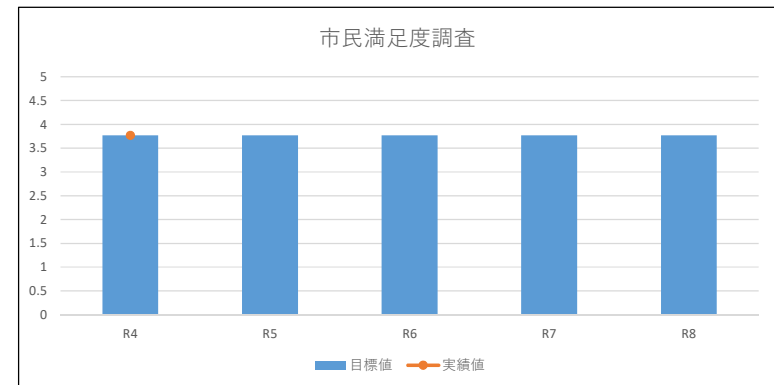
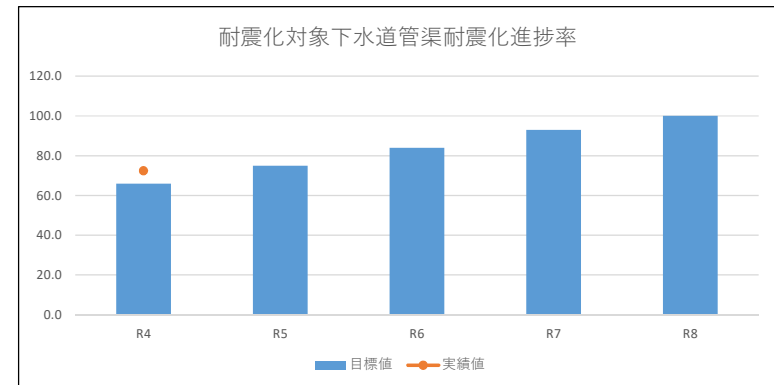
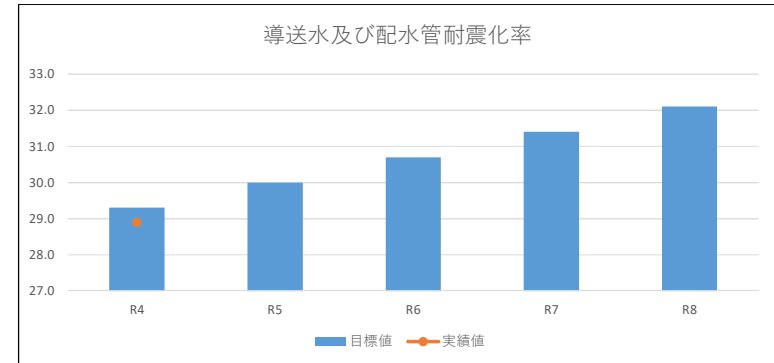
- ・長野県下19市中、上水道料金は最も安く、下水道使用料は2番目に安いことから利用者にとって低廉な価格でのサービスが実現している。
- ・下水道普及率は全国平均を上回っているが、管渠布設に課題がある未普及地区が存在する。
- ・人口減少および給水用具が節水型に置き換わっているため事業収入は減少傾向にある。
- ・事業拡張時代に設置した上・下水道施設が耐用年数を超え、更新の時期を一斉に迎えている。

●課題

- ・H29年12月諏訪圏域に「水道事業広域連携検討会（広域連携検討の場）」を設置、R2年10月には「長野県水道事業広域連携推進協議会」を設置、R5年3月に改正した「長野県水道ビジョン」では広域連携に係る内容を「水道広域化推進プラン」に位置付けており、現在近隣市町村との「広域連携検討の場」を開催中である。
- ・人口減少に伴う水需要の減少により、水源施設の統廃合の検討がスタートしている。
- ・水道技術職員の減少により、知識や技術の伝承が滞る。
- ・大規模自然災害が発生した場合、重要給水施設への配水管等が損傷し、市内広範囲にわたって長期的な断水が発生するおそれがある。

●今後の取組の方向性

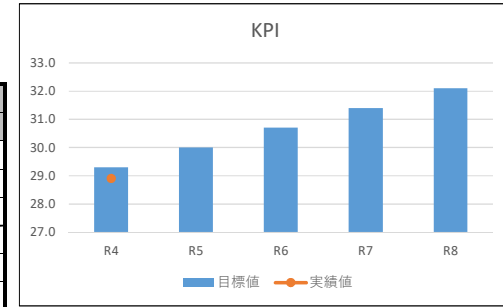
- ・耐用年数を迎えた施設・管路を計画的に更新し、持続的な管理・運営を図る。
- ・代替ルートや新工法による下水道未普及地域解消への取り組みを進め、普及率を更に伸ばす。
- ・整備困難地域においては合併浄化槽の設置促進を視野に検討する。
- ・水源林の保全およびクリプト対策を徹底し、安全安心な給水を継続する。
- ・災害に備え緊急資材の確保と関係機関の協力を得ながら体制強化を図る。緊急輸送路等に設置している施設の耐震化や広域避難所へのマンホールトイレの設置を計画的に進める。
- ・安定的な事業経営を図るため、料金改定の検討を進める。また、適正徴収を有効的に実施するために料金徴収業務等の民間委託移行の検討を進める。



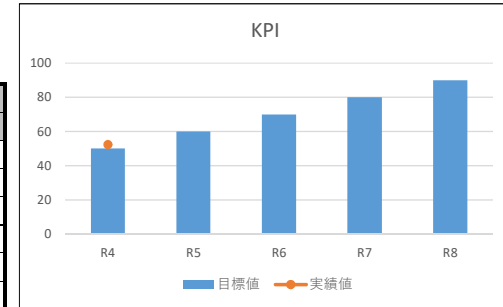
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

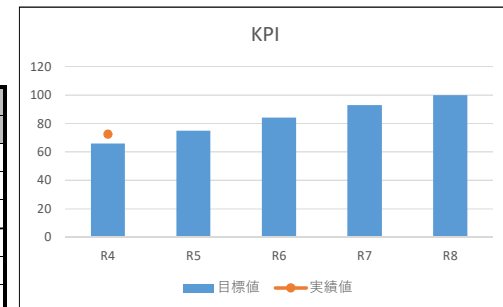
事業名	水道施設改良工事	担当課・係	施設課上水道係
事業概要 現状	平成29年度に策定した「諏訪市水道事業ビジョン」に基づき耐用年数を迎えた施設・管路を計画的に更新している。前年度は新井1号水源・新井浄水場第4号送水ポンプの取替えなどの更新を行った。		
	K P I 導送水及び配水管耐震化率		
課題	給水収益減少局面における維持管理財源の確保、高度経済成長期に集中して建設した施設の老朽化、更新・耐震化への対応、施設更新の財源および水道技術職員の確保が課題である。		
	K P I ・ 必要経費 経年比較		
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位	%
		目標	32
今後の取組 の方向性	安心・安全で良質な水道を供給するため水源および水源涵養林の保全、大規模更新事業を行うための人的資源の確保とDB方式の採用のほか、諏訪圏域水道事業広域化に向けて積極的に取り組む。	実績	28.9
		達成率	90.3%
		必要経費(千円)	
		予算額	442,221
		決算額	370,784



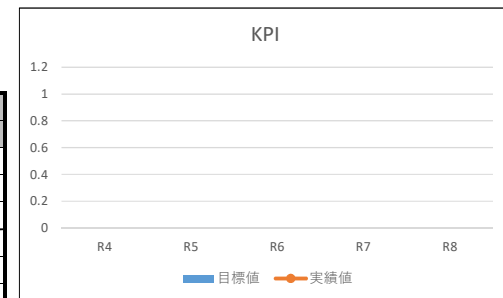
事業名	下水道老朽化対策事業	担当課・係	施設課・下水道係
事業概要 現状	下水道ストックマネジメント計画に基づいて、国費を活用しながら施設の点検・調査を実施し、計画的な改築工事等を行う。前年度には、緊急度が高い管きょ調査に加え、マンホール鉄蓋199箇所の取替えとマンホールポンプ1箇所の更新を行った。		
	K P I 点検・調査実施率		
課題	下水道施設の老朽化が起因となる道路陥没事故や雨天時浸入水等を防ぐため、ライフサイクルコストの低減や予算の縮減ならびに平準化に努めた改築事業を実施し、持続可能な下水道事業運営を推進すること。		
	K P I ・ 必要経費 経年比較		
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位	%
		目標	50
今後の取組 の方向性	国や県と協議・調整をしつつ下水道ストックマネジメント計画の見直しを行いながら、引き続き国費を活用して効果的かつ効率的な改築事業を実施することで、持続可能な下水道事業運営に取り組んでいく。	実績	52.3
		達成率	104.6%
		必要経費(千円)	
		予算額	133,000
		決算額	115,174



事業名	下水道総合地震対策事業	担当課・係	施設課・下水道係
事業概要 現状	下水道総合地震対策計画に基づいて、国費を活用しながら設計や対策工事を計画的に実施する。前年度には、下水道管きょ約1.2kmを耐震化するとともに、ポンプ施設1箇所に自家発電設備を設置した。		
	K P I 耐震化対象下水道管耐震化率		
課題	南海トラフ地震等が発生した際、緊急車両の通行を妨げないように緊急輸送路のマンホール浮上を防止し、また、防災拠点の排水を受け持つ下水道の流下機能を確保し、公衆衛生等に重大な影響を及ぼさないようにすること。		
	K P I ・ 必要経費 経年比較		
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位	%
		目標	66
今後の取組 の方向性	国や県と協議・調整をしつつ下水道総合地震対策計画の見直しを行いながら、引き続き国費を活用して計画的な地震対策事業を推進することで、大規模地震に対する防災・減災に取り組んでいく。	実績	72.5
		達成率	109.8%
		必要経費(千円)	
		予算額	54,000
		決算額	52,712



事業名		担当課・係	
事業概要 現状	K P I		
	K P I ・ 必要経費 経年比較		
課題	単位		
	目標		
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	
		達成率	
今後の取組 の方向性	必要経費(千円)		
	予算額		
	決算額		



基本方針効果検証			
基本方針	⑬ 温泉	主関連課	営業課・施設課
天与の恵み 温泉の享受と活用			
関連する重点目標	人と投資を呼び込む	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
配湯管耐震化率	%	目標値	98.3	98.4	98.5	98.6	98.7
		実績値	98.3				
		達成率 (達成度)	100.0% 順調				
温泉年間新規契約件数	件	目標値	5	5	5	5	5
		実績値	2				
		達成率 (達成度)	40.0% 効果なし				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.45	3.45	3.45	3.45	3.45
		実績値	3.45				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

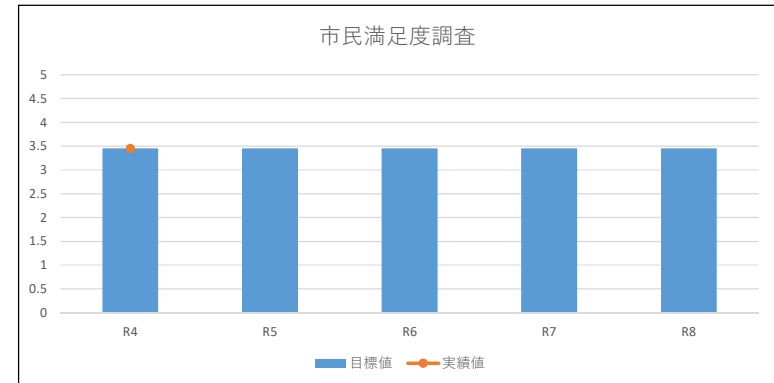
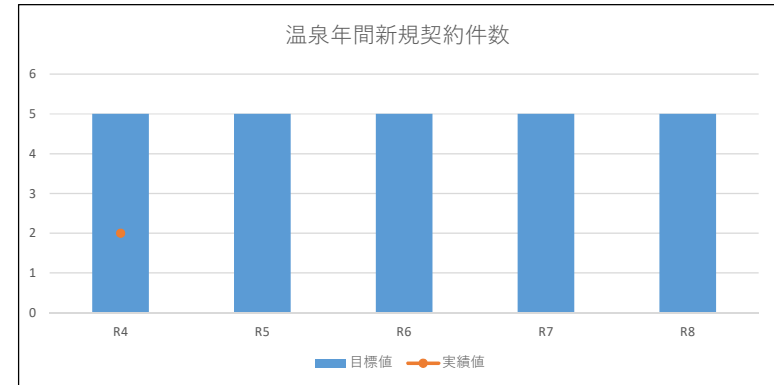
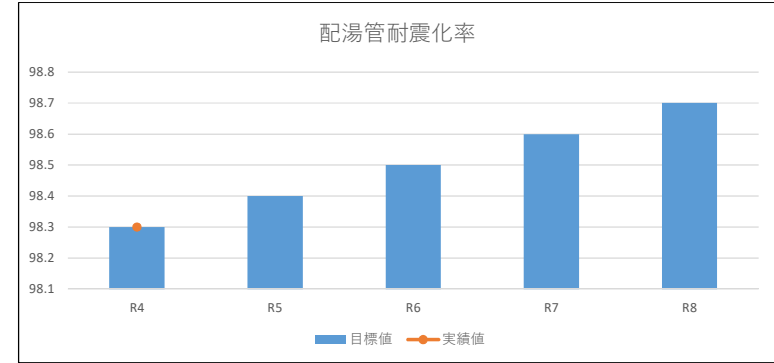
温泉事業経営戦略に基づき、給湯契約者や温浴及び宿泊施設などへ安定供給を行うため、現状も考慮しながら配湯管の更新・耐震化に取り組んでいる。  
温泉新規契約件数が、目標を下回っている。

●課題

経過年数や管種、現状を考慮しながら行っているが、給湯者の減少などもあり費用対効果など考慮しながら取り組んでいく必要がある。  
温泉契約者について、新規契約者は目標値には届かず、廃止件数が多い状況が続いている。

●今後の取組の方向性

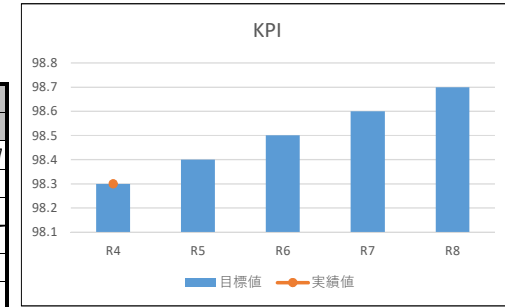
経営戦略の見直しを行いながら、給湯契約状況等も考慮し、耐震化を進めていく。  
現状の課題等を加味した新たな経営戦略を令和7年度末までに策定予定である。



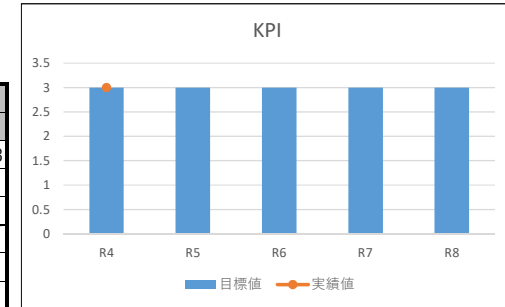
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

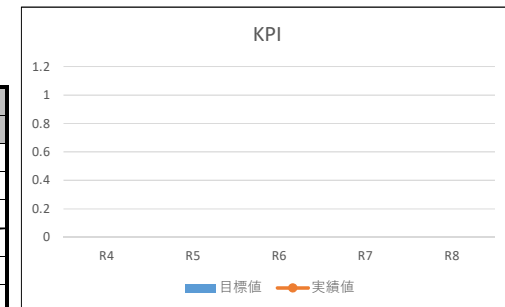
事業名	温泉管改良事業	担当課・係	施設課温泉係						
事業概要 現状	温泉事業経営戦略に基づき、給湯契約者や温浴及び宿泊施設などへ安定供給を行うため、現状も考慮しながら送配湯管の更新・耐震化に取り組む。		K P I		配湯管耐震化率				
					K P I ・ 必要経費 経年比較				
課題	経過年数や管種、現状を考慮しながら行っているが、給湯者の減少などもあり費用対効果などを考慮しながら取り組んでいく。		単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
			目標	98.3	98.3	98.4	98.5	98.6	98.7
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	98.3					
			達成率	100.0%	100.0%				
今後の取組 の方向性	経営戦略の見直しを行いながら、給湯契約状況等も考慮し、耐震化を進めていく。		必要経費（千円）						
			予算額	135,000	135,000				
			決算額	100,243	100,243				



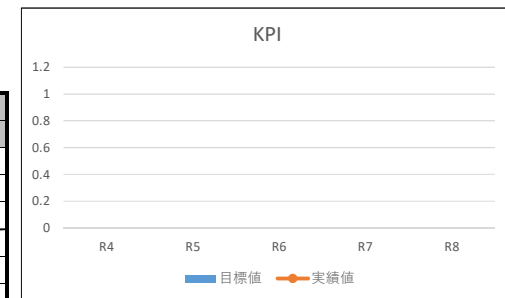
事業名	温泉施設改良事業	担当課・係	施設課温泉係						
事業概要 現状	温泉事業経営戦略に基づき、給湯契約者や温浴及び宿泊施設などへ安定供給を行うため、現状も考慮しながら温泉施設の更新・適正な揚配湯量に取り組む。		K P I		温泉施設改良件数				
					K P I ・ 必要経費 経年比較				
課題	経過年数や施設設備状況を考慮しながら行っているが、給湯者の減少などもあるため費用対効果などを考慮しながら取り組んでいく。		単位	件	R4	R5	R6	R7	R8
			目標	3	3	3	3	3	3
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	3	3				
			達成率	100.0%	100.0%				
今後の取組 の方向性	経営戦略の見直しを行いながら、給湯契約状況等も考慮し、温泉施設設備の更新を行い、安定供給及び適正な揚湯量・配湯量に取り組む。		必要経費（千円）						
			予算額	135,000	135,000				
			決算額	100,243	100,243				



事業名		担当課・係							
事業概要 現状			K P I						
					K P I ・ 必要経費 経年比較				
課題			単位		R4	R5	R6	R7	R8
			目標						
評価		A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績						
			達成率						
今後の取組 の方向性			必要経費（千円）						
			予算額						
			決算額						



事業名		担当課・係							
事業概要 現状			K P I						
					K P I ・ 必要経費 経年比較				
課題			単位		R4	R5	R6	R7	R8
			目標						
評価		A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績						
			達成率						
今後の取組 の方向性			必要経費（千円）						
			予算額						
			決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	② 地域公共交通	主関連課	地域戦略・男女共同参画課
持続可能な地域公共交通と輸送サービス構築			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
かりんちゃんバス1便当たり利用者数	人	目標値	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5
		実績値	6.1				
		達成率(達成度)	81.3% 努力が必要				
スワンバス1便当たり利用者数	人	目標値	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
		実績値	12.7				
		達成率(達成度)	84.7% 努力が必要				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	2.84	2.84	2.84	2.84	2.84
		実績値	2.84				
		達成率(達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

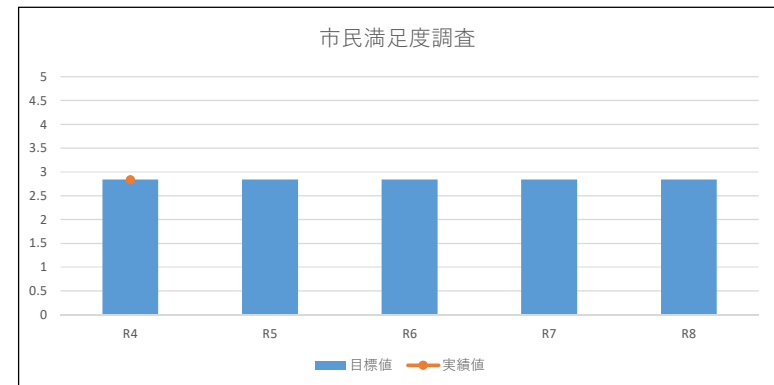
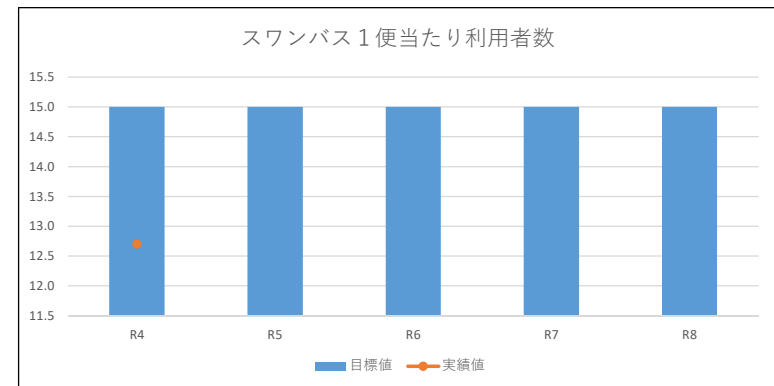
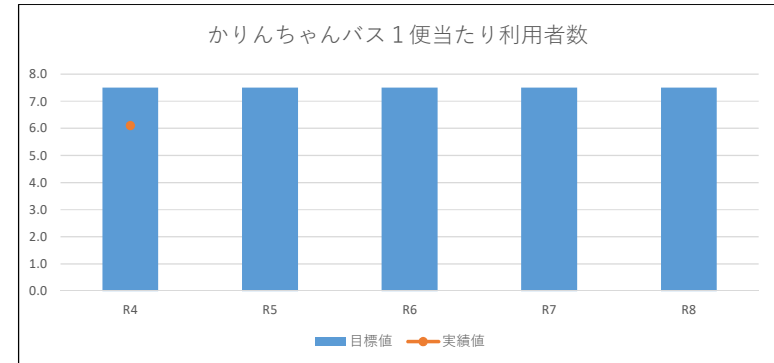
- ・地域住民の通勤や通学、通院、買い物等の交通手段を確保するため、公共交通の維持は必要であり、公共性が高い事業である。
- <令和4年度バス利用実績>
- ・かりんちゃんバス7系統：90,786人、対前年比107.5%  
(令和3年度：84,483人)
- ・スワンバス内、外回り線：64,842人、対前年比105.3%  
(令和3年度：61,581人)

●課題

- 諏訪市地域公共交通計画に基づくAIオンデマンド交通の導入検討及び現路線の軽微な改正
- ・AIオンデマンド交通導入に向けて準備を進めていく。
- ・現路線のダイヤについて10月に改正を予定している。
- 新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少及び財政負担増加について
- ・令和4年度には相当程度利用者が回復してきたが、コロナ前の水準には至っていない。
- ・コロナ禍での利用者減少によりバス事業全体が赤字経営になり、運行費用に係る行政支援の要望あり。令和3年度に路線バス「岡谷茅野線」の運行赤字分について、通過する4市町による補助を行った。

●今後の取組の方向性

令和4年度に諏訪市地域公共交通計画を策定したため、新たな公共交通体系の構築を目指す。現行の公共交通を活用しながら検証を行い、AIオンデマンド交通の導入についても検討していく。引き続き、県が運営する携帯アプリ「信州ナビ」へダイヤ改正情報を提供するとともに、「スマホ乗車券」の普及についても努め、アプリの活用を推進して利用者の利便性向上を図る。また、利用促進事業として福祉団体等と連携した無料乗車体験を実施していく。

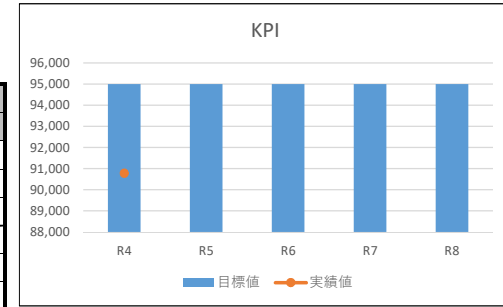




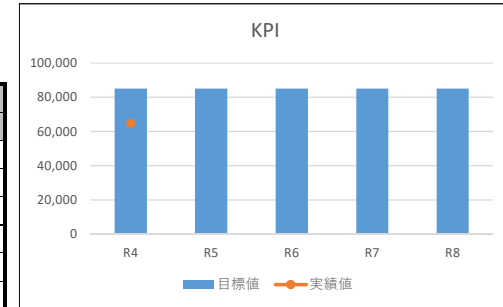
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

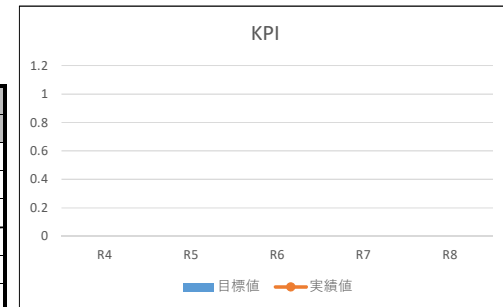
事業名	循環バス運行事業	担当課・係	地域戦略・男女共同参画課地域戦略係
事業概要 現状	通勤、通学、通院や買い物等の市民の日常交通手段並びに観光客の利便性向上のために、市内公共交通（かりんちゃんバス等）の運行を維持する。		
課題	バス利用促進企画と平行して、現行の公共交通を最大限活用しつつ新たな公共交通手段の検討を進める必要がある。		
	単位	人	
	目標	95,000	R4 95,000 R5 95,000 R6 95,000 R7 95,000 R8 95,000
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績 90,786 達成率 95.6%
今後の取組 の方向性	令和4年度に地域公共交通計画を策定するために現行の公共交通について検証を行い、利用実態等を把握し最大限活用しつつ新たな公共交通の手段を検討していく。利用促進事業として福祉団体等と連携した無料乗車体験を実施していく。		
	必要経費（千円）		
	予算額	123,634	123,634
	決算額	95,624	95,624



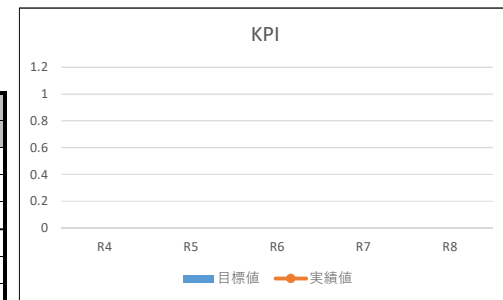
事業名	諏訪湖周バス共同運行事業	担当課・係	地域戦略・男女共同参画課地域戦略係
事業概要 現状	岡谷市、下諏訪町との2市1町により、諏訪湖周を巡回するスワンバスを共同運行し、諏訪湖周の公共交通を確保・維持する。		
課題	利用促進につながる周知やイベントを引き続き検討し、観光客の第2次交通手段として利用できるよう周知していく。		
	単位	人	
	目標	85,000	R4 85,000 R5 85,000 R6 85,000 R7 85,000 R8 85,000
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績 64,842 達成率 76.3%
今後の取組 の方向性	諏訪湖周2市1町が運行しているスワンバスは、地域住民にとって重要な交通手段のひとつとして活用されている。今後も収入増加につながる施策の検討とバスを利用した広告宣伝費の収入など更なる経費削減への取り組みが必要である。		
	必要経費（千円）		
	予算額	28,758	28,758
	決算額	23,624	23,624



事業名		担当課・係	
事業概要 現状			
課題			
	単位		
	目標		R4 R5 R6 R7 R8
評価		A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績 達成率
今後の取組 の方向性			
	必要経費（千円）		
	予算額		
	決算額		



事業名		担当課・係	
事業概要 現状			
課題			
	単位		
	目標		R4 R5 R6 R7 R8
評価		A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績 達成率
今後の取組 の方向性			
	必要経費（千円）		
	予算額		
	決算額		



基本方針効果検証			
基本方針	② 工業	主関連課	商工課
選ばれ続けるものづくり地域			
関連する重点目標	充実したしごと創出	人と投資を呼び込む	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
製造品出荷額等 (目標値以上)	億円	目標値	1,010	1,020	1,030	1,040	1,050
		実績値	861				
		達成率 (達成度)	85.2%	順調			
製造業の従業者数	人	目標値	5,100	5,200	5,200	5,200	5,200
		実績値	5,004				
		達成率 (達成度)	98.1%	順調			
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	2.92	2.92	2.92	2.92	2.92
		実績値	2.92				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

・ウクライナ情勢や米中貿易摩擦など地政学的影響による機械装置・部品の生産調整や半導体不足等による自動車メーカーの減産、さらに原材料や原油価格の高騰による経営への影響が懸念される。生産性の向上や業務効率化を図る支援を実施し、企業の経営基盤強化につながる取り組みを継続的に支援していく。

・昨年度は、地方創生臨時交付金を活用し、新技術・新製品開発補助制度の拡充や製造業者価格高騰対策支援を行った。新技術・新製品開発補助制度では、溶剤蒸発ロスを大幅に削減するフッ素系洗浄機の開発など新技術等11件の申請があり、審査会を経て全製品を採択とした。また、製造業者価格高騰対策支援では、原油や電力価格の高騰並びに円安に伴う物価の上昇により売上減少、収益が悪化している193事業者に対し支援を実施した。

●課題

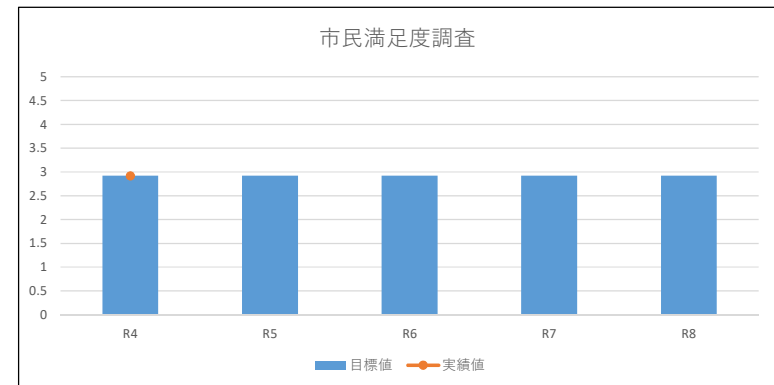
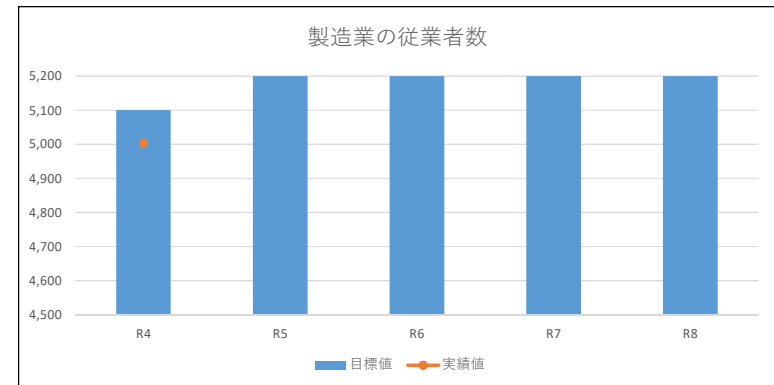
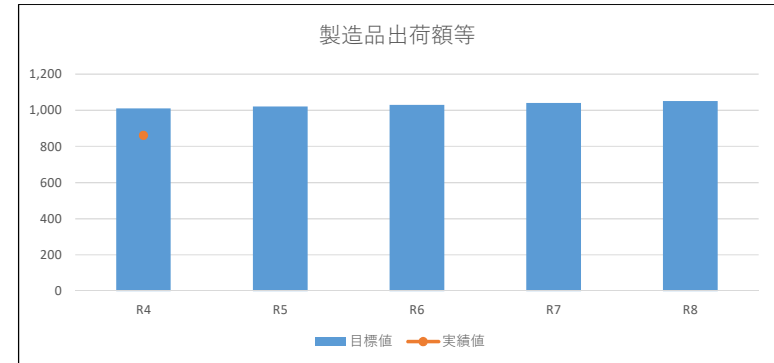
・サプライチェーンの毀損や原材料・原油価格高騰の影響を多くの企業が受けている。国際社会の景気変動による影響をより少なくするには、経営基盤の強化を図る取り組みが重要である。新型コロナウイルス感染症により激変する経済情勢や産業の構造的変化に対応しながら、他社との差別化を図るためには新規成長産業分野への参入や、技術力及び研究開発力の向上が不可欠である。

・独自技術など強みを持った企業が新事業を展開する場合には、知的財産権の活用が必要不可欠である。事業戦略、開発戦略に加えて知財戦略もあわせることで、企業ブランド力を高め、高付加価値製品(自社ブランド)を創造していくことが肝要である。

●今後の取組の方向性

・世界共通理念である「SDGs」や脱炭素社会の実現は、今後の世界市場で国際競争力を維持・強化を図っていく上で必須のツールである。環境・社会・経済の3側面を踏まえたSDGsが企業の経営戦略として有効であり、企業は根本的にビジネスのあり方の変革が求められている。

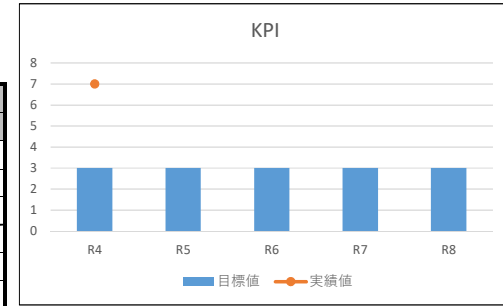
・カーボンニュートラルを目指すためのSBT、TCFD、RE100など認証取得は、温室効果ガスの排出量算定や排出量削減目標値の設定と公表、削減状況の進捗を報告することにつながり、企業での取組が一層明確になるとともに企業評価を高める効果がある。なかでも特に中小企業版SBTについては、今後取得の動きが活発化することが予想されるため、令和5年度から「外部人材活用補助金」の対象経費に追加し、拡充支援を行う。



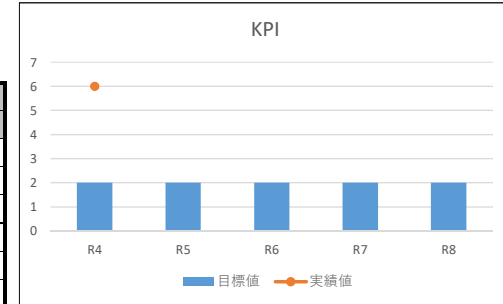
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

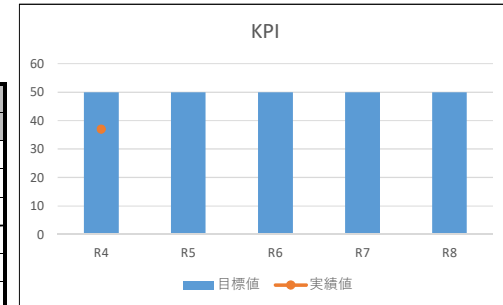
事業名	新技術・新製品開発費補助金	担当課・係	商工課・工業振興係
事業概要 現状	企業が独自又は大学等と連携し行った新技術及び新製品の開発に要した経費の一部を補助することで、新技術や新製品の開発に意欲的な企業の育成を図る。		
課題	原材料・原油価格高騰は深刻な問題となっているが、取引先企業から理解を得られないことから価格転嫁が進まない。このような社会情勢による影響を少なくするには、新技術や新製品の開発により高付加価値製品の創生を図ることが重要である。		
	単位	件	
	目標	3	3
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	
	達成率	233.3%	233.3%
今後の取組 の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、これまでのビジネスモデルからの転換が求められている。新技術・新製品の開発を促すことで、時代の潮流に沿った構造転換が図れるよう支援する必要がある。		
	必要経費(千円)		
	予算額	10,000	10,000
	決算額	10,000	10,000



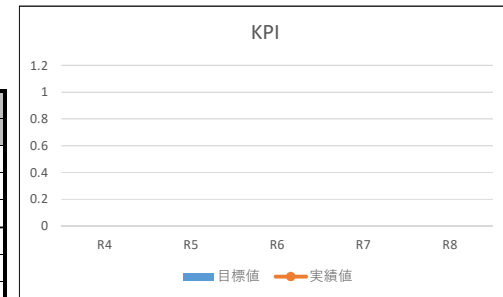
事業名	AI・IoT導入支援事業補助金	担当課・係	商工課・工業振興係
事業概要 現状	企業の人材不足対策、従業員の働き方改革を実現するためには、業務の効率化・生産性の向上を同時に実現することが必要不可欠である。AI、IoT分野を実際に導入する企業に対して経費の補助を実施する。		
課題	新たな企業ツールとして期待されるデジタル化は、導入に向けたインフラコストがネックとなり、デジタル化が進まないことも多い。デジタル化の導入により生産性を向上させることで効率的な環境を構築することが重要である。		
	単位	件	
	目標	2	2
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	
	達成率	300.0%	300.0%
今後の取組 の方向性	令和5年度からITと経営の両面に精通したプロフェッショナルであるITコーディネータが企業を訪問し、デジタル化のための計画立案を支援する。AI・IoT導入支援事業補助金と合わせて包括的な支援を実施する。		
	必要経費(千円)		
	予算額	3,000	3,000
	決算額	2,618	2,618



事業名	工場等立地促進助成金	担当課・係	商工課・工業振興係
事業概要 現状	諏訪市工場等立地促進条例に基づく助成金。市内の特定地域に工場等を新設、移設、増設又は空き工場等を取得して操業を開始した際に、固定資産税相当額を3年間にわたり全額又は一部助成する事業。		
課題	市内では工場用地を確保できないことから、新たに工場を新設する際、市外に用地を求めるといった懸念もある。他の工業支援施策とあわせて複層的な支援を実施することで、市内企業の活性化を図ることが重要。		
	単位	人	
	目標	50	50
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	
	達成率	74.0%	74.0%
今後の取組 の方向性	生産拠点を市内に残し、従業員を継続的に雇用することは、人口減少の観点からも非常に重要である。既存企業の工場増設や空き工場取得に際し本制度は有効に活用できているため、引き続き企業に寄りそった支援を行う必要がある。		
	必要経費(千円)		
	予算額	7,803	7,803
	決算額	6,602	6,602



事業名		担当課・係	
事業概要 現状	KPI		
課題	KPI - 必要経費 経年比較		
	単位		
	目標		
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	
	達成率		
今後の取組 の方向性	必要経費(千円)		
	予算額		
	決算額		



基本方針効果検証			
基本方針	② 観光	主関連課	観光課
“SUWAらしい”があふれる観光地			
関連する重点目標	充実したごちと創出	人と投資を呼び込む	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
宿泊客数	人	目標値	420,000	480,000	600,000	606,000	612,000
		実績値	431,312				
		達成率 (達成度)	102.7% 順調				
観光消費額	万円	目標値	1,574,000	1,771,000	1,968,000	1,987,000	2,006,000
		実績値	1,580,166				
		達成率 (達成度)	100.4% 順調				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	2.99	2.99	2.99	2.99	2.99
		実績値	2.99				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

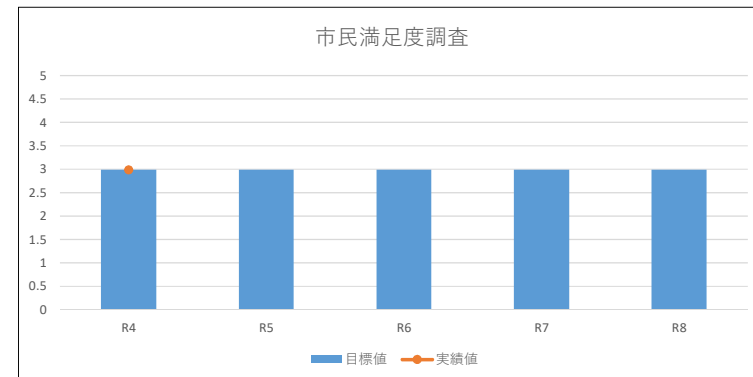
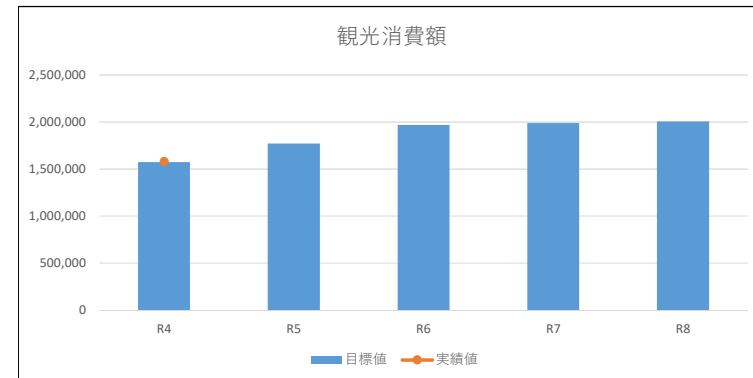
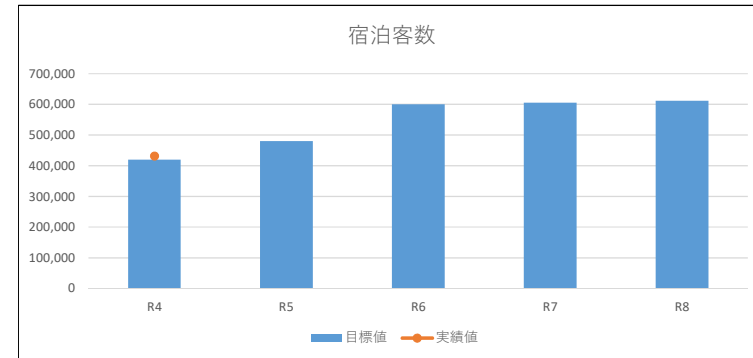
・令和3年度、公民協働により「諏訪市観光ランドデザイン」を策定し、大きく4つの観光課題を解決しながら、2つの強みを活かしていくため、令和4年度から「諏訪市観光ランドデザイン」実現に向けた動きとして、「諏訪市誘客コンテンツ造成プロモーション事業」「KRTプロジェクト」、ポストコロナに向けた「諏訪湖祭湖上花火大会」開催といった取り組みを進めている。  
 ・(一社)諏訪観光協会・諏訪商工会議所・諏訪湖温泉旅館組合等の観光推進団体と連携しながらも、様々な民間の担い手によるプロジェクト創出から観光活性化を図るため、「諏訪市観光ランドデザイン」に合致した民間の動きを支援することにより、観光消費額増大につなげる取り組みを進めることが肝要だと思われる。

●課題

・「諏訪市観光ランドデザイン」を実現するため、専門的な知見・“売れる商品づくり”のノウハウをもつプロの目線により「誘客コンテンツ」の磨き上げを持続的に行うことができる体制構築が急務となっている。  
 ・様々な民間の担い手によるプロジェクト創出（「誘客コンテンツ」造成）から観光活性化を図るため、(一社)諏訪観光協会・諏訪商工会議所・諏訪湖温泉旅館組合等の観光推進団体がそれぞれの強みを活かした形で、民間の担い手を支援していく動きが必要である。  
 ・「諏訪湖祭湖上花火大会」開催は、現在の観光課の体制では、従来のイベント観光へ逆行する動きにもなりかねないことと、様々な民間の担い手による観光プロジェクト創出を支援する動きが停滞するリスクを秘めている。

●今後の取組の方向性

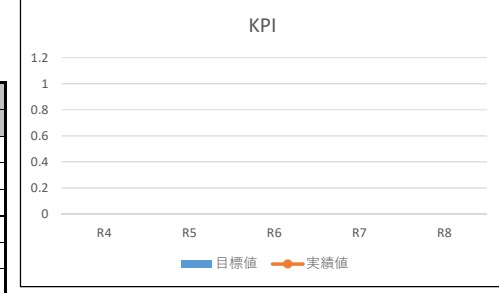
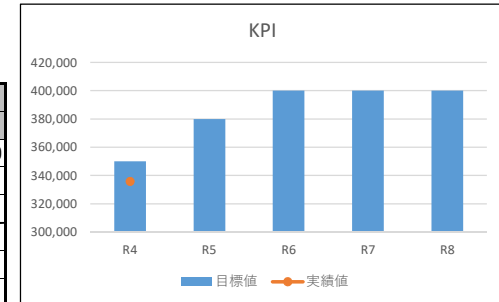
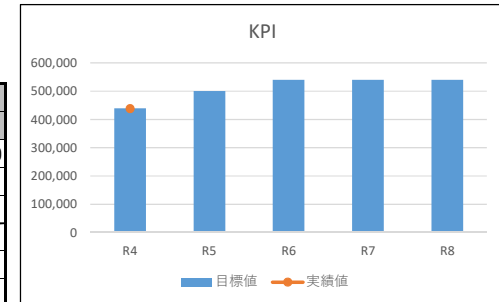
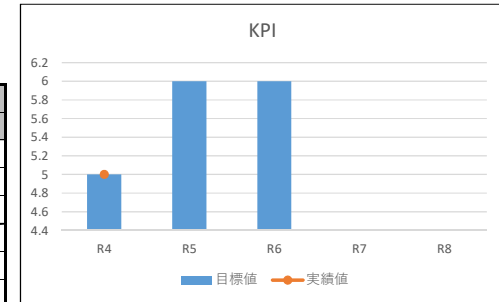
・旅行会社のスペシャリスト人材を活用し、「誘客コンテンツ」の磨き上げにより“売れる商品化”を進めることで、観光課題の解決につなげる。  
 ・(一社)諏訪観光協会・諏訪商工会議所・諏訪湖温泉旅館組合等の観光推進団体がそれぞれの立場で、民間の担い手を支援していく動きを定着化させる必要がある。  
 ・「諏訪湖祭湖上花火大会」に忙殺されることで、観光活性化の様々な動きが停滞しないよう、観光課や(一社)諏訪観光協会の組織体制の見直しを図ることで、持続的な推進体制を構築していく必要がある。



●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

事業名	観光ランドデザイン関連事業	担当課・係	観光課観光係
事業概要 現状	意欲的な民間事業者が取り組む「誘客コンテンツ」を支援するため、令和4年度は5件のプロジェクト支援を行いながらも、担い手のレベルアップのため、「観光ひらめきセミナー」による勉強会を開催した。		KPI 観光課が支援する観光プロジェクト数
課題	「諏訪湖祭湖上火花大会」開催の負荷が大きく、従来のイベント観光へ逆行する動きにもなりかねないことと、様々な民間の担い手による観光プロジェクト創出を支援する動きを停滞させるリスクがある。		KPI・必要経費 経年比較
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位 件
今後の取組 の方向性	観光活性化の様々な動きが停滞しないよう、観光課や（一社）諏訪観光協会の組織体制の見直しを図ることで、持続的な推進体制を構築していく必要がある。		目標 5
			実績 5
			達成率 100.0%
			必要経費(千円)
		予算額 3,000	R4 3,000
		決算額 2,992	R5
			R6
			R7
			R8
事業名	KRTプロジェクト関連事業	担当課・係	観光課施設管理係
事業概要 現状	霧ヶ峰高原の活性化についてのアイデアを観光・地元関係者、民間事業者、専門家等から諏訪市に対して提言をいただき意見交換をする「場」を設置し、できることから実行していくとともに市有施設については令和6年度に対応方針を決定する。		KPI 諏訪市観光動態要覧「霧ヶ峰観光消費額（通年）」
課題	霧ヶ峰の活性化に向けては、新たなファンの獲得に向けた発信、公民協働、民間活力の導入を念頭に置いた取り組みを進める必要がある。		KPI・必要経費 経年比較
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位 万円
今後の取組 の方向性	霧ヶ峰の活性化等に関する具体的なアイデアについては実行に移せるアイデアから随時取組む。市有施設については民間活力を導入することによる収益力・集客力をアップさせること等について意見交換をし、令和6年度中に再整備等の方針を決定する。		目標 440,000
			実績 438,429
			達成率 99.6%
			必要経費(千円)
		予算額 0	R4 440,000
		決算額 0	R5 500,000
			R6 540,000
			R7 540,000
			R8 540,000
事業名	諏訪湖祭湖上火花大会	担当課・係	観光課観光係
事業概要 現状	ポストコロナに向けた諏訪湖祭湖上火花大会を安全安心に開催するため、花火会場の環境の変化を考慮しながら、運営面で様々な改善を図るべく、当市の花火大会関連担当課や各種協力団体等との各種調整を鋭意進めている。		KPI 諏訪市観光動態要覧「毎年8月諏訪市観光消費額」
課題	物価・人件費高騰と人員不足の中で、花火大会の協力事業者からも業務委託不可の回答があり、昨今の経済状況下、花火大会の収支バランスをどのように取っていくのが課題となっている。		KPI・必要経費 経年比較
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位 万円
今後の取組 の方向性	予算的にも人力的にも従来規模での花火大会を継続的に開催していくことができるのか、様々な状況を注視しながら、各種取り組み内容を見極める必要がある。		目標 350,000
			実績 335,825
			達成率 96.0%
			必要経費(千円)
		予算額 6,500	R4 350,000
		決算額 6,500	R5 380,000
			R6 400,000
			R7 400,000
			R8 400,000
事業名		担当課・係	
事業概要 現状			KPI
課題			KPI・必要経費 経年比較
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位
今後の取組 の方向性			目標
			実績
			達成率
			必要経費(千円)
		予算額	R4
		決算額	R5
			R6
			R7
			R8



基本方針効果検証			
基本方針	② 商業・流通	主関連課	商工課
生活を支える、ホットする温かさ			
関連する重点目標	充実したしごと創出	人と投資を呼び込む	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
推せんみやげ品新規登録数	件	目標値	3	3	3	3	3
		実績値	0				
		達成率 (達成度)	0.0% 努力が必要				
商業連合会会員店舗数	店舗	目標値	235	235	235	235	235
		実績値	232				
		達成率 (達成度)	98.7% 順調				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	2.67	2.67	2.67	2.67	2.67
		実績値	2.67				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

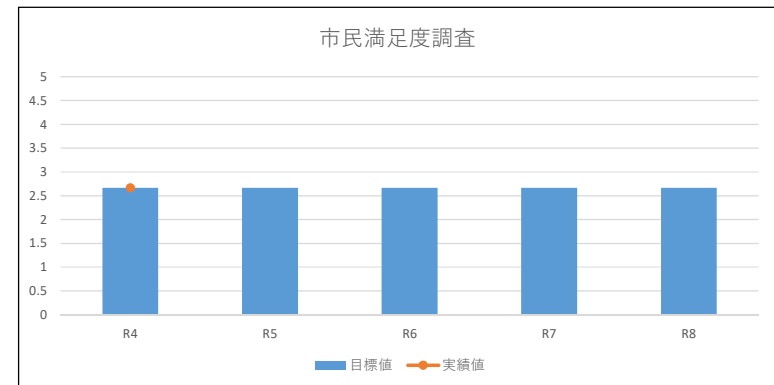
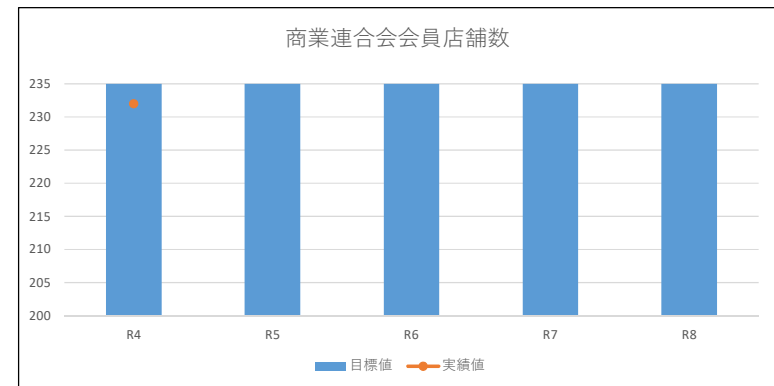
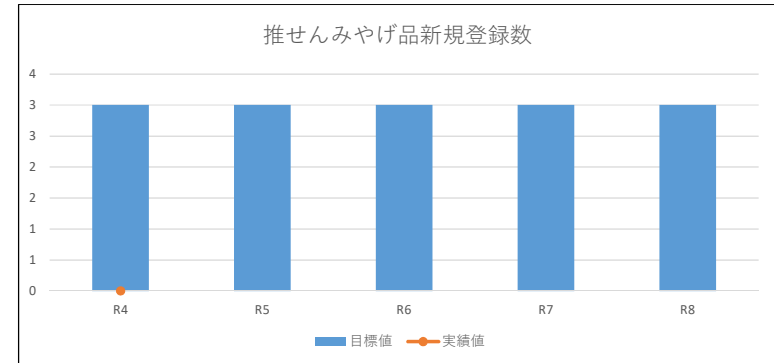
- ・地域特有の農産品などの地域資源のブランド化に取組む生産者支援の継続により、新たな付加価値を見出した製品等（みやげ品、SUWAプレミアム等）が開発されている。
- ・中心市街地において地元資本の専門商店が減少し空き店舗が増加している一方、移住者等の経営者が新規出店しており、新たな商店街形成に向け機運が高まっている。

●課題

- ・観光客・市民の街中への回遊を実現するためには、多様化した価値観への対応や、新たな価値の創造が必要である。
- ・市場や世の中の変化に対応するためには、設備への投資のみならず、商業界においても革新を引き起こすことのできる「人（後継者）」の発掘や育成が必要である。

●今後の取組の方向性

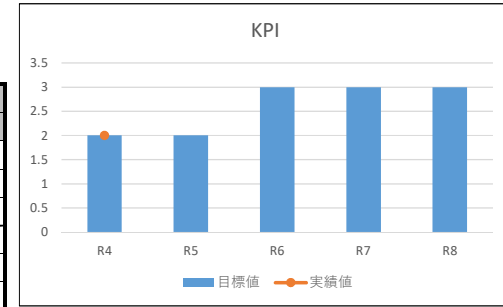
- ・魅力的な推せんみやげ品の発掘をすとともに、新規みやげ品の開発を促すことで、生産者の創意工夫を促し、市内外に対してみやげ品を通じた地域ブランドPRを実現する。
- ・商業会等団体が自ら主体となる賑わい創出やPRのための取組を積極的に支援するとともに、既存の取組についても新規要素の導入を積極的に推進する。
- ・郊外型商業地・地域密着型商業地それぞれの特性を生かした均衡ある発展に取り組み、地域住民が安心して生活できる、ホットする快適な商業環境の創出を目指す。



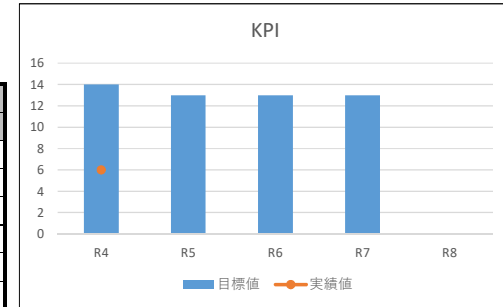
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

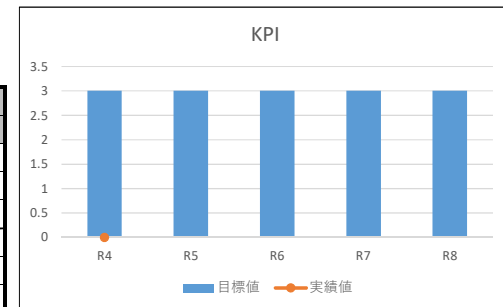
事業名	空店舗等活用補助金	担当課・係	商工課商業振興係					
事業概要 現状	市内の空店舗等を有効利用し、まちの賑わいづくりにつなげるため、新たに空店舗等を改装して事業を開始する事業者に対して、改修経費の一部を補助し商業振興を図る。		K P I					
			空店舗等活用補助金の利用件数					
課題	持続可能な地域社会に向け、空店舗等活用補助金は商店街の賑わいづくりに有効な手段であり、若手創業者への支援にもなるが、その後も継続的な支援が必要である。		K P I ・ 必要経費 経年比較					
			単位	件	R4	R5	R6	R7
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	2	2	3	3	3
			実績	2				
今後の取組 の方向性	若手創業者のスタートアップ支援として有効に活用されていることから、創業後も相談助言などの支援も行いながら、長期的な地域活性化につながるよう行っていく。		達成率	100.0%				
			必要経費(千円)					
			予算額	1,000	1,000			
			決算額	852	852			



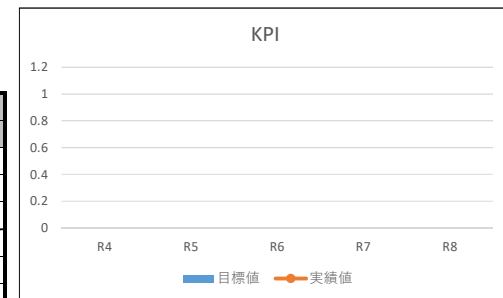
事業名	店舗リフォーム助成事業	担当課・係	商工課商業振興係					
事業概要 現状	まちの賑わいづくりにつなげるため、市内に店舗を構え事業を営む方が、市内小規模企業者を利用してリフォームをした場合の改修経費の一部を補助し店舗の魅力アップを図る。		K P I					
			店舗リフォーム補助金地用件数					
課題	地域が衰退しているイメージをもたれないよう、既存店舗の魅力アップを図り集客力を上げる必要がある。		K P I ・ 必要経費 経年比較					
			単位	件	R4	R5	R6	R7
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	14	13	13	13	
			実績	6	6			
今後の取組 の方向性	既存店舗のリフォームを補助することで、リフォーム需要を喚起し、市内小規模企業者の業務受注を促進させ、まちの賑わいづくりにつなげ市内経済の活性化を図る。		達成率	42.9%				
			必要経費(千円)					
			予算額	3,000	3,000			
			決算額	1,361	1,361			



事業名	推薦みやげ品事業	担当課・係	商工課商業振興係					
事業概要 現状	特性を活かした地域ブランドとして諏訪市推せんみやげ品の宣伝周知をし、商業振興及び地域活性化につなげ観光事業への寄与を目指す。		K P I					
			みやげ品開発事業奨励金の交付件数					
課題	新たなみやげ品の開発に対し奨励金を交付することで、事業者の販売意欲や経営力を高めることにつなげていく必要がある。		K P I ・ 必要経費 経年比較					
			単位	件	R4	R5	R6	R7
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	3	3	3	3	3
			実績	0	0			
今後の取組 の方向性	「諏訪市みやげ品開発事業奨励金」補助制度の周知に努め事業者の開発意欲を促すとともに、販売意識の向上を目指す。推薦みやげ品の各種イベントでのPRのための物販、パンフレットの配布をし、更なる宣伝周知の継続をしていく。		達成率	0.0%	0.0%			
			必要経費(千円)					
			予算額	300	300			
			決算額	0	0			



事業名		担当課・係						
事業概要 現状			K P I					
課題			K P I ・ 必要経費 経年比較					
			単位		R4	R5	R6	R7
評価		A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標					
			実績					
今後の取組 の方向性			達成率					
			必要経費(千円)					
			予算額					
			決算額					



基本方針効果検証			
基本方針	㊸ 農林漁業	主関連課	農林課
農林漁業を守り、育て、活かす			
関連する重点目標	充実したしごと創出	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
農業の担い手への農地集積率	%	目標値	39.3	41.7	44.7	47.6	50.0
		実績値	37.3				
		達成率 (達成度)	94.9% 順調				
木材搬出面積	ha	目標値	33.5	34.5	35.5	36.5	37.5
		実績値	27.31				
		達成率 (達成度)	81.5% 順調				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.12	3.12	3.12	3.12	3.12
		実績値	3.12				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

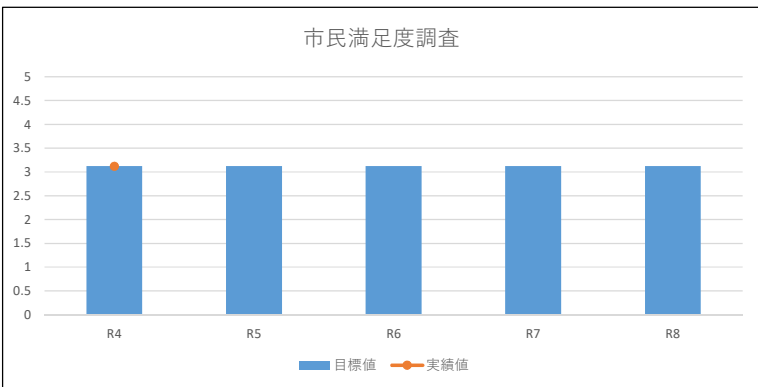
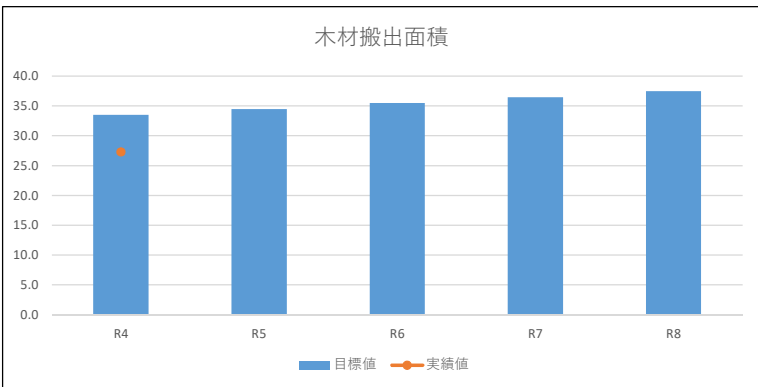
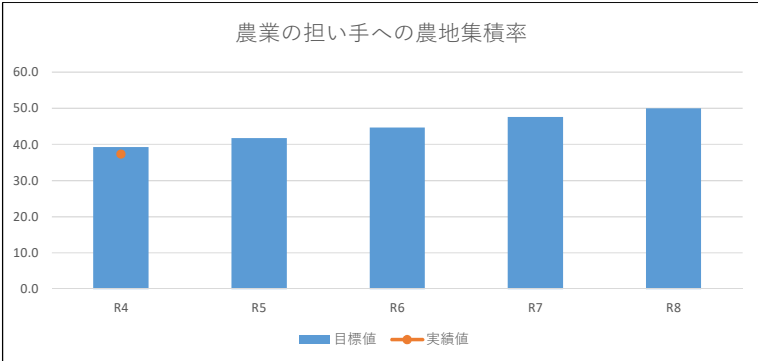
- ・農業経営安定化のため支援を行い、農業の振興を図るとともに、安全・安心な農作物の提供を目指している。
- ・漁業の生産性向上のため、水産資源の確保・増殖を図っている。
- ・県や長野県林業労働財団、諏訪森林組合と連携しながら、林業のための技能・技術が習得できるよう研修への参加を促進している。

●課題

- ・農業従事者の高齢化や担い手の減少により、耕作放棄地や遊休農地が拡大傾向にある。
- ・有害鳥獣による農作物及び森林被害が深刻な問題となっている。
- ・漁獲量は減少しており、諏訪湖の漁獲資源の確保に関し、外来魚による食害が問題となっている。
- ・次代の森林・林業を担う20代から30代の林業技術者が、地域の森林所有者等が安心して森林経営を任せられるリーダー的存在として成長することが必要。

●今後の取組の方向性

- ・耕作放棄地や遊休農地の解消を図るため、農業委員会による農地利用最適化に向けた取組みを実施していく。また、農業の競争力強化のため、農地中間管理機構を活用した集積と集約化を促進する他、農地基盤整備の実施、農業の担い手の育成、特産品の販路開拓、地産地消の解消など、持続可能な強い農業を目指していく。
- ・県・湖周2市1町との連携により、諏訪湖漁協による外来駆除事業を継続実施し、水産資源の確保を図っていく。
- ・県や他市町村、諏訪森林組合等林業事業体と協力しキャリアアップのための研修等、参加支援をしていく。

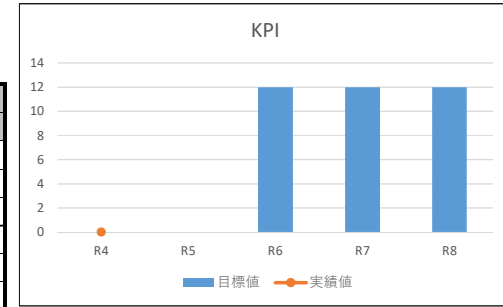




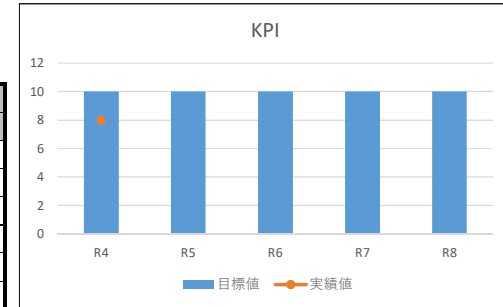
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

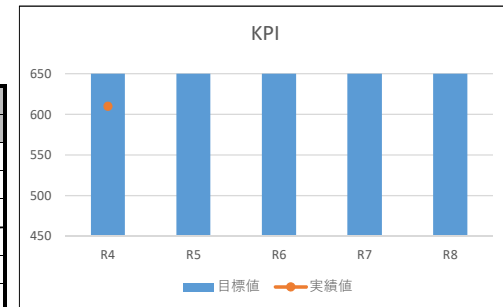
事業名	諏訪平土地改良区農地基盤整備事業	担当課・係	農林課・耕地林務係					
事業概要 現状	換地計画書の作成を行い農地の有効利用や収益性の向上、担い手への農地集積・集約化を進めるとともに、水田の区画整理や水路のバイプライン化、排水路やポンプ施設の新設や改修、農道の整備等の実施を進めている。	K P I						
		基盤整備面積						
課題	諏訪平地区は第一次構造改善事業等（昭和30年代に実施）により20a程度の区画で整備されたが、各施設の老朽化が顕著であり通常の維持管理が困難になっている。また近年は農家の高齢化や後継者不足等による遊休荒廃化への危険、ほ場が小さく大型農業機械が導入できないなど、担い手農家が作業しにくい環境が要因となり、国や県が目指す農業競争力強化基盤整備事業施策に係る目標まで集積・集約化が進んでいないという課題がある。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	ha	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	0	0	0	12	12	12
		実績	0	0				
今後の取組 の方向性	地域の担い手と連携した農地の大区画化や排水路管理環境整備、用水量効率化等の耕作条件改善を行うことで、より効率的な営農が可能となり、国の目指す集積・集約化率の目標達成ならびに競争力の高い農業地帯の実現に向けた基盤の構築を目指す。	達成率						
		必要経費（千円）						
		予算額	24,809	24,809				
		決算額	15,383	15,383				



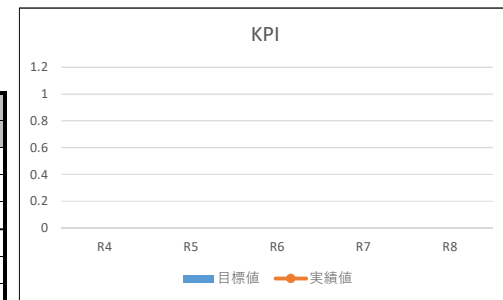
事業名	農道・農業用水路整備事業	担当課・係	農林課・耕地林務係					
事業概要 現状	・地元区や土地改良区からの要望に基づく補修や水路の清掃等の維持管理工事や改修工事を行い、改修工事に際して特定の受益がある場合には分担金を徴収し財源の一部としている。	K P I						
		修繕箇所数						
課題	・昭和30年代の諏訪平地区をはじめとして過去の土地改良事業により整備された農業用施設の多くが耐用年数を超えており、各所で経年による劣化や損傷が発生している。また諏訪地域特有の軟弱地盤に起因する影響も顕著であり、安定的な耕作の支障となっている。さらに、これら要因が耕作者の意欲減退による耕作放棄地の発生等の問題にもつながっている。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	箇所	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	10	10	10	10	10	
		実績	8	8				
今後の取組 の方向性	・耕作に必要不可欠である用水の安定供給に寄与する農業用施設を適切に維持管理・整備していくことで、安定的な耕作が可能となる。また耕作者の意欲向上による耕作放棄地や荒廃地の防止・解消や、昨今の頻発する自然災害に対する全国的な取り組みである流域治水対策の推進にも効果が期待できる。	達成率		80.0%				
		必要経費（千円）						
		予算額	17,329	17,329				
		決算額	17,040	17,040				



事業名	鳥獣害対策事業	担当課・係	農林課・農業振興係					
事業概要 現状	諏訪市猟友会や諏訪市鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣駆除の他、諏訪市鳥獣被害対策協議会に対し、鳥獣駆除及び侵入防護柵設置の支援を行っている。	K P I						
		捕獲頭数						
課題	耕作放棄地や遊休農地の拡大傾向により、有害鳥獣による農作物の被害が増加傾向にある。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	頭	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	650	650	650	650	650	
		実績	610	610				
今後の取組 の方向性	有害鳥獣駆除の捕獲強化を図っていくほか、侵入柵設置について各団体からの要望を確認しながら進めていく。	達成率		93.8%				
		必要経費（千円）						
		予算額	18,295	18,295				
		決算額	12,576	12,576				



事業名		担当課・係						
事業概要 現状		K P I						
課題		K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位		R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標						
		実績						
今後の取組 の方向性		達成率						
		必要経費（千円）						
		予算額						
		決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	㊫ 雇用・スタートアップ支援	主関連課	商工課
働きやすさと挑戦の後押し			
関連する重点目標	充実したしごと創出	人と投資を呼び込む	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
新入社員歓迎大会申込者数	人	目標値	300	400	400	400	400
		実績値	354				
		達成率(達成度)	118.0%	非常に順調			
諏訪市の支援を受けて実現した創業数	件	目標値	20	20	20	20	20
		実績値	17				
		達成率(達成度)	85.0%	順調			
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.11	3.11	3.11	3.11	3.11
		実績値	3.11				
		達成率(達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

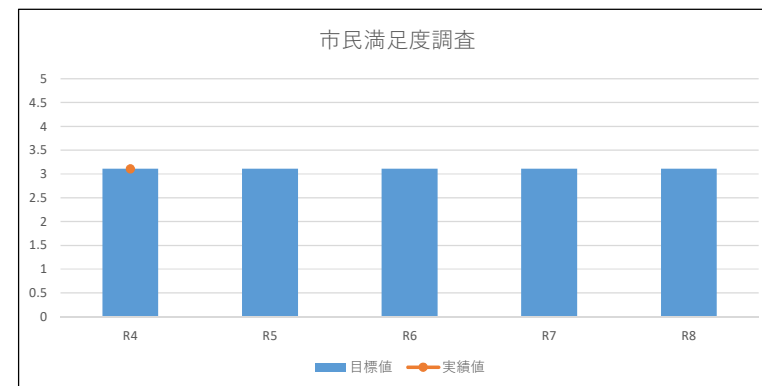
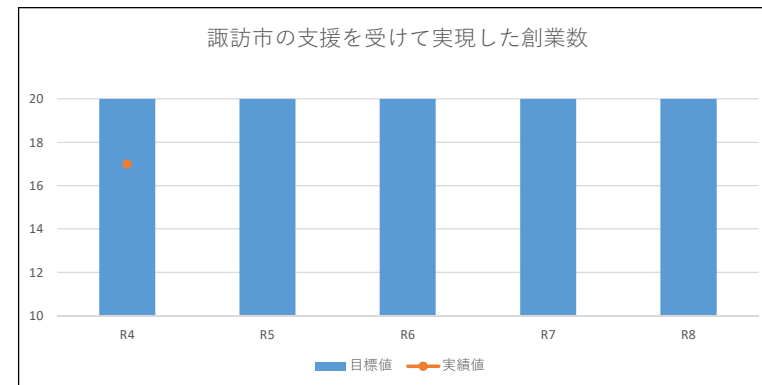
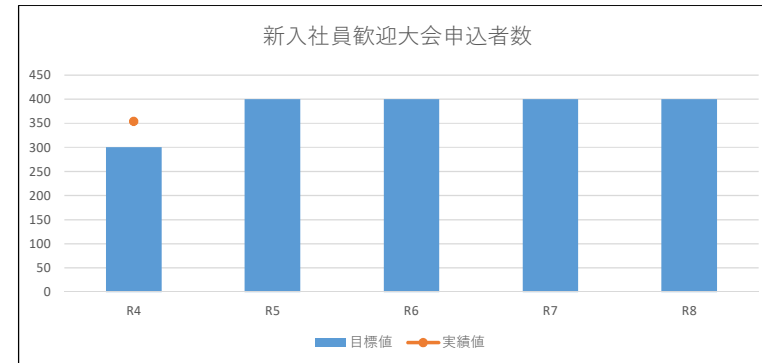
・諏訪市内の企業が持続的に発展し、技術開発や異業種との連携など将来にわたってイノベーションを起こしていくためには、次世代を担う優秀な人材が必要である。人口減少社会が進展するなか、人材確保に苦慮している状況が顕著となっている。  
 ・開業支援の融資件数は、17件で目標値を若干下回ったが、新入社員歓迎大会では、オンライン配信によるハイブリッド方式で開催し354名の参加があり、目標を達成することができた。  
 ・令和4年度は、WEBを活用した求人情報専門検索エンジンへの登録支援や、YouTube等へ企業採用PR動画をCMとして配信する取り組みを実施し、新たな雇用創出につなげている。

●課題

・ハローワーク諏訪管内、令和5年3月の有効求人倍率は1.47倍で、全国の1.32倍を大きく上回っている。雇用情勢は、着実に改善が進んでいるが、引き続き国内景気や国際情勢の動向が雇用に与える影響を注視する必要がある。特に専門的・技術的職業にかかる求人数は求職者数を大きく上回っており、市内の製造技術者を中心に慢性的な人手不足となっている。  
 ・コロナ禍により、対面型の合同就職説明会からオンライン説明会を併用するなど、採用手法の転換も求められているところである。企業の魅力を如何に発信し、訴求力を高めていくかが課題である。

●今後の取組の方向性

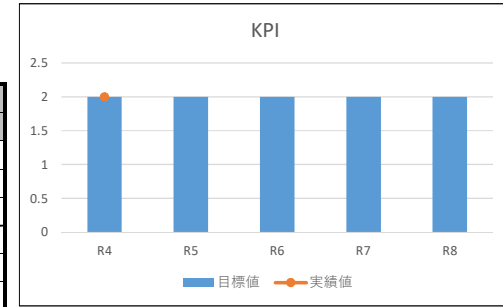
・企業からは、就職後ミスマッチにより転職する従業員も一定数いると聞いている。インターンシップやキャリア教育（中学生・高校生）は、事前に労働環境や業務内容を把握し、自分の適性にあった職場を見つけることができる有効な手段といえる。ミスマッチを防止するため、インターンシップなどの従業員の定着に向けた取り組みを支援するとともに、安心して働ける環境を整備することが大切である。  
 ・令和5年度からは、「奨学金返済支援制度応援補助金」を創設し、従業員に対して企業が支払う奨学金返済支援制度（手当）を補助金により支援する。奨学金返済に対する支援をすることで、従業員の経済的、心理的負担を軽くし、安心して働ける環境を構築する。また、福利厚生面をPRすることで、新卒等採用活動を優位に進め優秀な人材確保につなげる。



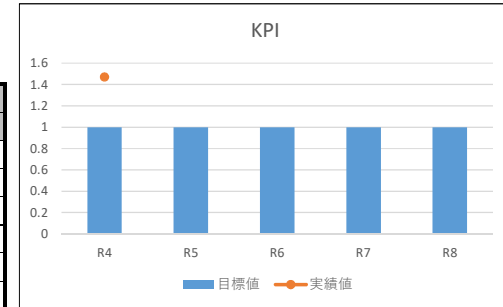
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

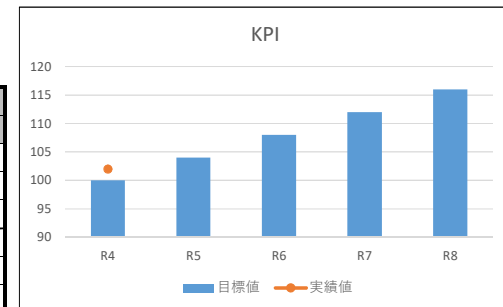
事業名	職場環境整備促進事業補助金	担当課・係	商工課・工業振興係
事業概要 現状	事業所の職場環境の整備に要した経費の一部を補助することにより、働きやすい職場環境を整備し、従業員の雇用促進及び安定的な雇用を図る。		
課題	令和4年度から脱炭素社会の実現及び持続的発展が可能な社会の構築を図ることを目的に、省エネルギー機器導入に対しても補助を実施している。温暖化への対応を、経済成長の制約（コスト）と考えるのではなく、成長の機会と捉えることが重要。		
	単位	件	
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	達成率	100.0%	100.0%
今後の取組 の方向性	働き方改革を促進するうえでも、時代に沿った職場環境を構築していくことは重要である。職場環境は、採用活動の中で企業を選択する際に重要なポイントとなる。本補助金を活用し、安定的な雇用に繋がるよう支援を継続する。		
	必要経費（千円）		
	予算額	1,000	1,000
	決算額	500	500



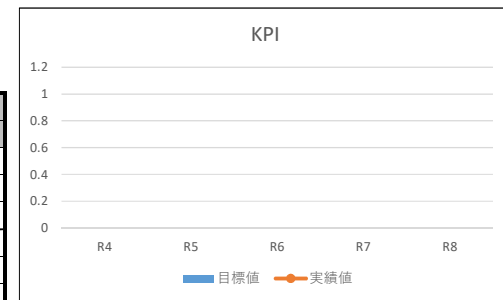
事業名	人材確保推進事業	担当課・係	商工課・工業振興係
事業概要 現状	雇用の維持や求人開拓、再就職支援等、雇用の確保対策など人材確保を推進する事業である。新型コロナウイルス感染症により、企業での採用活動はオンライン活用が増えるなど大きな影響（変化）がでている。		
課題	優秀な人材確保は、持続可能な地域社会構築の重要な先行投資であるが、KPIなど成果としての数字は計り難い。採用活動は、景気動向にも左右されるため、長期的な視点で堅実に取り組むことが必要。		
	単位	倍	
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	達成率	147.0%	147.0%
今後の取組 の方向性	雇用情勢は着実に改善しており、それに伴い企業は新卒・中途など優秀な人材を求めているが、採用に至らない場合も多い。積極的かつ効率的に市内企業の情報発信を行い、市内企業と求人者のマッチングの機会を創出する。		
	必要経費（千円）		
	予算額	8,974	8,974
	決算額	8,101	8,101



事業名	SUWAプレミアム事業	担当課・係	産業連携推進室・産業連携推進係
事業概要 現状	平成26年4月、諏訪地域の技術力が生みだす優れた商品を「SUWAプレミアム」としてブランド化。販路開拓、情報発信、認知度向上等の活動によりブランドの存在感や価値を高めながら、事業者の後押しを行う。		
課題	主な販路であった旗艦店の対面販売は、コロナ禍の影響を受け令和2年度大幅に減少した。令和3年度以降徐々に回復傾向にあるが、コロナ禍により変容した消費者の購買行動に対し、WEBサイト上の発信・集客を戦略的に展開する必要がある。		
	単位	点	
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	達成率	102.0%	102.0%
今後の取組 の方向性	令和4年度の新規事業として、専門事業者によるSNSを通じたマーケティング戦略や認定事業者個々のサイト運営支援を実施した。販路拡充や認知度向上に実績・効果が出始めているため、令和5年度も継続実施する。		
	必要経費（千円）		
	予算額	4,042	4,042
	決算額	4,034	4,034



事業名		担当課・係	
事業概要 現状			
課題			
	単位		
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	達成率		
今後の取組 の方向性	必要経費（千円）		
	予算額		
	決算額		



基本方針効果検証			
基本方針	㊸ 防災・危機管理	主関連課	危機管理室
自分とみんなを災害から守る			
関連する重点目標	気持ちいい、心地いいまちづくり	新たな時代への対応	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
防災メールの登録者数	人	目標値	9,100	9,200	9,300	9,400	9,500
		実績値	7,927				
		達成率 (達成度)	87.1% 順調				
諏訪市防災気象情報システムアクセス数	件	目標値	80,200	80,400	80,600	80,800	81,000
		実績値	60,348				
		達成率 (達成度)	75.2% 努力が必要				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.23	3.23	3.23	3.23	3.23
		実績値	3.23				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

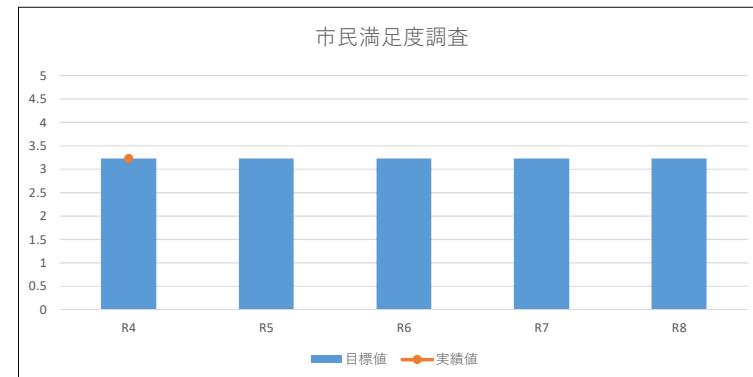
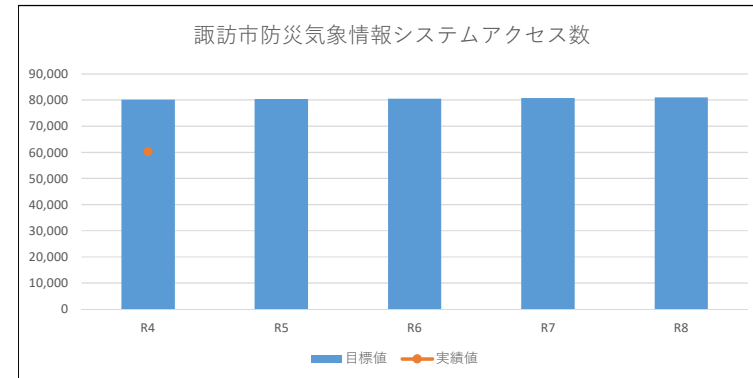
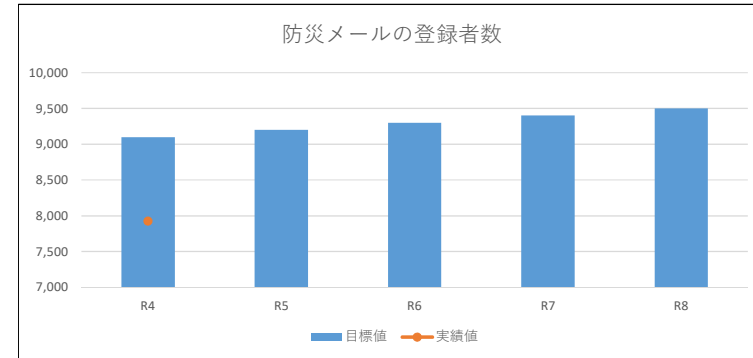
・台風や集中豪雨による災害から住民の生命や財産を守るため、防災上、重要な準用河川や普通河川及び基幹水路の改修工事を着実に実施している。  
 ・水路・河川の流路確保のための浚渫及び河床整備による河川改修事業により、地区要望による暗渠水路や道路側溝等の土砂撤去を行っている。  
 ・近年は人的被害に伴う大規模災害は発生していないが、局地的降雨による低地での内水氾濫が生じている。  
 ・早期の避難行動等に役立てるよう、市内の気象情報を迅速に収集解析し、住民に提供する必要がある。防災行政無線のほかICTを活用した情報管理の取り組みを進めている。  
 ・災害時に現場で活躍する消防団員の確保に努めており、消防団員に係る処遇改善を進めている。

●課題

・市内各地区から浸水対策に係る要望が多く寄せられており、内水氾濫による被害を減少させるため、内水排除ポンプの設置の検討が必要である。  
 ・地元協議の中で緊急性・必要性を判断し、効果的な整備に向けた取組が必要である。  
 ・高齢化により側溝泥上げなど行うことが困難な地区への対応が課題となっている。  
 ・市が独自で運用する“すわそらサイト”の一層の周知、活用促進が求められている。  
 ・消防団員に対する報酬支払時に、団員自身が入力した個人情報に誤りがあり、正確かつ迅速な支給体制の確立が求められている。

●今後の取組の方向性

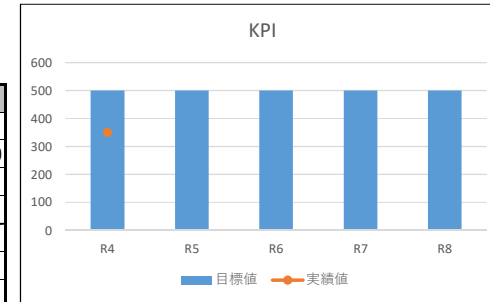
・河川の氾濫防止と内水氾濫の軽減を図るため、地元や関係機関と調整を図りながら優先順位を定めて計画的に整備を進める。  
 ・暗渠水路や道路側溝等の堆積土砂は、地区要望を中心に行うが、地区との協働を念頭に対応し、安心・安全な住民の生活維持に努める。  
 ・すわそらサイトを、より多くの方に利用していただくため、利便性の向上に努め情報内容等の一層の充実を図りつつ様々な手法で活用方法を周知する。  
 ・消防団員の処遇改善にあつては一定の水準まで引き上げることができた。改めて実働や訓練、行事の必要性を理解してもらい、団員確保に重点を置き、更なる改善を続けていく。



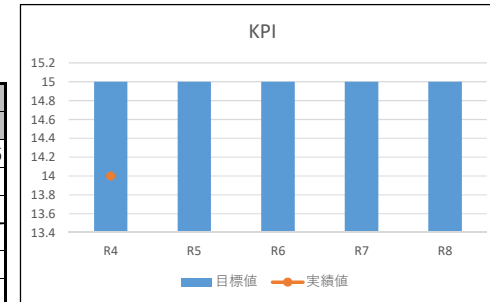
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

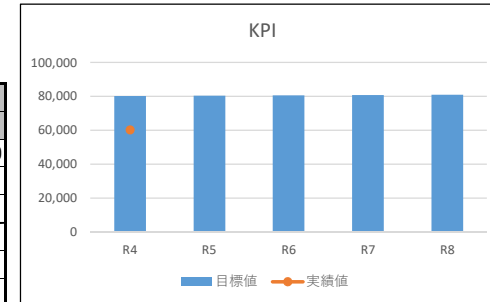
事業名	自然災害防止事業	担当課・係	建設課工事係					
事業概要 現状	台風や集中豪雨による災害から住民の生命や財産を守るため、防犯上、重要な準用河川や普通河川及び幹幹水路の改修を実施している。低地での内水氾濫に対応するため、内水排除ポンプの設置を検討している。	K P I						
		河川改修工事整備延長						
課題	市内各地区から浸水対策に係る要望を多く頂いている。地元協議の中で緊急性・必要性を判断し整備を実施する。効果的な整備に向けて関係機関と調整しながら浸水地区の整備を行う。	単位	m	R4	R5	R6	R7	R8
		目標	500	500	500	500	500	500
		実績	350					
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	70.0%	70.0%			
今後の取組 の方向性	河川の氾濫防止と内水氾濫の軽減を図るため、継続的に自然災害防止事業債を活用し整備を実施する。また、浸水などの懸案箇所を中心に地元や関係機関と調整を図りながら、優先順位を定めて計画的に整備を進める。	必要経費(千円)						
		予算額	234,600	234,600				
		決算額	204,676	204,676				



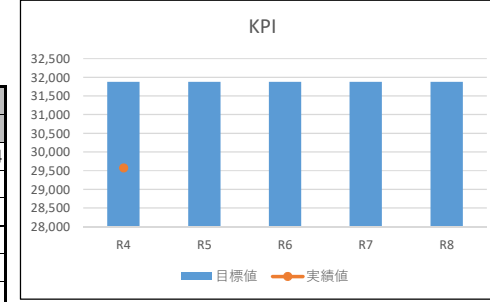
事業名	河川管理事業	担当課・係	建設課工事係					
事業概要 現状	水路・河川の流路確保のための浚渫及び河床整備による河川改修を実施している。地区要望による暗渠水路や道路側溝等の土砂撤去を行っている。	K P I						
		河川浚渫、暗渠水路、道路側溝等の浚渫						
課題	山間地より流出する堆積土砂の浚渫や高齢化により側溝泥上げなど行うことが困難な地区への対応が課題である。	単位	箇所	R4	R5	R6	R7	R8
		目標	15	15	15	15	15	15
		実績	14					
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	93.3%	93.3%			
今後の取組 の方向性	堆積土砂を放置すると河川氾濫の原因になるため、河川の浚渫を重点的に行う。また、暗渠水路や道路側溝等の堆積土砂は、地区要望を中心に行うが、地区との協働を念頭に対応し、安心・安全な住民の生活維持に努める。	必要経費(千円)						
		予算額	32,485	32,485				
		決算額	30,119	30,119				



事業名	防災気象情報システム運用事業	担当課・係	危機管理室市民安全係					
事業概要 現状	市内の気象情報を迅速に収集解析し、PCやスマホ等を通じて市民に提供し、早期の避難行動等に役立つようシステム運用を行っている。市民周知を図るため、親しみやすいサイト名“すわぞらサイト”を用いる工夫や画面構成の見直し等に取り組んでいる。	K P I						
		諏訪市防災気象情報システムアクセス数						
課題	本システムの一層の周知、活用促進が求められている。また、河川カメラ等が2カ所となっており、今後道路等のライブカメラ映像や河川カメラ等のリンクの増加等を図ることで、利便性の向上を検討する必要がある。	単位	件	R4	R5	R6	R7	R8
		目標	80,200	80,200	80,400	80,600	80,800	81,000
		実績	60,348	60,348				
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	75.2%	75.2%			
今後の取組 の方向性	情報の提供については、安定した配信に努め、より多くの方に利用していただくため様々な手法で活用方法を周知する。また、情報内容等の一層の充実を図る必要があり、国県等が提供する新ツールの導入等を見極め検討を重ねる。	必要経費(千円)						
		予算額	2,072	2,072				
		決算額	1,992	1,992				



事業名	消防団員処遇改善	担当課・係	消防課消防係					
事業概要 現状	消防団員に係る年報酬、出勤報酬を国が基準とする報酬額に改善し、個人支給が確立された。	K P I						
		年報酬、出勤報酬						
課題	団員自身が支払いに係る個人情報を記入した際に、誤りがあり、担当者から再度団員に確認を行うことが度々あった。現役団員に対し、正確な支払先は改善、確立されているが、新入団員に対しては同様のことが懸念される。	単位	円	R4	R5	R6	R7	R8
		目標	31,874	31,874	31,874	31,874	31,874	31,874
		実績	29,573	29,573				
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	92.8%	92.8%			
今後の取組 の方向性	処遇改善にあつては一定の水準まで引き上げることができた。改めて実働や訓練、行事の必要性を理解してもらい、団員確保に重点を置き、更なる改善に取り組んでいく。	必要経費(千円)						
		予算額	31,874	31,874				
		決算額	29,574	29,574				



基本方針効果検証			
基本方針	⑦ 安心生活	主関連課	建設課
地域ぐるみで守る安心生活			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
交通死亡事故発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	1				
		達成率 (達成度)	—				
相談窓口における消費者相談のあっせん・解決率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100				
		達成率 (達成度)	100.0% 順調				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.26	3.26	3.26	3.26	3.26
		実績値	3.26				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

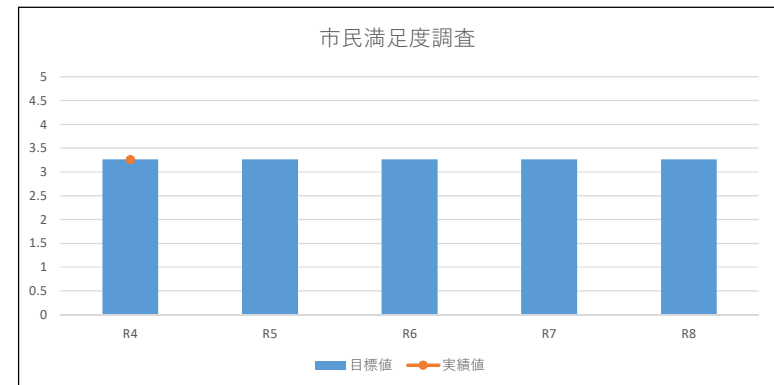
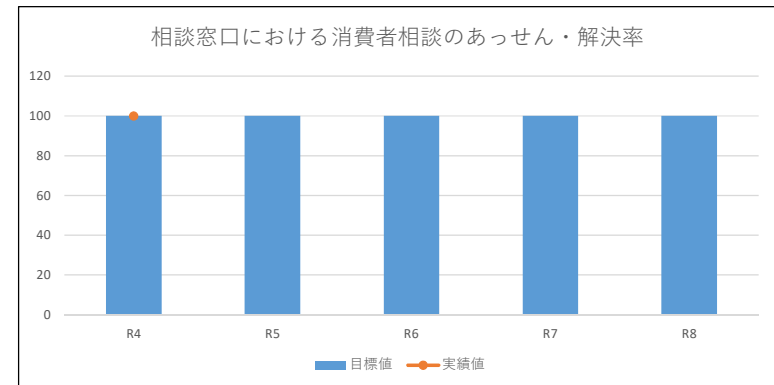
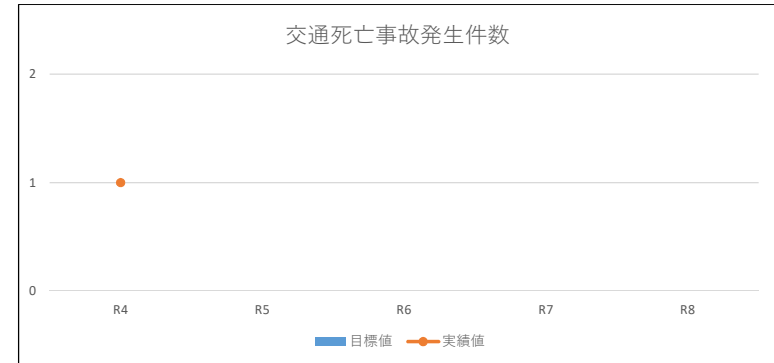
- 各地区からの交通安全施設の整備等の要望に関しては、必ず現場確認を実施、必要性の有無を判断して早急に対応している。
- 各季交通安全運動や、子どもや高齢者を対象とした交通安全教室及び安全講話の実施により、通学児童の安全確保や高齢者の安全意識の向上を図っている。
- 消費生活センターに相談員を配置し、消費者からの相談に対し解決に向けた支援を行うとともに、啓発活動による消費者被害の未然防止活動を行っている。

●課題

- 各地区から交通安全整備に関する要望が多いため、優先順位を付して実施している。コスト面も含め、すべての要望には対応できない状況である。
- 高齢化により、交通弱者となる高齢者の増加が想定されるため、交通事故防止が喫緊の課題となっている。
- 特殊詐欺や消費者被害の多くが65歳以上の高齢者であるため、関係課所と連携し被害防止に向けた取り組み強化が必要である。

●今後の取組の方向性

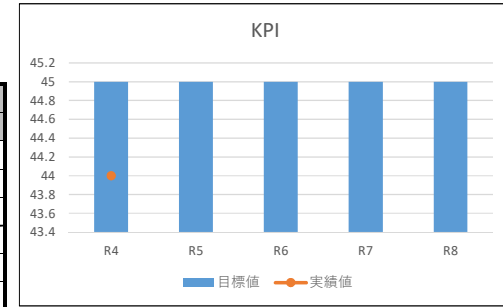
- 交通安全施設の充実  
地区要望や交通事故の発生状況を踏まえ、交通事故発生要因を減らすため更なる交通安全施設の整備を進める。
- 交通安全に対する意識啓発  
子どもや高齢者等の交通弱者を対象とした交通事故防止が重要となることから、警察、交通安全協会等関係機関と協働して、交通安全教育の充実を図る。
- 消費者に向けた啓発活動  
特殊詐欺、消費者被害を未然に防ぐため、警察や関係機関と連携した街頭啓発、ホームページからの情報発信による啓発活動と、出前講座等による消費者教育を進める。



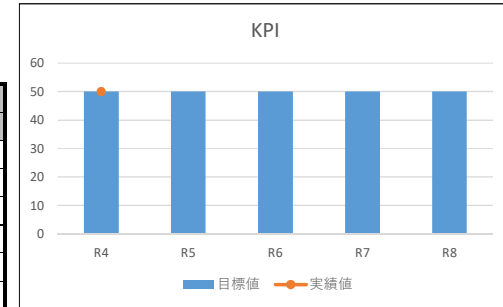
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

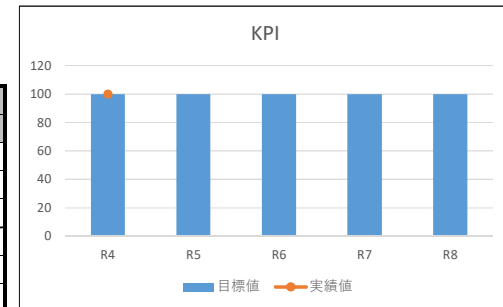
事業名	交通安全施設整備事業	担当課・係	建設課 交通安全係			
事業概要 現状	各地区からの交通安全施設の整備等の要望に関しては、必ず現場確認を実施、必要性の有無を判断して早急に対応している。					
課題	各地区から交通安全整備に関する要望が多いため、優先順位を付して実施している。コスト面も含め、すべての要望には対応できない状況である。					
	単位	件				
	目標	45	45			
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	97.8%		
	今後の取組の方向性	地区要望や交通事故の発生状況を踏まえ、交通事故発生要因を減らすため更なる交通安全施設の整備を進める。				
KPI						
交通安全施設の要望件数に対する対応及び維持修繕件数						
KPI・必要経費 経年比較						
単位	件	R4	R5	R6	R7	R8
目標	45	45	45	45	45	45
実績	44					
達成率	97.8%					
必要経費(千円)						
予算額	26,237	26,237				
決算額	26,054	26,054				



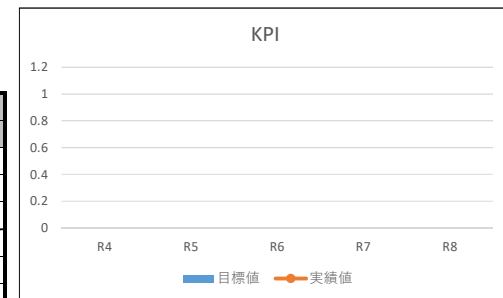
事業名	一般事業(交通安全啓発)	担当課・係	建設課 交通安全係			
事業概要 現状	各季交通安全運動や、子どもや高齢者を対象とした交通安全教室及び安全講話の実施により、通学児童の安全確保や高齢者の安全意識の向上を図っている。					
課題	高齢化により、交通弱者となる高齢者の増加が想定されるため、交通事故防止が喫緊の課題となる。					
	単位	回				
	目標	50	50			
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	100.0%		
	今後の取組の方向性	子どもや高齢者等の交通弱者を対象とした交通事故防止が重要となることから、警察、交通安全協会等関係機関と協働して、交通安全教育の充実を図る。				
KPI						
交通安全講習開催回数						
KPI・必要経費 経年比較						
単位	回	R4	R5	R6	R7	R8
目標	50	50	50	50	50	50
実績	50					
達成率	100.0%	100.0%				
必要経費(千円)						
予算額	1,342	1,342				
決算額	1,342	1,342				



事業名	消費生活センター運営事業	担当課・係	市民課市民窓口係			
事業概要 現状	消費生活センターに相談員を配置し、消費者からの相談に対し解決に向けた支援を行うとともに、啓発活動による消費者被害の未然防止を図る。					
課題	特殊詐欺や消費者被害の多くが65歳以上の高齢者のため、関係課所と連携し被害防止に向けた取り組み強化が必要である。					
	単位	%				
	目標	100	100			
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	100.0%		
	今後の取組の方向性	特殊詐欺、消費者被害を未然に防ぐため、警察や関係機関と連携した街頭啓発、広報やホームページからの情報発信、出前講座等による消費者教育を実施する。				
KPI						
相談窓口における消費者相談のあっせん・解決率						
KPI・必要経費 経年比較						
単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
目標	100	100	100	100	100	100
実績	100					
達成率	100.0%	100.0%				
必要経費(千円)						
予算額	3,632	3,632				
決算額	3,052	3,052				



事業名		担当課・係				
事業概要 現状						
課題						
	単位					
	目標					
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率			
	今後の取組の方向性					
KPI						
KPI・必要経費 経年比較						
単位		R4	R5	R6	R7	R8
目標						
実績						
達成率						
必要経費(千円)						
予算額						
決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	㊤ まちの賑わい創出	主関連課	すわっチャオ
集まる賑わい、つながる賑わい			
関連する重点目標	人と投資を呼び込む	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
駅前交流テラスすわっチャオ貸館利用件数	件	目標値	2,940	3,080	3,220	3,360	3,500
		実績値	3,618				
		達成率(達成度)	123.1%				
			非常に順調				
コワーキングスペース登録有料会員数	者	目標値	21	22	23	24	24
		実績値	26				
		達成率(達成度)	123.8%				
			非常に順調				
駅前駐車場利用台数(定期利用除く)	台	目標値	110,000	120,000	120,000	120,000	120,000
		実績値	88,071				
		達成率(達成度)	80.1%				
			順調				
市民満足度調査(R5年度調査比向上)	-	目標値	3.08	3.08	3.08	3.08	3.08
		実績値	3.08				
		達成率(達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

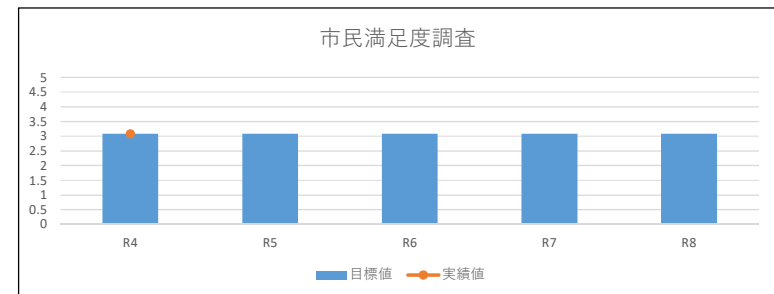
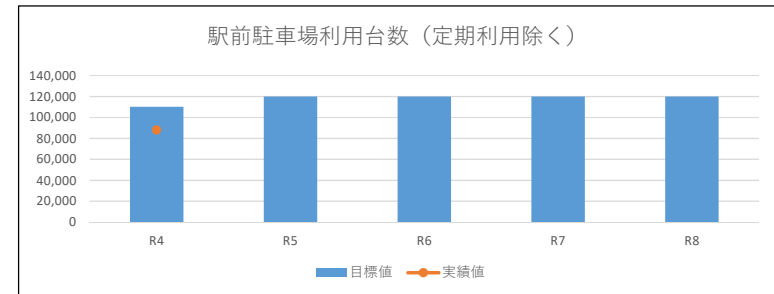
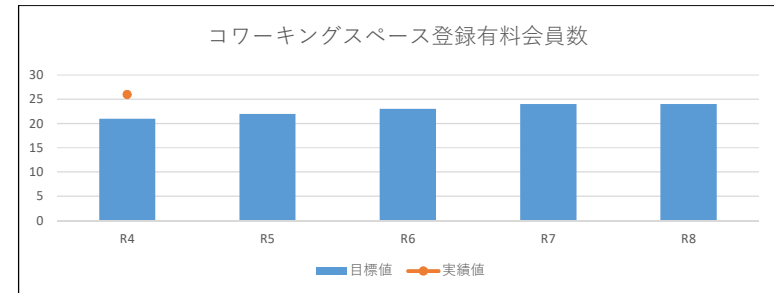
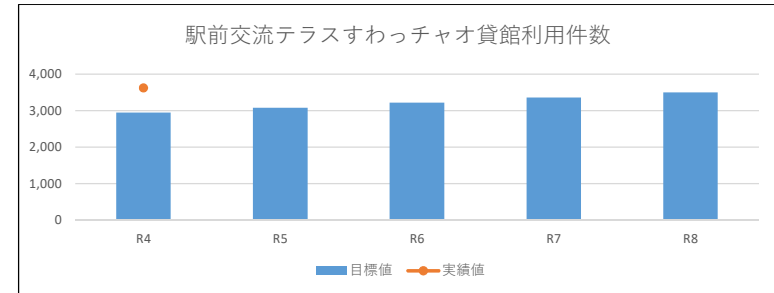
- ・駅前交流テラスすわっチャオ貸館利用件数は前年比165%、使用料収入が前年比170%と貸館利用実績は大幅に増加。オンライン配信の活用、駅前関係者などと新たな連携事業を実施した。
- ・商店街等が顧客獲得のために実施するセール等のPRイベント事業に対して補助し、イベントによる市内商店街の振興を図った。
- ・諏訪湖イベントひろば(旧東洋バルヴ諏訪工場跡地)の活用に向けて、令和3年度に策定した基本計画を基に、産業振興機能の具体化や民間参入領域の条件検討を行う。令和4年度は、民間活用の可能性を探るため、試行活用の募集を行った。
- ・令和4年度に未来ビジョン策定会議を計6回実施し、「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」を策定した。また令和4年度までに、エキまちカイギを計6回実施し、まちづくりの機運醸成を図った。

●課題

- ・駅前交流テラスすわっチャオ貸館利用件数の増加に伴い、会議室など予約が取りにくい状況がある。また駅周辺地区とそれ以外で利用差があり、市内全域の認知度及び利用率の向上が課題。
- ・商店街を維持していくため、イベントは集客という目に見える効果はあるが、商店街が衰退傾向であるなかで商店街の独自財源での開催は難しく、市の補助が必要である。
- ・諏訪湖イベントひろばの活用は民間参入により実現する事業であるため、基本計画に定められた内容をより具体化し、民間事業者へのヒアリングを実施しながら整備内容を固めていく必要がある。また、併せて文化センターや駅西口広場など、駅周辺の一体的整備が必要となっている。
- ・未来ビジョンの実現のためには、公民がそれぞれの特性を活かした役割を担い、連携・協働・コミットメントをしていく必要がある。

●今後の取組の方向性

- ・予約が空いている時間帯を見つけやすくし、フリー・イベントスペースの部分貸しなど、利便性向上に取り組むとともに、施設のイベント情報を効果的に発信していく取り組みを進める。
- ・商店街を維持していくためにイベント開催への補助をするとともに、新規要素を取り入れた集客力・販売力が見込まれるイベントとなるよう助言等していく。
- ・文化センターや駅西口広場を含めた駅周辺の一体的整備として内容を検討していくとともに、早急に産業振興機能の具体化を進め、民間事業者へのヒアリングや関係団体等との調整を行い、整備方針の策定を行う。
- ・令和5年度中に、公と民をつなぐ連携体制(エリアプラットフォーム)を構築する。
- ・未来ビジョンに掲げた10年後の姿を見据え、段階的に各プロジェクトの検討や試行を進める。

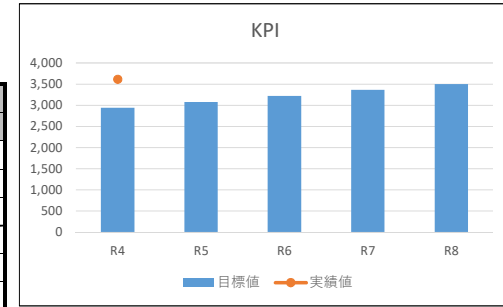




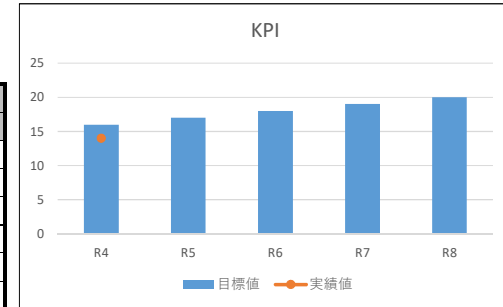
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

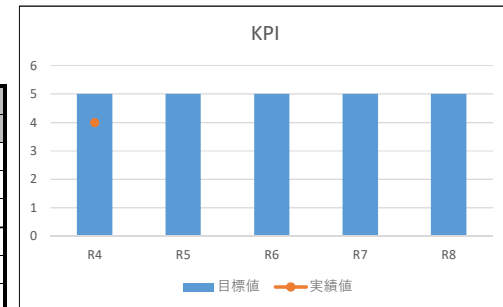
事業名	駅前交流テラスすわっチャオ管理運営事業	担当課・係	駅前交流テラスすわっチャオ企画運営係
事業概要 現状	貸館利用件数は前年比165%、使用料収入が前年比170%となり、貸館利用実績は大幅に増加している。また、オンライン配信の活用や駅前関係者や小学生保護者、高校生などと新たな枠組みでの連携事業を実施し、駅周辺の賑わいを創出した。		
課題	貸館利用件数の増加に伴い、会議室や和室など予約が取りにくい状況がある。また、駅周辺地区とそれ以外の地区で利用状況に差があり、市内全域での施設認知度及び利用率を向上していくことが課題である。		
	単位	件	KPI
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	目標	2,940	R4
今後の取組 の方向性	実績	3,618	R5
	達成率	123.1%	R6
	必要経費(千円)		R7
	予算額	67,867	R8
	決算額	63,231	



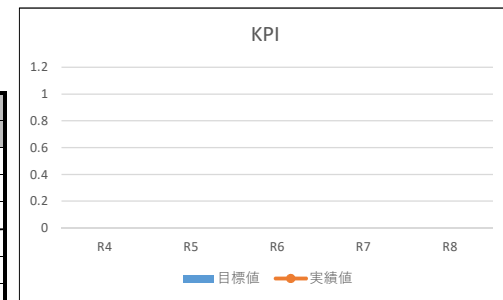
事業名	商店街活性化事業	担当課・係	商工課商業振興係
事業概要 現状	商店街等が顧客獲得のために実施するセール等のPRイベント事業に対して補助し、イベントによる市内商店街の振興を図る。		
課題	商店街を維持していくため、イベントは集客という目に見える効果はあるが、商店街が衰退傾向であるなかで商店街の独自財源での開催は難しく、市の補助が必要である。		
	単位	件	KPI
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	目標	16	R4
今後の取組 の方向性	実績	14	R5
	達成率	87.5%	R6
	必要経費(千円)		R7
	予算額	3,500	R8
	決算額	1,939	



事業名	諏訪湖イベントひろば整備事業	担当課・係	企画政策課企画政策係
事業概要 現状	諏訪湖イベントひろば(旧東洋バルブ諏訪工場跡地)の活用に向けて、令和3年度に策定した基本計画を基に、産業振興機能の具体化や民間参入領域の条件検討を行う。令和4年度は、民間活用の可能性を探るため、試行活用の募集を行った。		
課題	民間参入により実現する事業であるため、基本計画に定められた内容をより具体化し、民間事業者へのヒアリングを実施しながら整備内容を固めていく必要がある。また、併せて文化センターや駅西口広場など、駅周辺の一体的整備が必要となっている。		
	単位	者	KPI
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	目標	5	R4
今後の取組 の方向性	実績	4	R5
	達成率	80.0%	R6
	必要経費(千円)		R7
	予算額	0	R8
	決算額	0	



事業名		担当課・係	
事業概要 現状	KPI		
課題	KPI - 必要経費 経年比較		
	単位		R4
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	目標		R5
今後の取組 の方向性	実績		R6
	達成率		R7
	必要経費(千円)		R8
	予算額		
	決算額		



基本方針効果検証			
基本方針	㊸ 多様な市民の参画	主関連課	地域戦略・男女共同参画課
多様な人材が活躍できる環境整備			
関連する重点目標	人と投資を呼び込む	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
移住サポートによる移住定着率	%	目標値	23.0	23.5	24.0	24.5	25.0
		実績値	20.1				
		達成率(達成度)	87.4%	順調			
ふるさと寄附体験型返礼品寄附金比率	%	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
		実績値	13.8				
		達成率(達成度)	55.2%	努力が必要			
委員会、審議会等における女性登用率	%	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
		実績値	34.8				
		達成率(達成度)	87.0%	努力が必要			
市民満足度調査(R5年度調査比向上)	-	目標値	3.11	3.11	3.11	3.11	3.11
		実績値	3.11				
		達成率(達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

○移住  
 諏訪圏移住交流促進事業連絡会と連携を取りながら、移住促進事業を実施している

○ふるさと寄附  
 ポータルサイトを充実させるなど寄附増額に向けて取り組んでいる。

○男女共同参画  
 委員会、審議会における女性の登用率は、令和4年4月時点で34.8%である。(目標値40%以上)

●課題

○移住  
 新型コロナウイルス感染症の影響による生活スタイルの変化で、首都圏からの移住が増えている中、移住セミナー等に対面式、ウェブやオンライン等のツールを活用した相談会に参加し、一定の成果を得ているが、更なる効果的な情報発信が求められる。

○ふるさと寄附  
 ふるさと寄附返礼品にアウトドアの体験型や地場産品を追加して、寄附増額を目指す。

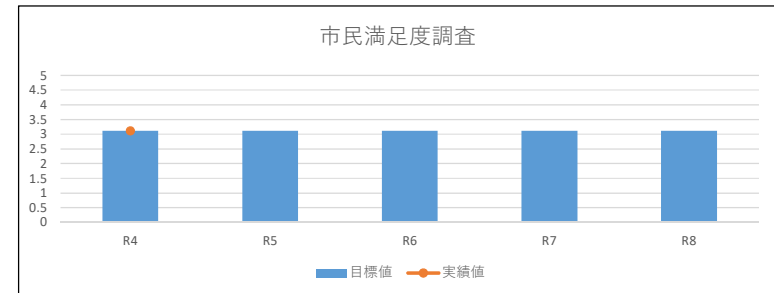
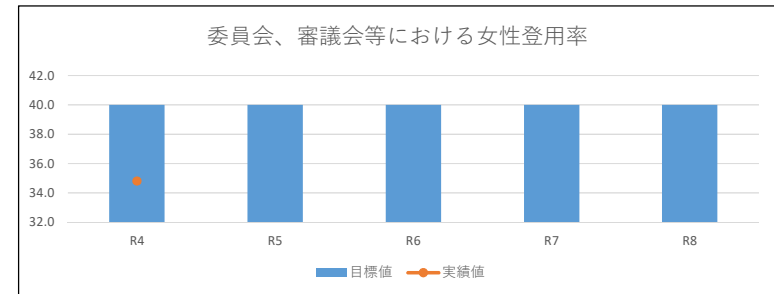
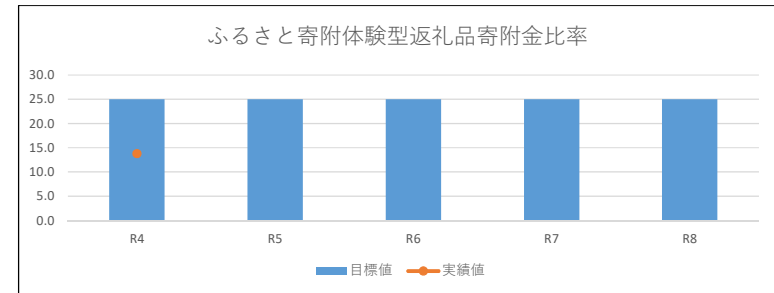
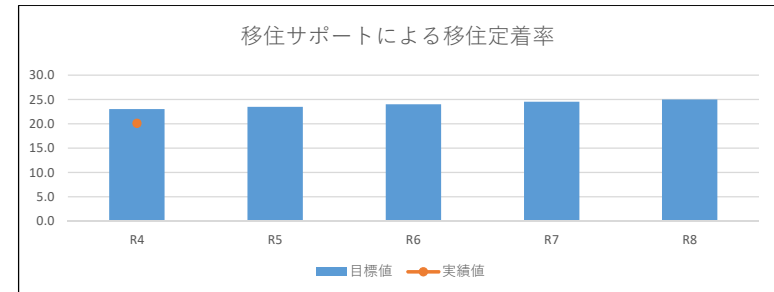
○男女共同参画  
 委員会、審議会における女性の登用率は、目標値40%以上を掲げているが達成できていない。委員構成の変更等を積極的に行う必要がある。

●今後の取組の方向性

○移住  
 UIJターン補助金において18歳未満の子どもについて増額したことを周知して移住促進を図る。

○ふるさと寄附  
 新たなポータルサイトを追加することで、寄附増額を図る。

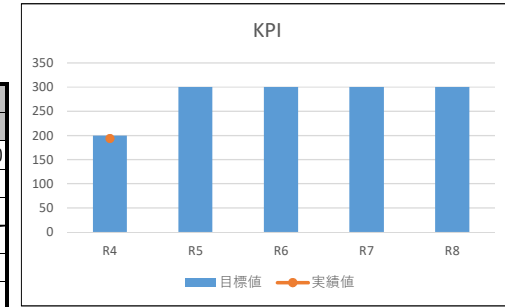
○男女共同参画  
 第7次諏訪市男女共同参画計画(男女いきいき諏訪プランⅦ)に基づき、男女共同参画の意識啓発に向けて情報を発信していく。



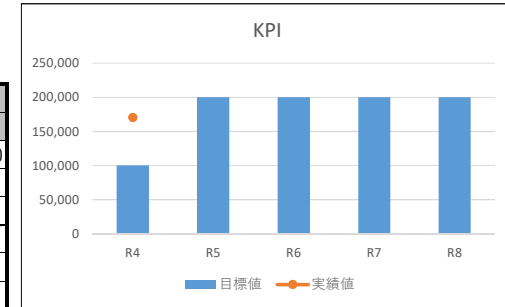
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

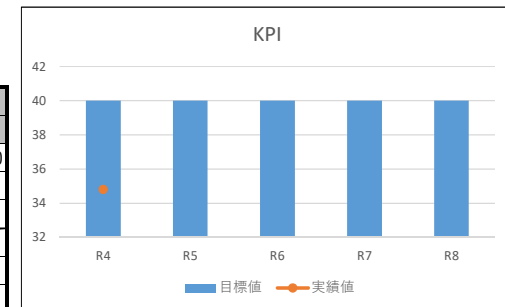
事業名	移住交流促進事業	担当課・係	地域戦略・男女共同参画課地域戦略係					
事業概要 現状	首都圏等で開催される移住イベント、セミナー等における移住相談や、ホームページ等を通じた情報提供により、諏訪市への移住・定住を促進する。							
課題	移住促進に繋がる補助金が各種あるが、更なる拡充と、認知度が低いいため、効果的な情報発信に取り組む必要がある。	KPI						
		セミナー等での相談者数						
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了						
		達成率 97.0%						
今後の取組 の方向性	移住促進事業の実施にあたっては諏訪圏移住交流推進事業連絡会と連携を図り、生活圏域である諏訪地域の魅力を伝えつつ新たな事業展開を検討していく。 長野県で実施している「おためしナガノ」事業において諏訪市に移住希望のある者に対し、最大6カ月間の家賃を補助し、移住しやすい環境を整える。商工課と連携しUIターン就業・創業移住支援事業による移住希望者の就業や創業に係る支援を実施する。	必要経費(千円)						
		予算額	3,349	3,349				
		決算額	1,453	1,453				



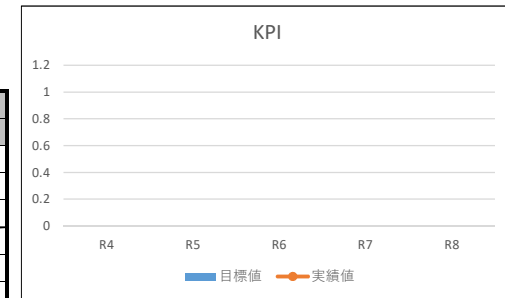
事業名	ふるさと寄附金事業	担当課・係	地域戦略・男女共同参画課地域戦略係					
事業概要 現状	諏訪市民以外の方で諏訪市を応援したい、諏訪市に貢献したいとの想いを実現することを主として設けられた寄附金税制を活用して、市の寄附金収入の増加及び地域経済の活性化を図るために、積極的に寄附を募るとともに、諏訪市の土産品を中心とした特産物等をお礼の品として寄附者にお贈りし、諏訪市の魅力を発信する。							
課題	お礼の品の新たな掘り起こしや登録した品の魅力が100%発信できていないため、より効率的に事務を進めるための手法やシステム導入を検討し、諏訪市の魅力をよりPRできる品を増やしていく。	KPI						
		寄附金額						
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了						
		達成率 170.5%						
今後の取組 の方向性	新たなポータルサイトを追加し、諏訪市の自然やアウトドアなどの体験型ツアーやサービス提供型などの返礼品を拡充することにより、寄附金額の増加を目指す。	必要経費(千円)						
		予算額	268,207	268,207				
		決算額	224,882	224,882				



事業名	男女共同参画推進事業	担当課・係	地域戦略・男女共同参画課男女共同参画係					
事業概要 現状	諏訪市男女共同参画計画「男女いきいき諏訪プランVI」に基づき、男女共同参画社会の形成に向け市民と協働して事業を実施する。							
課題	市民団体の委員のなり手不足や高齢化により組織の維持継続が危ぶまれる中ではあるが、協働しながら継続的に啓発活動を行うことにより「ワークライフバランス」「女性活躍推進」への意識改善を行う必要がある。	KPI						
		委員会・審議会等への女性の参画状況(4/1時点)						
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了						
		達成率 87.0%						
今後の取組 の方向性	令和5~9年度の5ヶ年間を期間として策定した「男女いきいき諏訪プランVII」に基づき「いきいき市民推進チーム☆輝くSUNA」等の市民団体や関連企業と協働で、様々な視点からあらゆる分野に啓発活動を実施する。 区長に対し意識アンケートを行うなど、男女共同参画推進のための効果的な情報発信について「いきいき市民推進チーム☆輝くSUNA」と協働で検討を行う。	必要経費(千円)						
		予算額	1,385	1,385				
		決算額	1,093	1,093				



事業名		担当課・係						
事業概要 現状	KPI							
課題		KPI・必要経費 経年比較						
		単位		R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標						
		実績						
今後の取組 の方向性		必要経費(千円)						
		予算額						
		決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	③ 持続可能な地域	主関連課	地域戦略・男女共同参画課
地域活動の活性化による持続可能な自治			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
区・自治会への加入率	%	目標値	87	87	87	87	87
		実績値	82.2				
		達成率 (達成度)	94.5% 順調				
多国籍市民相談窓口の年間相談件数	件	目標値	800	800	800	800	800
		実績値	587				
		達成率 (達成度)	73.4% 努力が必要				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.12	3.12	3.12	3.12	3.12
		実績値	3.12				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

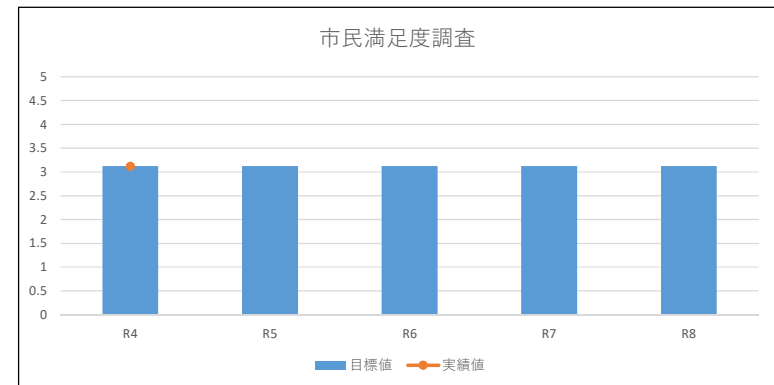
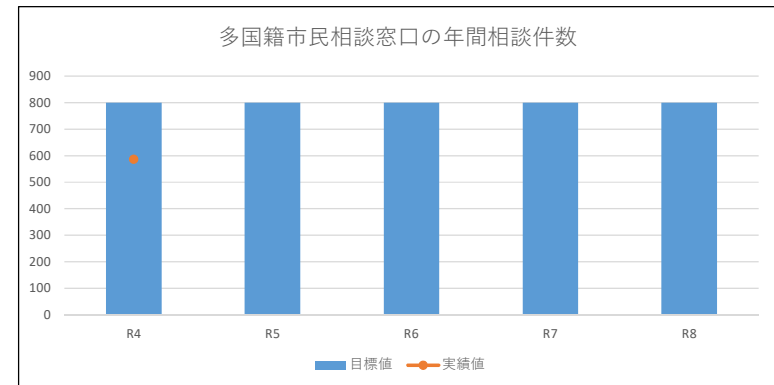
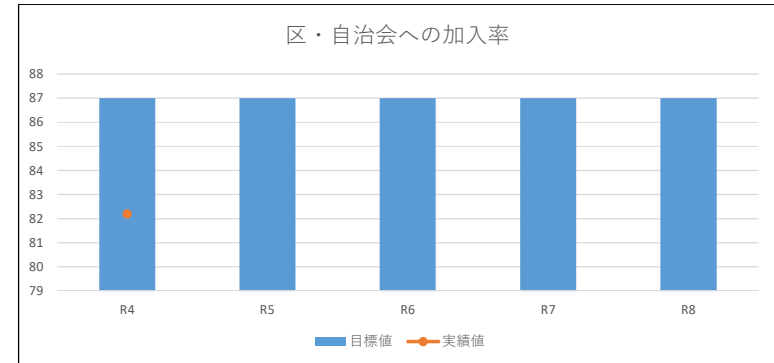
・地域福祉や防災など、複雑多様化する地域課題に対し、身近なコミュニティ組織である区・自治会が果たす役割の重要性が増している。  
 ・一方で区・自治会は、役員の担い手不足や負担感の増大などの従来型の課題に加え、長引くコロナ禍の影響等により、地域活動の停滞・縮小のリスクが急速に高まっている。  
 ・持続可能な地域社会を実現するためには、区や自治会さらにはまちづくり団体といった住民自らの主体的な活動を支援する必要があり、この活動と行政が連携し協働した取組を進めることが必要である。

●課題

・人口減少・少子高齢化により、一部の地域では地域力が低下し、それぞれの役割に応じた連携・協働の取組が必要になっている。  
 ・地域力の違いにより、複雑多様化する課題に向けた解決力の地域間格差が顕著になっている。  
 ・生活様式の変化や価値観の多様化等による複合的な要因により、地域力の向上に必要な区や自治会への加入率が低下傾向にある。  
 ・小規模世帯の区が点在する地域を中心に、近隣地域と連携した取組や組織作りが求められている。

●今後の取組の方向性

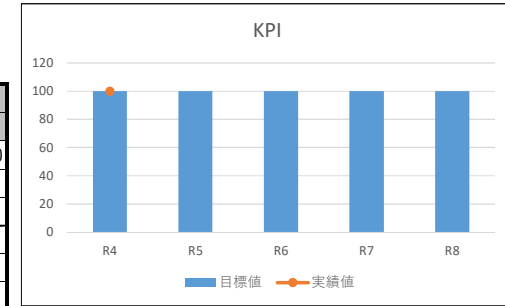
・複雑多様化する地域課題の解決を図るほか、将来を見据えた区長懇談の開催等により、近隣地域との協力連携の取組を支援する。  
 ・将来の地域を担う若者やまちづくり団体等が主体となって行う活動を支援するとともに、助成制度等により、将来のまちづくりを担う人材の育成を図る。  
 ・外国籍市民相談窓口を通じて外国籍市民及び地域住民双方からの相談に対応し、多文化共生社会の実現を推進する。  
 ・「協働の取組の基本方針」に基づき、住民（市民・自治会・ボランティア団体、NPO法人等）と行政が協働の取組を進めることにより、地域課題の解決を図る。



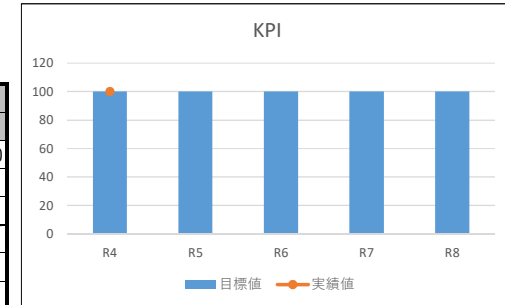
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

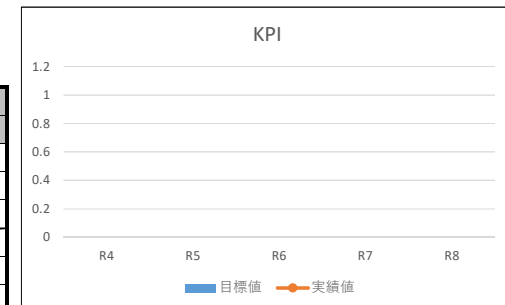
事業名	がんばる地域支援金	担当課・係	地域戦略・男女共同参画課地域支援係
事業概要 現状	地域が抱える諸課題の解決に取り組む区及び自治会に対して支援金を交付することにより、区及び自治会の主体的な取組を後押しし、もって地域力の向上を図る。		
課題	区・自治会など地域が果たす役割の重要性が増している中、複雑多様化する地域課題の解決のため、区や自治会に対する財政的支援により、地域力の向上を推進する必要がある。		
	単位	%	
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	
	達成率	100.0%	100.0%
今後の取組 の方向性	区や自治会の主体的な取組に対する財政的支援は、持続可能な地域社会を実現するために有効な施策であり、継続実施する。		
	必要経費(千円)		
	予算額	2,700	2,700
	決算額	1,690	1,690



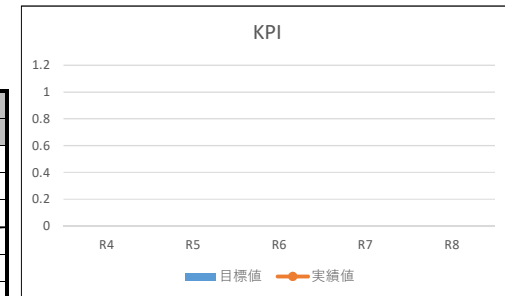
事業名	SUWAを磨くまちづくり支援金	担当課・係	地域戦略・男女共同参画課地域支援係
事業概要 現状	まちづくり事業を実施する市民や若者を中心に構成された団体に対して支援金を交付することにより、まちづくりを担う人材を育成するとともに、市民及び若者による主体的な活動を支援し、魅力と活力に溢れる市民主役のまちづくりを推進する。		
課題	人口減少社会において持続可能な地域社会を実現するためには、まちづくり団体など市民の主体的な活動を後押しし、将来のまちづくりを担う人材を育成することが重要である。		
	単位	%	
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	
	達成率	100.0%	100.0%
今後の取組 の方向性	市民が主体となつて行う地域活性化の取組に対する支援は、市民からもニーズがあり、将来のまちづくりを担う人材育成を推進する観点からも有効な施策であるため、継続実施する。		
	必要経費(千円)		
	予算額	1,000	1,000
	決算額	200	200



事業名		担当課・係	
事業概要 現状	KPI		
課題	KPI・必要経費 経年比較		
	単位	%	
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	
	達成率		
今後の取組 の方向性	必要経費(千円)		
	予算額		
	決算額		



事業名		担当課・係	
事業概要 現状	KPI		
課題	KPI・必要経費 経年比較		
	単位	%	
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	
	達成率		
今後の取組 の方向性	必要経費(千円)		
	予算額		
	決算額		



基本方針効果検証			
基本方針	③ 健全財政	主関連課	財政課
行政資源の効果的活用			
関連する重点目標	気持ちいい、心地いいまちづくり	新たな時代への対応	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
将来負担比率 (※前年度については速報値)	%	目標値	76.0	73.0	70.0	67.0	64.0
		実績値	56.5				
		達成率 (達成度)	134.5% 非常に順調				
財政調整基金・減債基金残高 (目標値以上)	億円	目標値	25	25	25	25	25
		実績値	31				
		達成率 (達成度)	124.0% 非常に順調				
公共施設の総延床面積 における縮減率	%	目標値	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0
		実績値	7.0				
		達成率 (達成度)	116.7% 非常に順調				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	2.96	2.96	2.96	2.96	2.96
		実績値	2.96				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

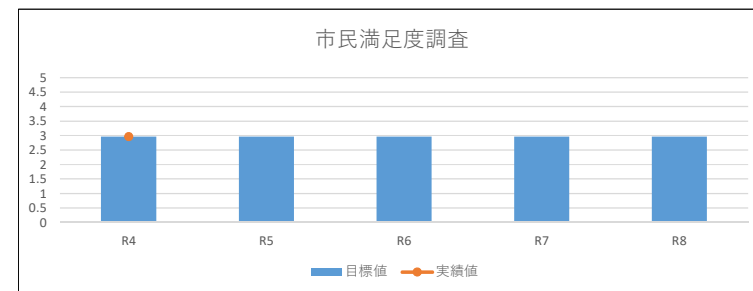
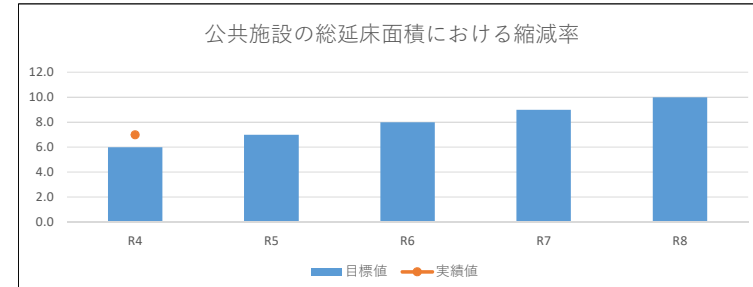
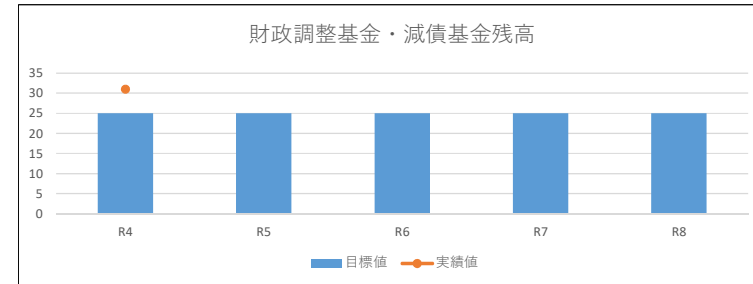
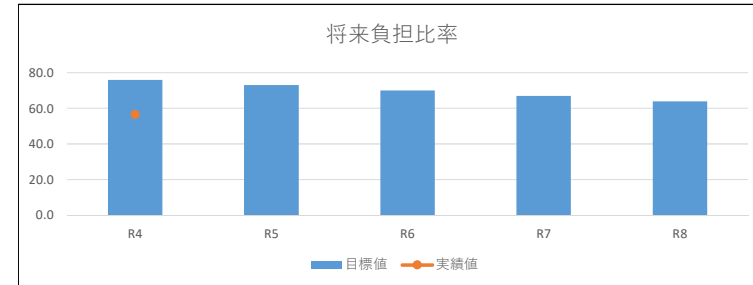
- ・諏訪市土地開発公社の経営健全化に関する計画（第2期：R3～R7）に基づき、毎年概ね2億円程度の優先かつ計画的な買戻しを実施している。
- ・市ホームページへのバナー広告導入、広報すわ、公用車への広告掲載、しんきん諏訪湖スタジアムにおけるネーミングライツ、企業版ふるさと納税、クラウドファンディングなどにより、自主財源の確保を進めている。
- ・現年課税分の徴収強化を最重要課題として、①早期着手、②滞納者の意識改善、③滞納整理の効率化の三点を基本方針として滞納整理に取り組み、収納率向上を目指す。
- ・超低金利状況の中で複数基金の合算による一体的な資金運用や、環境改善やSDGsを推進するためのグリーンボンド及びジェンダーボンド(ESG債券)を購入するなど効果的な運用を行っている。

●課題

- ・用地保有（令和4年度末保有地：57,108㎡）が長期化し、簿価（合計3,526百万円）上昇等により、公社の経営状況悪化の一因となり、将来負担比率にも大きな影響が生じる恐れがある。
- ・いかなる財政状況下においても、将来にわたり持続可能な財政運営を進めていくため、安定的な財源の確保が必要である。市税が中心となるが、それ以外の様々な方策により自主財源の確保を進めていくことが重要。
- ・市が提供する公共サービス等の水準を維持しつつ、健全な財政運営ができるよう税収の確保に努める。また、納税の公平性の観点から地方税法に基づき適切な徴収に取り組む。
- ・近年、新規採用職員応募者数が減少傾向にあり、また一般企業の内定も年々早くなっているため、安定的な人材確保が課題となっている。

●今後の取組の方向性

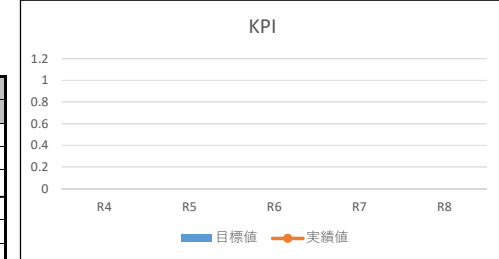
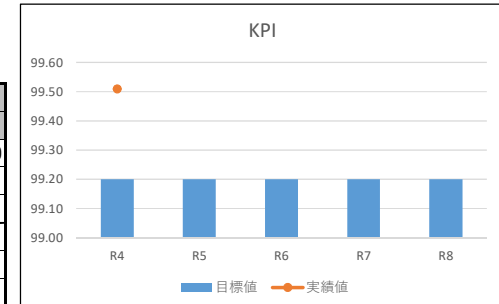
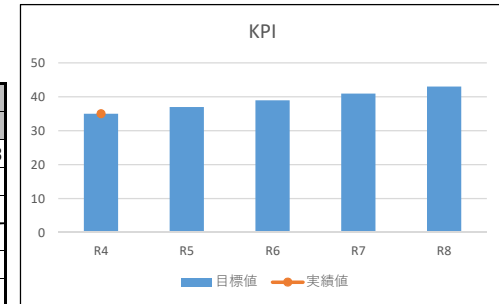
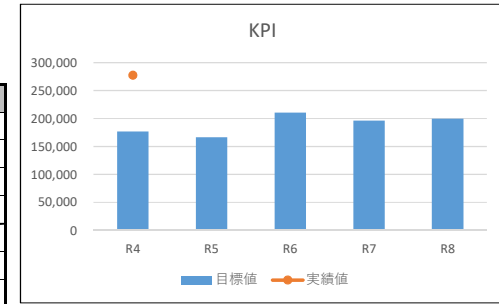
- ・令和5年度以降も健全化計画に基づき計画的な買戻しを継続し、令和7年度末には健全化計画の目標である簿価3,100百万円以下を達成できるように努める。
- ・引き続き市ホームページへのバナー広告、広報すわや市の刊行物、公用車への広告掲載、企業版ふるさと納税、クラウドファンディングなどを積極的に導入し、更なる自主財源の確保に努めていく。
- ・長野県地方税滞納整理機構と連携を深め、適時適切な滞納処分を実施し、滞納額の縮小を図っていく。
- ・口座振替、コンビニ収納、スマホ決済、給与特別徴収、地方税共通納税システムの効果的な運用を図り、自主納付を推進していく。
- ・受験資格等の見直しや首都圏等への積極的なプロモーションにより優秀な人材確保に努める。
- ・各種研修を行い、職員が最大限の能力を発揮することができるように努める。



●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

事業名	土地開発公社健全化事業	担当課・係	財政課管財契約係
事業概要 現状	諏訪市土地開発公社の経営健全化に関する計画（第2期：R3～R7）に基づき、毎年概ね2億円程度の優先かつ計画的な買戻しを実施している。		KPI 健全化計画の計画値に対する達成率（取得金額）
課題	用地保有（令和4年度末保有地：57,108㎡）が長期化し、簿価（合計3,526百万円）上昇等により、公社の経営状況悪化の一因となり、将来負担比率にも大きな影響が生じる恐れがある。		KPI・必要経費 経年比較
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		単位 % R4 R5 R6 R7 R8 目標 100% 177,121 166,420 210,397 196,382 200,000 実績 157% 277,297 達成率 156.6% 156.6%
今後の取組 の方向性	健全化計画に基づき計画的な買戻しを継続する。 ・令和5年度：2,444.64㎡（計画値：166,420千円） ・令和6年度：3,079.57㎡（＃：210,397千円） ・令和7年度：2,864.12㎡（＃：196,382千円）		必要経費（千円） 予算額 277,298 277,298 決算額 277,297 277,297
事業名	自主財源確保の取組	担当課・係	企画政策課企画政策係
事業概要 現状	市ホームページへのバナー広告導入、広報すわ、公用車への広告掲載、しんきん諏訪湖スタジアムにおけるネーミングライツ、企業版ふるさと納税、クラウドファンディングなどにより、自主財源の確保を進めている。		KPI HPバナー広告及び広報すわ広告掲載件数の合算
課題	いかなる財政状況下においても、将来にわたり持続可能な財政運営を進めていくため、安定的な財源の確保が必要である。市税が中心となるが、それ以外の様々な方策により自主財源の確保を進めていくことが重要である。		KPI・必要経費 経年比較
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		単位 件 R4 R5 R6 R7 R8 目標 35 35 37 39 41 43 実績 35 達成率 100.0% 100.0%
今後の取組 の方向性	引き続き市ホームページへのバナー広告、広報すわや市の刊行物、公用車への広告掲載、企業版ふるさと納税、クラウドファンディングなどを積極的に導入し、更なる自主財源の確保に努めていく。		必要経費（千円） 予算額 0 0 決算額 0 0
事業名	市税賦課徴収事業	担当課・係	税務課収納係
事業概要 現状	現年課税分の徴収強化を最重要課題として、①早期着手、②滞納者の意識改善、③滞納整理の効率化の三点を基本方針として滞納整理に取り組み、取納率向上を目指す。		KPI 現年課税分の徴収率
課題	市が実施する公共サービス等の健全な財政運営ができるよう税収を確保する。また、納税の公平性の観点から地方税法に基づき適切な徴収に取り組む。		KPI・必要経費 経年比較
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		単位 % R4 R5 R6 R7 R8 目標 99.20 99.20 99.20 99.20 99.20 実績 99.51 99.51 達成率 100.3% 100.3%
今後の取組 の方向性	全国的に滞納整理方針が訪問徴収から処分による徴収へと変化したことを受け、平成22年に長野県地方税滞納整理機構が設立された。今後も滞納整理機構と連携を深め、適時適切な滞納処分を実施し、滞納額の縮小を図っていく。また、口座振替、コンビニ収納、スマホ決済、給与特別徴収、地方税共通納税システムの効果的な運用を図り、自主納付を推進していく。		必要経費（千円） 予算額 2,766 2,766 決算額 2,766 2,766
事業名		担当課・係	
事業概要 現状			KPI
課題			KPI・必要経費 経年比較
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		単位 目標 実績 達成率
今後の取組 の方向性			必要経費（千円） 予算額 決算額



基本方針効果検証			
基本方針	③ スマート化	主関連課	企画政策課
新時代行政への変革			
関連する重点目標	気持ちいい、心地いいまちづくり	新たな時代への対応	

● K P I

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
市民向けオンライン 手続き件数指標 (R3年を100とする)	件	目標値	150	200	300	400	500
		実績値	151				
		達成率 (達成度)	100.7%	非常に順調			
ICTツールの置換時 間指標 (R3年を100とする)	時間	目標値	200	400	600	800	1,000
		実績値	310				
		達成率 (達成度)	155.0%	非常に順調			
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.16	3.16	3.16	3.16	3.16
		実績値	3.16				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

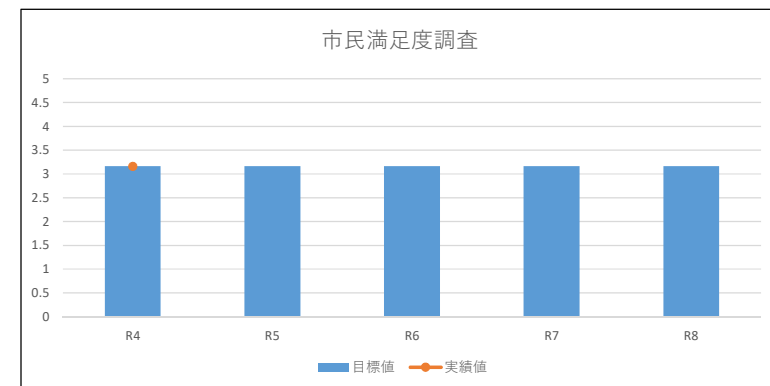
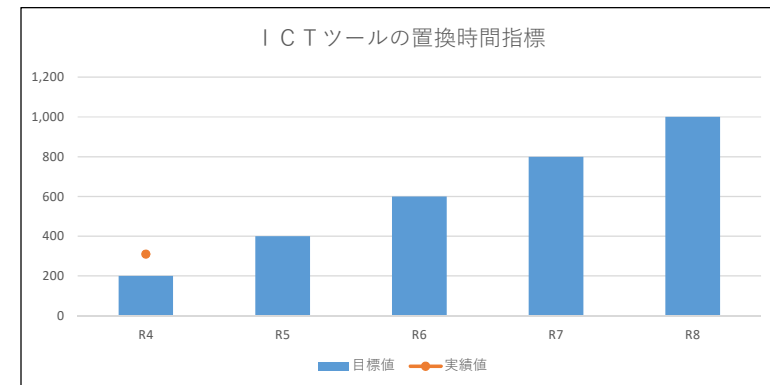
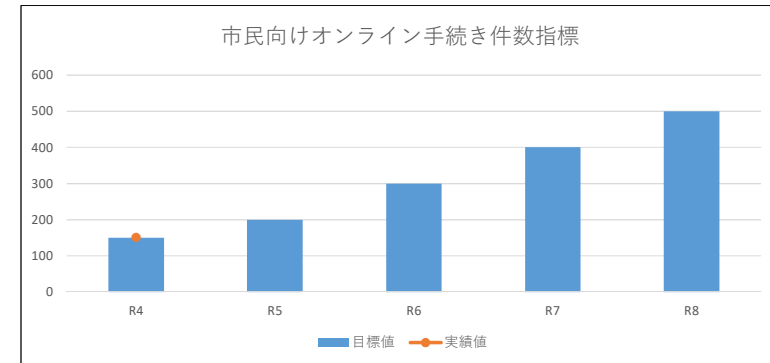
・約3年間に及びコロナ禍を経て、社会全体でデジタル技術の活用が急速に浸透した。行政の領域でもインターネット環境を用いた情報発信や受信、各種手続き、イベント、会議などが一般的な手法となりつつある。  
 ・国の施策としてマイナンバーカードの普及が進み、利活用の方が広がりがつつある。  
 ・少子高齢化の進行に伴い生産年齢人口が減少に向かう中、行政が担う業務は多様化し増加傾向にある。  
 ・2040年に迎える高齢化社会のピークに向かい、令和5年度より地方公務員の定年延長制度が開始となった。

●課題

・人的資源が縮小に向かう中、限られた職員数で安定した行政サービスを提供し続けるため、デジタル技術を適切に活用した「業務スマート化」の必要性が一層高まっている。  
 ・マイナンバーカードを用いた行政手続きの効率化が求められている。  
 ・各種手続きや市からの情報発信などにおいてデジタル技術の活用が進む中でも、誰一人取り残さない手法であることが一層重要になっている。  
 ・将来に亘り市役所が安定的な組織運営を維持するため、組織の年齢構成の変化を見越した中長期的な計画に基づく職員確保と最適な職員配置が重要になっている。

●今後の取組の方向性

・コロナ感染症の影響により社会全体に浸透したデジタル技術を行政においても十分に活用し、市民目線に立ったサービス向上に努める。情報発信と情報受信の双方を充実させることにより、市民の声をきめ細やかに反映させた施策を検討する。  
 ・「誰一人取り残さない」DX推進を念頭に、ICTツール活用により組織に生み出される時間を、直接的な市民対応など人にしか出来ない仕事に充てられる組織体制を目指す。  
 ・マイナンバーカードを用いた行政手続きの利便性拡大、住民行政に関わる自治体情報システムの全国標準化に向けて国の方針に基づき対応を進める。  
 ・人口減少社会における組織運営を見越した職員確保と職員配置を念頭に組織運営を行う。

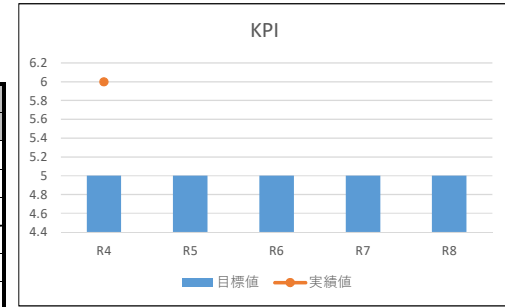




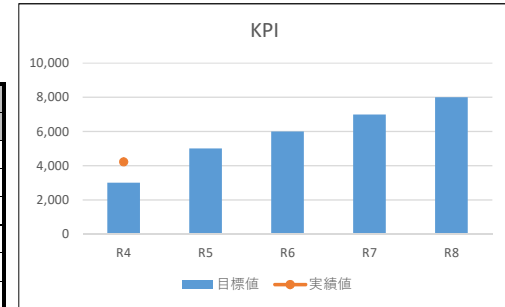
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

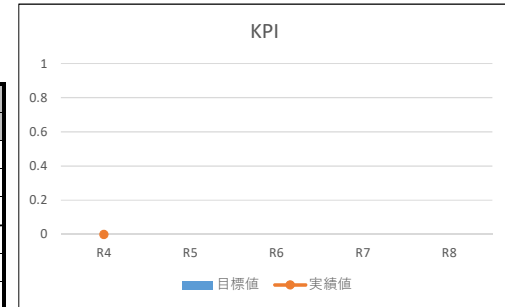
事業名	業務スマート化プロジェクト	担当課・係	企画政策課スマート化推進係
事業概要 現状	将来に亘り市役所の業務を維持できるスマート自治体を目指し、ICTを活用して市民誰一人取り残さない行政サービスの充実、効率化を目指す取組である。統合型GIS・公開型GISの稼働、市民課窓口におけるキャッシュレス決済の導入等を実施している。		
課題	DX推進のための基礎的なツールやサービスの導入が進み、より市民目線でそれらをどう活用していくか検討が必要な段階に入っている。職員が働きやすい環境づくりによる業務効率化も課題である。		
	KPI DX推進に推進に向けた新規取組（達成）事項の件数		
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	達成率 120.0%		
今後の取組 の方向性	令和5年度に新たに設置した「業務スマート化推進委員会」及び下部組織の部会、分科会を通じて、部局横断的な推進体制を構築し、全庁でDXを推進する。		
	必要経費（千円）		
	予算額	16,573	16,573
	決算額	13,151	13,151



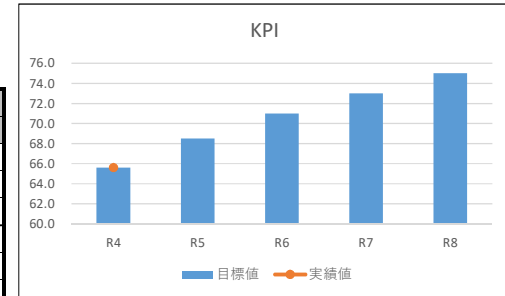
事業名	ソーシャルメディアを活用した情報発信強化事業	担当課・係	秘書広報課広報戦略係
事業概要 現状	令和3年度から市公式LINEアカウントの運用を開始し、市からの情報を発信している。令和4年度は、長野県市町村自治振興組合の共同調達により、LINE公式アカウント連携ツールを導入し機能拡張を行った。		
課題	災害等の緊急時をはじめとして、市からの情報を迅速に、多くの市民に伝達できるよう、登録者をさらに増やしていく必要がある。		
	KPI 市公式LINEアカウント登録者数		
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	達成率 140.8%		
今後の取組 の方向性	市主催イベントや講座等の機会を捉えて登録促進の取組を行っていく。LINEの即時性を活かし、必要な情報が迅速に伝達できるよう、これまで秘書広報課が行っていた配信を担当課からの配信に切り替える。		
	必要経費（千円）		
	予算額	851	851
	決算額	851	851



事業名	電子計算機処理事業	担当課・係	企画政策課スマート化推進係
事業概要 現状	住民基本台帳、税務、福祉等行政の基盤業務をシステム処理する事業であり、諏訪広域6市町村で共同構築した基幹業務システムを一括管理し、効果的な運用を行っている。		
課題	令和7年度末の自治体の情報システムの標準化・共通化に向けた準備を計画的に進め、システムの変更によるサービスの停滞や混乱を招かないよう課題解決を図る必要がある。		
	KPI 住民生活に深刻な影響を与えるインシデント発生件数		
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	達成率 100.0%		
今後の取組 の方向性	自治体の情報システムの標準化・共通化に向けた市としての準備と、諏訪広域6市町村での協力連携による準備を並行して進めていく。		
	必要経費（千円）		
	予算額	159,515	159,515
	決算額	140,962	140,962



事業名	マイナンバーカード交付事業	担当課・係	市民課市民係
事業概要 現状	各種行政手続きのオンライン申請やマイナンバーカードの保険証利用等、利便性の拡大等に関する情報を提供し、カードの交付枚数率のさらなる向上を図る。		
課題	手続きのため市役所に来ることが困難な方（主に高齢者）への対応が課題である。		
	KPI 交付枚数率の向上		
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		
	達成率 100.0%		
今後の取組 の方向性	令和5年3月末において、交付枚数率は65.6%である。今後は、申請者への交付勧奨のほか、代理交付の要件緩和等による高齢者向けの機会の提供が必要である。		
	必要経費（千円）		
	予算額	35,354	35,354
	決算額	28,808	28,808



基本方針効果検証			
基本方針	③ 広域連携	主関連課	企画政策課
圏域全体が連携してめざす諏訪の地域力向上			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
諏訪広域連合が処理する 事務件数 (目標値以上)	件	目標値	15	15	15	15	15
		実績値	15				
		達成率 (達成度)	100.0%				
			順調				
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.31	3.31	3.31	3.31	3.31
		実績値	3.31				
		達成率 (達成度)	100.0%				

●基本方針の現状

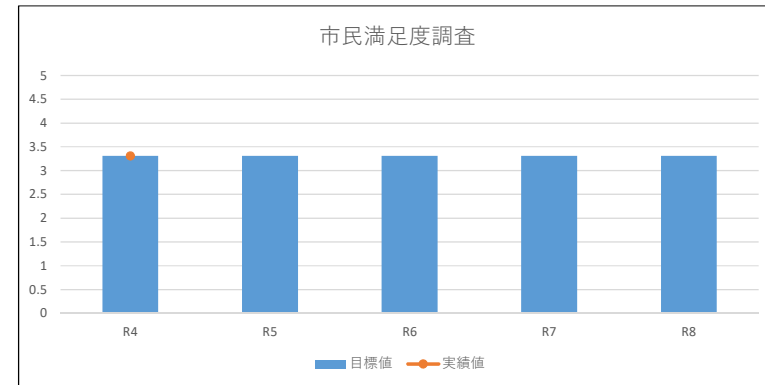
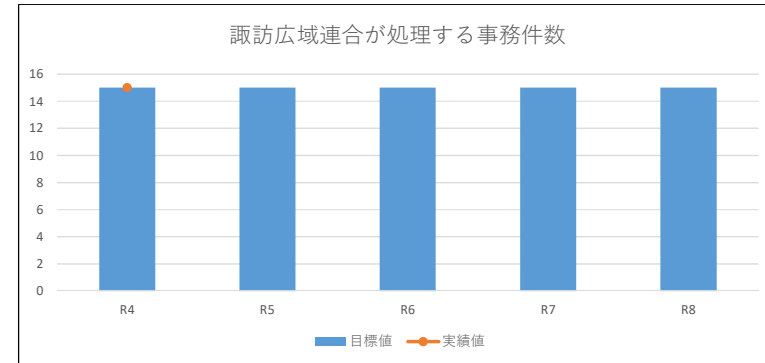
・諏訪広域連合が主体となり、救護施設及び小児夜間急病センターの運営管理、介護保険、消防など15事務を実施しており、一部事務組合では、ごみ処理やし尿処理、火葬場といった生活に直結した施設等を運営している。  
 ・諏訪地域6市町村で構成する諏訪広域公立大学事務組合による公立諏訪東京理科大学の運営については、公立化により多くの学生を集めることができ、また、AIやIoTなどの最先端科学技術の教育と研究が進められ、諏訪地域のものづくり振興に寄与している。

●課題

・広域連合の果たす役割や重要度は年々高まっており、今後も構成市町村が連携し産業や観光、公共施設利用などの分野についても、より一層の効率化を図るため、共同事務をさらに増やすための研究・検討が必要である。  
 ・公立諏訪東京理科大学は、公立化により志願倍率は毎年目標値を上回る状況であるが、卒業した学生の県内就職率が低調なため、優秀な人材の諏訪圏域内、県内への定住を促進できるよう、構成市町村において産業分野等について、より一層の連携が必要であると考えられる。

●今後の取組の方向性

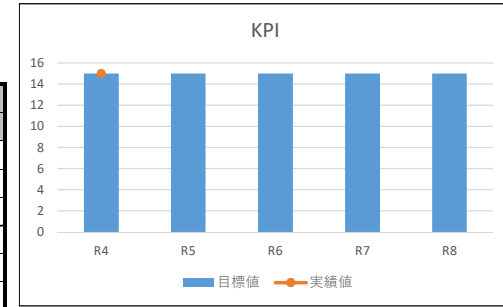
・第5期諏訪広域連合広域計画（令和4～8年度）を基に、住民サービスの向上や効率的な行財政運営を進めるとともに、広域的な行政課題について取り組んでいく。  
 ・人口減少などにより施設の利用形態が大きく変化中、公共施設の共同利用は有効な手段であり、圏域における現状の運用形態や課題などの情報交換をしながら研究をしていく。  
 ・公立諏訪東京理科大学については、今後も一部事務組合により大学の設置・運営を継続するとともに、課題の解決を図ることができるよう、6市町村と公立諏訪東京理科大学とのより一層の連携強化を図っていく。



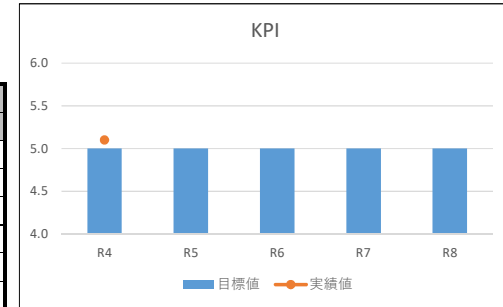
●令和4年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

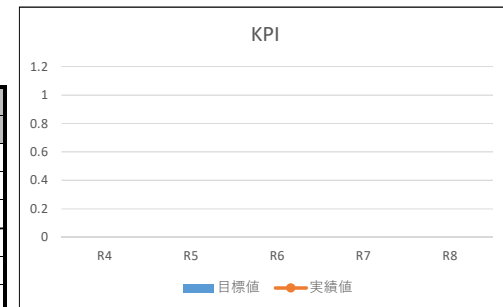
事業名	諏訪広域連合負担金（一般会計）	担当課・係	企画政策課企画政策係			
事業概要 現状	救護施設及び小児夜間急病センターの運営管理、介護保険、消防など15事務を実施する広域連合への負担金を支払っている。一部事務組合では、ごみ処理やし尿処理、火葬場といった生活に直結した施設等を運営し、連携強化を維持している。					
	K P I 諏訪広域連合が処理する事務件数					
課題	広域連合の果たす役割や重要度は年々高まっており、今後も構成市町村が連携し産業や観光、公共施設利用などの分野についても、共同事務をさらに増やしていくことが重要である。					
	K P I ・ 必要経費 経年比較					
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了				
		達成率	100.0%	100.0%		
今後の取組 の方向性	第5期諏訪広域連合広域計画（令和4～8年度）を基に、住民サービスの向上や効率的な行政運営を進めるとともに、広域的な行政課題について取り組んでいく。					
	必要経費（千円）					
	予算額	24,522	24,522			
	決算額	24,522	24,522			



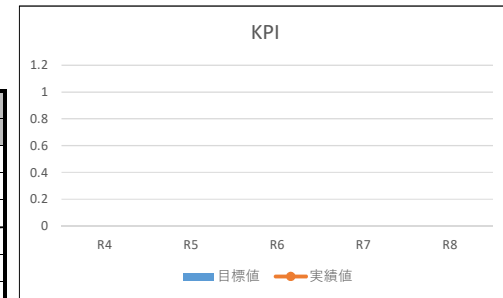
事業名	諏訪広域公立大学事務組合負担金	担当課・係	企画政策課企画政策係			
事業概要 現状	諏訪地域6市町村で構成する諏訪広域公立大学事務組合により公立諏訪東京理科大学を運営し、多くの学生を集めるとともに、AIやIoTなどの最先端科学技術の教育と研究を進め、諏訪地域のものづくり振興に寄与している。					
	K P I 志願倍率					
課題	公立化により志願倍率は毎年目標値を上回る状況であるが、卒業生の県内就職率が低調なため、県内企業との連携強化などにより、優秀な人材の県内への定住を促進する必要がある。					
	K P I ・ 必要経費 経年比較					
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了				
		達成率	102.0%	102.0%		
今後の取組 の方向性	今後も一部事務組合により大学の設置・運営を継続するとともに、上記課題の解決を図ることができるよう、6市町村と公立諏訪東京理科大学とのより一層の連携強化を図る。					
	必要経費（千円）					
	予算額	510	510			
	決算額	510	510			



事業名		担当課・係			
事業概要 現状					
	K P I				
課題					
	K P I ・ 必要経費 経年比較				
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了			
		達成率			
今後の取組 の方向性					
	必要経費（千円）				
	予算額				
	決算額				



事業名		担当課・係			
事業概要 現状					
	K P I				
課題					
	K P I ・ 必要経費 経年比較				
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了			
		達成率			
今後の取組 の方向性					
	必要経費（千円）				
	予算額				
	決算額				



基本方針KPI一覧

基本方針	KPI		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
①子ども・子育て	子ども・子育て支援事業の充実	目標値	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
		実績値	3.38				
	待機児童ゼロ維持（待機児童数）	目標値	0人	0人	0人	0人	0人
		実績値	0人				
	満足度調査	目標値	2.87	2.87	2.87	2.87	2.87
		実績値	2.87				
②地域福祉	地域福祉計画施策評価のうち、総合評価A（そのまま継続）の割合	目標値	45%	50%	55%	60%	70%
		実績値	66%				
	ボランティア登録者率	目標値	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
		実績値	25.3%				
	満足度調査	目標値	2.96	2.96	2.96	2.96	2.96
		実績値	2.96				
③障がい者福祉	福祉施設から一般就労への移行者数	目標値	6人	10人	10人	11人	12人
		実績値	6人				
	地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数	目標値	9回	10回	12回	12回	12回
		実績値	13回				
	満足度調査	目標値	2.97	2.97	2.97	2.97	2.97
		実績値	2.97				
④高齢者福祉	要介護認定率	目標値	18.5%以下	18.9%以下	19.3%以下	19.6%以下	19.8%以下
		実績値	17.7%				
	認知症サポーターの養成累計	目標値	4,380人	4,620人	4,860人	5,100人	5,340人
		実績値	4,117人				
	満足度調査	目標値	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90
		実績値	2.90				
⑤社会保障制度	生活困窮者自立相談支援事業による支援決定件数	目標値	43件	43件	43件	43件	43件
		実績値	33件				
	満足度調査	目標値	2.98	2.98	2.98	2.98	2.98
		実績値	2.98				
⑥健康づくり	特定保健指導の実施率	目標値	50.6%	50.6%	50.6%	60.0%	60.0%
		実績値	59.1%				
	特定健診におけるⅡ度高血圧の人の割合	目標値	4.9%以下	4.9%以下	4.9%以下	4.4%以下	4.4%以下
		実績値	10.1%				
	満足度調査	目標値	3.46	3.46	3.46	3.46	3.46
		実績値	3.46				
⑦地域医療	在宅当番医の利用者数	目標値	1,500人	2,000人	2,500人	2,900人	2,900人
		実績値	2,002人				
	諏訪赤十字病院全救急患者における諏訪市民割合	目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
		実績値	49.2%				
	満足度調査	目標値	3.56	3.56	3.56	3.56	3.56
		実績値	3.56				
⑧学校教育	「ものづくり教育」の必要性、重要性の認識度	目標値	76.0%	77.0%	78.0%	79.0%	80.0%
		実績値	83.2%				
	奨学金制度の新規利用者	目標値	8人	8人	8人	8人	8人
		実績値	6人				
	満足度調査	目標値	2.98	2.98	2.98	2.98	2.98
		実績値	2.98				
⑨地域教育	学校支援ボランティア参加者延べ数	目標値	20,000人	20,250人	20,500人	20,750人	21,000人
		実績値	7,602人				
	地区育成会等活動支援事業参加者数	目標値	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人
		実績値	1,249人				
	満足度調査	目標値	3.13	3.13	3.13	3.13	3.13
		実績値	3.13				
⑩生涯学習・文化芸術	講座等アンケートで「学んだことを活かしたい」に回答した割合	目標値	22%	24%	26%	28%	30%
		実績値	15%				
	生涯学習施設におけるボランティア活動に参加した人数	目標値	310人	320人	330人	340人	350人
		実績値	235人				
	満足度調査	目標値	3.22	3.22	3.22	3.22	3.22
		実績値	3.22				

⑪スポーツ振興	スポーツ施設利用者数	目標値	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年
		実績値	212,002人/年				
	スポーツ教室初参加者中、「スポーツに親しむきっかけとなった」と回答した割合	目標値	92.6%	93.2%	93.8%	94.4%	95.0%
		実績値	91.7%				
	満足度調査	目標値	3.20	3.20	3.20	3.20	3.20
実績値		3.20					
⑫文化財保護・活用	講座等アンケートで「諏訪市の歴史や文化に誇りを感じる」と回答した割合	目標値	32%	34%	36%	38%	40%
		実績値	10%				
	文化遺産関連の保存活動に参加した人数	目標値	93人	96人	99人	102人	105人
		実績値	146人				
	満足度調査	目標値	3.28	3.28	3.28	3.28	3.28
実績値		3.28					
⑬環境保全	再生可能エネルギーシステム等導入設置補助制度等による年間CO2削減量	目標値	4,235t	4,435t	4,635t	4,835t	5,035t
		実績値	4,424t				
	霧ヶ峰高原草原再生作業（雑木処理）実施面積累計	目標値	140ha	145ha	150ha	155ha	160ha
		実績値	137ha				
	満足度調査	目標値	3.32	3.32	3.32	3.32	3.32
実績値		3.32					
⑭森林保全	森林整備面積	目標値	105.0ha	107.0ha	109.0ha	111.0ha	113.0ha
		実績値	83.97ha				
	松枯損木の伐倒処理件数	目標値	15本	15本	15本	15本	15本
		実績値	26本				
	満足度調査	目標値	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30
実績値		3.30					
⑮環境衛生	燃やすごみ排出量	目標値	11,442t以下	11,479t以下	11,471t以下	11,531t以下	11,444t以下
		実績値	12,147t				
	ごみリサイクル率	目標値	23.1%	22.9%	22.5%	22.2%	22.0%
		実績値	18.1%				
	満足度調査	目標値	3.43	3.43	3.43	3.43	3.43
実績値		3.43					
⑯道路整備・計画	道路舗装整備延長率	目標値	3.1%	3.6%	4.1%	4.6%	5.1%
		実績値	3.1%				
	都市計画道路整備率	目標値	27.8%	28.2%	28.6%	29.0%	29.4%
		実績値	29.1%				
	満足度調査	目標値	3.28	3.28	3.28	3.28	3.28
実績値		3.28					
⑰都市空間	住宅の耐震診断戸数	目標値	40件/年	40件/年	40件/年	40件/年	40件/年
		実績値	23件/年				
	危険空家等の改善	目標値	4件/年	4件/年	4件/年	4件/年	4件/年
		実績値	3件/年				
	満足度調査	目標値	3.10	3.10	3.10	3.10	3.10
実績値		3.10					
⑱上水道・下水道	導送水及び配水管耐震化率	目標値	29.3%	30.0%	30.7%	31.4%	32.1%
		実績値	28.9%				
	耐震化対象下水道管渠耐震化率	目標値	66.0%	75.0%	84.0%	93.0%	100.0%
		実績値	72.5%				
	満足度調査	目標値	3.77	3.77	3.77	3.77	3.77
実績値		3.77					
⑲温泉	配湯管耐震化率	目標値	98.3%	98.4%	98.5%	98.6%	98.7%
		実績値	98.3%				
	温泉年間新規契約件数	目標値	5件	5件	5件	5件	5件
		実績値	2件				
	満足度調査	目標値	3.45	3.45	3.45	3.45	3.45
実績値		3.45					
⑳地域公共交通	かりんちゃんバス1便当たり利用者数	目標値	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便
		実績値	6.1人/便				
	スワンバス1便当たり利用者数	目標値	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便
		実績値	12.7人/便				
	満足度調査	目標値	2.84	2.84	2.84	2.84	2.84
実績値		2.84					

①工業	製造品出荷額等	目標値	1,010億円以上	1,020億円以上	1,030億円以上	1,040億円以上	1,050億円以上
		実績値	861億円				
	製造業の従業者数	目標値	5,100人	5,200人	5,200人	5,200人	5,200人
		実績値	5,004人				
	満足度調査	目標値	2.92	2.92	2.92	2.92	2.92
		実績値	2.92				
②観光	宿泊客数	目標値	420,000人/年	480,000人/年	600,000人/年	606,000人/年	612,000人/年
		実績値	431,312人/年				
	観光消費額	目標値	1,574,000万円/年	1,771,000万円/年	1,968,000万円/年	1,987,000万円/年	2,006,000万円/年
		実績値	1,580,166万円/年				
	満足度調査	目標値	2.99	2.99	2.99	2.99	2.99
		実績値	2.99				
③商業・流通	推せんみやげ品新規登録数	目標値	3件/年	3件/年	3件/年	3件/年	3件/年
		実績値	0件/年				
	商業連合会会員店舗数	目標値	235店舗	235店舗	235店舗	235店舗	235店舗
		実績値	232店舗				
	満足度調査	目標値	2.67	2.67	2.67	2.67	2.67
		実績値	2.67				
④農林漁業	農業の担い手への農地集積率	目標値	39.3%	41.7%	44.7%	47.6%	50.0%
		実績値	37.3%				
	木材搬出面積	目標値	33.5 ha	34.5 ha	35.5 ha	36.5 ha	37.5 ha
		実績値	27.31ha				
	満足度調査	目標値	3.12	3.12	3.12	3.12	3.12
		実績値	3.12				
⑤雇用・スタートアップ支援	新入社員歓迎大会申込者数	目標値	300人/年	400人/年	400人/年	400人/年	400人/年
		実績値	354人/年				
	諏訪市の支援を受けて実現した創業数	目標値	20件	20件	20件	20件	20件
		実績値	17件				
	満足度調査	目標値	3.11	3.11	3.11	3.11	3.11
		実績値	3.11				
⑥防災・危機管理	防災メールの登録者数	目標値	9,100人	9,200人	9,300人	9,400人	9,500人
		実績値	7,927人				
	諏訪市防災気象情報システムアクセス数	目標値	80,200件	80,400件	80,600件	80,800件	81,000件
		実績値	60,348件				
	満足度調査	目標値	3.23	3.23	3.23	3.23	3.23
		実績値	3.23				
⑦安心生活	交通死亡事故発生件数	目標値	0件	0件	0件	0件	0件
		実績値	1件				
	相談窓口における消費者相談のあっせん・解決率	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		実績値	100%				
	満足度調査	目標値	3.26	3.26	3.26	3.26	3.26
		実績値	3.26				
⑧まちの賑わい創出	駅前交流テラスすわっちゃオ貸館利用件数	目標値	2,940件	3,080件	3,220件	3,360件	3,500件
		実績値	3,618件				
	コワーキングスペース登録有料会員数	目標値	21者	22者	23者	24者	24者
		実績値	26者				
	駅前駐車場利用台数（定期利用除く）	目標値	110,000台	120,000台	120,000台	120,000台	120,000台
		実績値	88,071台				
満足度調査	目標値	3.08	3.08	3.08	3.08	3.08	
	実績値	3.08					
⑨多様な市民の参画	移住サポートによる移住定着率	目標値	23.0%	23.5%	24.0%	24.5%	25.0%
		実績値	20.1%				
	ふるさと寄附体験型返礼品寄附金比率	目標値	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
		実績値	13.8%				
	委員会、審議会等における女性登用率	目標値	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%
		実績値	34.8%				
満足度調査	目標値	3.11	3.11	3.11	3.11	3.11	
	実績値	3.11					

⑩持続可能な地域	区・自治会への加入率	目標値	87%	87%	87%	87%	87%	
		実績値	82.2%					
	外国籍市民相談窓口の年間相談件数	目標値	800件	800件	800件	800件	800件	
		実績値	587件					
満足度調査	目標値	3.12	3.12	3.12	3.12	3.12		
	実績値	3.12						
⑪健全財政	将来負担比率	目標値	76.0%	73.0%	70.0%	67.0%	64.0%	
		実績値	56.5%					
	財政調整基金・減債基金残高	目標値	25億円以上	25億円以上	25億円以上	25億円以上	25億円以上	
		実績値	31億円					
	公共施設の総延床面積における縮減率	目標値	6.0%	7.0%	8.0%	9.0%	10.0%	
		実績値	7.0%					
満足度調査	目標値	2.96	2.96	2.96	2.96	2.96		
	実績値	2.96						
⑫スマート化	市民向けオンライン手続き件数指標	目標値	150	200	300	400	500	
		実績値	151					
	ICTツールの置換時間指標	目標値	200	400	600	800	1000	
		実績値	310					
満足度調査	目標値	3.16	3.16	3.16	3.16	3.16		
	実績値	3.16						
⑬広域連携	諏訪広域連合が処理する事務数	目標値	15件以上	15件以上	15件以上	15件以上	15件以上	
		実績値	15件					
	満足度調査	目標値	3.31	3.31	3.31	3.31	3.31	
		実績値	3.31					